

— 令和7年度高知県学力定着状況調査結果の概要 —

令和8年2月

高知県教育委員会

## — 目 次 —

1	調査の概要	1
2	本県の学力の状況	2
3	教科別調査結果	
	教科別調査結果について	3
	(1)小学校国語	4
	(2)小学校算数	10
	(3)小学校理科	16
	(4)中学校国語	21
	(5)中学校社会	27
	(6)中学校数学	33
	(7)中学校理科	39
	(8)中学校外国語（英語）	45
4	質問調査結果	51

## 令和7年度高知県学力定着状況調査の概要

### I.調査の目的

学力調査等の結果から明らかとなった学力について、その課題の改善状況及び定着状況を把握し、学習指導の充実や指導方法の改善に生かすとともに、各学校及び教育委員会における継続的な学力向上のための検証改善サイクルを確立する。

### II.調査への参加状況

#### ◇ 参加学校数

小学校 第4学年 169校 第5学年 166校  
 中学校 第1学年 87校 第2学年 87校  
 義務教育学校（前期課程・後期課程） 4校

#### ◇ 小学校解答（回答）児童数

##### 第4学年

国語 4,481人 算数 4,474人 質問調査 4,557人

##### 第5学年

国語 4,421人 算数 4,399人 理科 4,421人  
 質問調査 4,500人

#### ◇ 中学校解答（回答）生徒数

##### 第1学年

国語 3,518人 社会 3,516人 数学 3,519人  
 理科 3,526人 外国語（英語） 3,523人  
 質問調査 3,527人

##### 第2学年

国語 3,419人 社会 3,425人 数学 3,423人  
 理科 3,428人 外国語（英語） 3,426人  
 質問調査 3,464人

### III.調査事項

#### (1) 教科に関する調査

##### ア 出題教科

小学校第4学年…国語、算数

小学校第5学年…国語、算数、理科

中学校第1・2学年…国語、社会、数学、理科、外国語（英語）

※国語と外国語（英語）は、音声を聞いて答える問題も出題

##### イ 出題内容

主として「知識」に関する問題及び「活用」に関する問題

選択式・短答式・記述式の問題形式

#### (2) 学習状況や生活の諸側面等に関する質問調査（ICT端末を活用したオンラインによる）

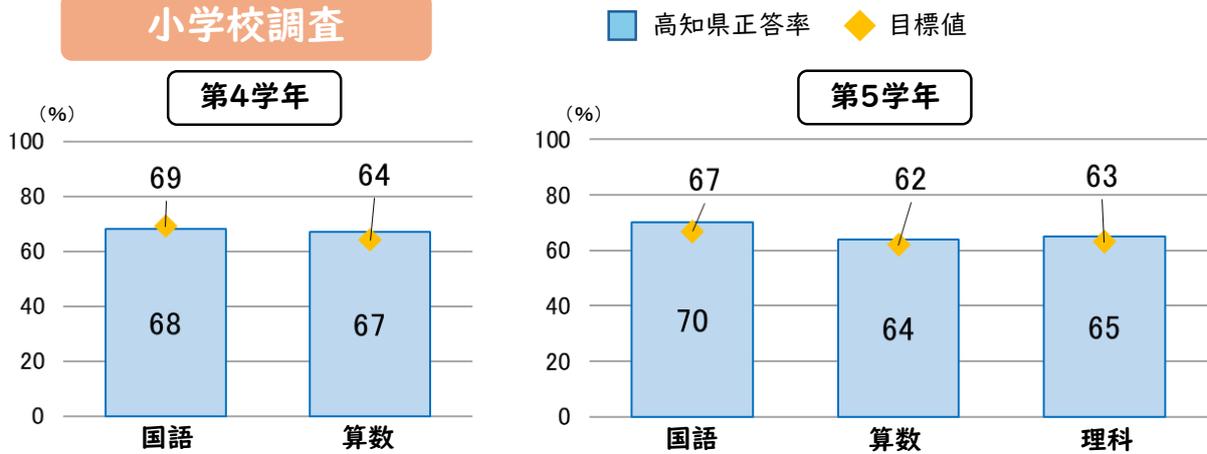
### IV.調査実施期間

- ・教科に関する調査 令和7年12月2日（火）～12月4日（木）
- ・質問調査 令和7年12月1日（月）～12月5日（金）

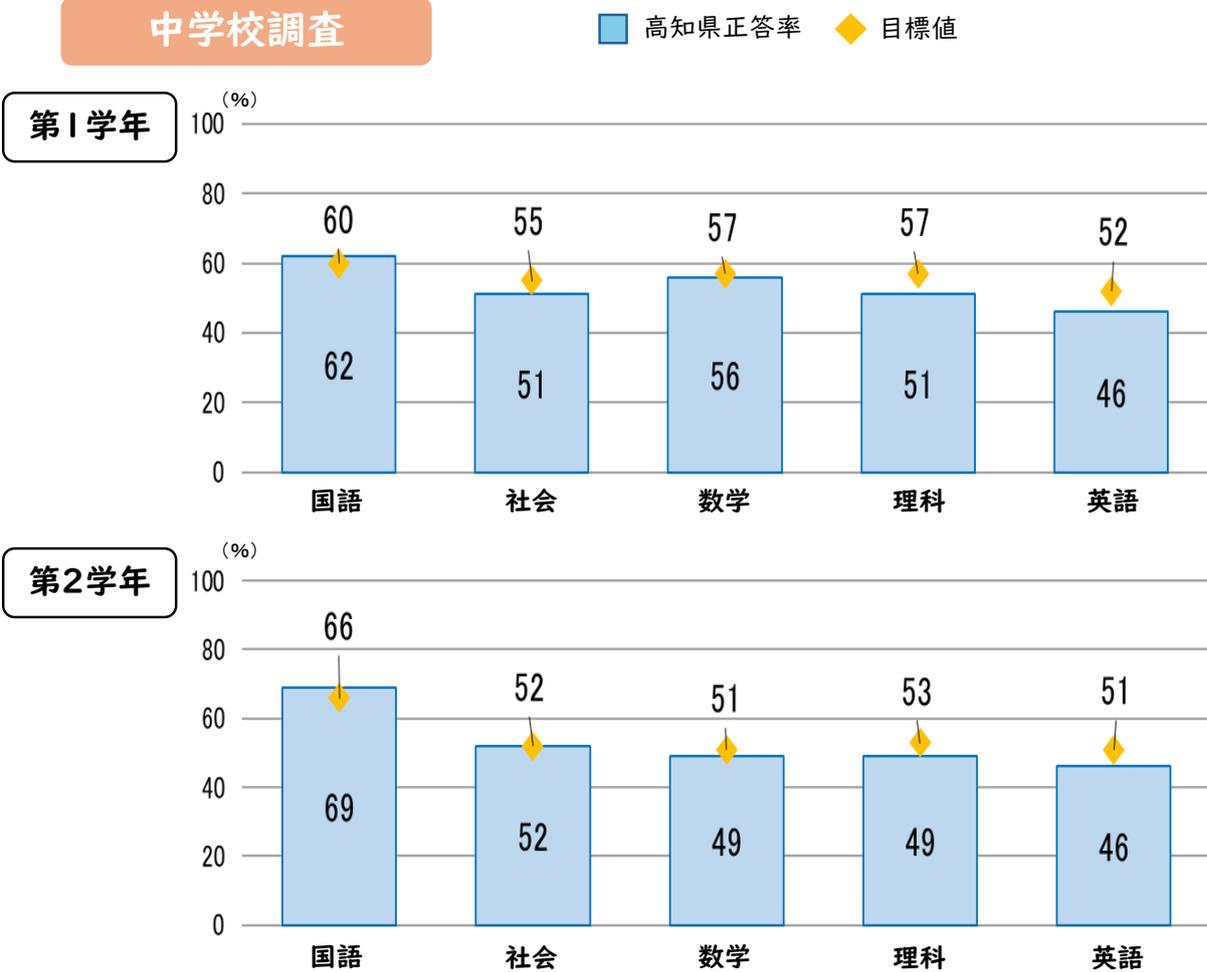


# 本県の学力の状況

## 小学校調査



## 中学校調査



### \*目標値

各地の児童生徒を一定数抽出し、サンプル調査を実施・検証したうえで設定した期待される正答率のこと。県教育委員会としては、目標値に到達していれば、標準的な学力(全国並みの力)が付いているととらえている。



# 教科別調査結果について

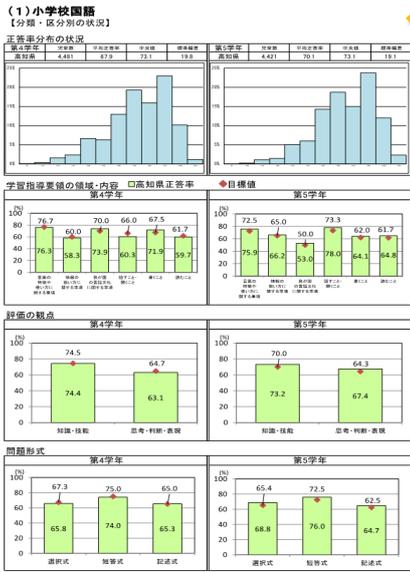


今回の調査結果における高知県の状況について、教科に関する調査については【分類・区分別の状況】、【設問別正答率】、【授業改善のポイント】を示していますので、各学校の分析にご活用ください。  
平均正答率やグラフの形状、他の数値の情報と合わせて分析してください。

上から正答率分布、領域・内容、評価の観点、問題形式による平均正答率をグラフで示しています。

設問ごとに、高知県の正答率と無解答率、目標値を示しています。

## 【分類・区分別の状況】



## 【設問別正答率】

国語科調査結果(高知県) (4) (5)

設問番号	設問内容	国語科調査結果(高知県)	国語科調査結果(高知県)		目標値
			正答率	無解答率	
1-1	話し言葉(中心)話し言葉	話し言葉(話し言葉)話し言葉	76.7	0.0	70.0
1-2	話し言葉(中心)話し言葉	話し言葉(話し言葉)話し言葉	69.0	0.0	66.0
1-3	話し言葉(中心)話し言葉	話し言葉(話し言葉)話し言葉	58.3	0.0	73.9
1-4	話し言葉(中心)話し言葉	話し言葉(話し言葉)話し言葉	60.3	0.0	71.9
1-5	話し言葉(中心)話し言葉	話し言葉(話し言葉)話し言葉	61.7	0.0	67.5
2-1	書き言葉	書き言葉	50.0	0.0	73.3
2-2	書き言葉	書き言葉	66.2	0.0	53.0
2-3	書き言葉	書き言葉	78.0	0.0	64.1
2-4	書き言葉	書き言葉	64.1	0.0	61.7
2-5	書き言葉	書き言葉	64.7	0.0	61.7
3-1	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-2	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-3	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-4	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-5	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-6	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-7	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-8	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-9	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-10	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-11	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-12	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-13	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-14	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-15	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-16	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-17	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-18	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-19	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-20	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-21	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-22	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-23	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-24	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-25	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-26	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-27	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-28	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-29	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-30	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-31	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-32	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-33	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-34	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-35	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-36	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-37	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-38	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-39	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-40	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-41	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-42	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-43	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-44	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-45	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-46	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-47	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-48	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-49	読解	読解	73.9	0.0	73.9
3-50	読解	読解	73.9	0.0	73.9

## 【授業改善のポイント】

令和7年度 高知県学力定着状況調査 小学校国語

これからの授業改善からみられる成果

学年	問題番号	問題の内容	出題のねらい	高知県正答率(%)
4	5(1)		原文を基に文章の内容を捉えている。	65.5
4	5(2)	説明文の内容を読み取る	原文を基に段落相互の関係性を捉えている。	51.0
4	5(3)		中心となる語や文を見つけて要約している。	65.9
4	4(2)		登場人物の心情について、情を察知している。	78.5
5	4(3)		文章を読みとれた点と量や感情を共有し、自分の考えを広げている。	69.3

令和5年度より課題がみられた「読むこと」において、成果がみられた。過去の類似問題と比較すると、4年生では、**段落ごとに書かれている内容を捉えること**、5年生では、**描写を基に登場人物の相互関係や心情を捉えること**について改善がみられた。

これは、文章を読み取る、各段落の中心となる言葉や文、接続する語句や文末表現などの構成に関わる言葉、物語の起承転結、行動や心情を表す言葉に注目し、その読み取った力の高さを図ってきた成果だと考えられる。

課題・今後の学習改善に向けて

学年	問題番号	問題の内容	出題のねらい	高知県正答率(%)
4	6(1)		読み手が伝えたいことを読み取っている。	36.6
4	6(2)	活動を読み返して話し合う	相手に伝えたい理由や理由や事例を挙げながら話している。	22.8
5	5(2)	説明文の内容を読み取る	文章全体の構成を捉えている。	56.1

(分析・考察)

4年生では、子供たちが話している内容や資料に書かれている内容と結びつけて考える問題で、5年生では、文章全体の構成を捉える問題で課題がみられた。

文や段落ごとの内容を正確に捉えることは改善しつつあるが、いずれの学年においても、**複数の情報や関係性を持つ内容を捉えたり、数値に基いたりすること**に留意がみられる。ここから、文章を読む際には、筆者の意見や考えと取り上げられている具体的な内容の関係性について考えること、また、読み取った内容を自分の意見や考えと、それを支える理由や事例の妥当性や正確性について吟味する学習活動が、十分に行われていないことが考えられる。

(授業改善のポイント)

引き続き、言葉に着目して情報を正確に捉える力を磨くとともに、複数の情報を活用して自分の考えを広げたり深めたりする力を高める。情報を活用するときは、何について、何のために調べるといふ目的をも、複数の情報と比較したり関係付けたりしながら、吟味することが大切である。

国語科では 情報があふれる社会の中で、自分の人生を豊かにするために、**情報を正確に理解し、自分の考えや意見をもって、適切に表現できる国語の力**を身に付けることを目指しています。

- 言葉や文を正確に捉えたり、使ったりする**  
 言葉に着目し、その言葉の意味や働き、使い方を考えながら、情報の内容を正確に捉えたり使ったりしましょう。  
 その文が、何について述べているのかを捉えるためには、主語と述語に関する言葉に着目することが欠かせないです。  
 主語 述語  
 指示する語句 接続する語句  
 時間や順序にかかわる言葉  
 文末の言葉 題名 見出し  
 繰り返し出てくる言葉 など
- 全体の構成から情報を把握する**  
 文末表現や接続する言葉、順序に関わる言葉は、前後のつながりや関係性を捉えるのに役立ちます。  
 情報の詳しくなる言葉に線や印を付けたり、表や図にしてみたりして、情報を整理すると分かりやすくなります。  
 情報を正確に理解するためには、一つ一つの情報が、文章全体でどんな役割を持っているのかを把握することが大切です。
- 複数の情報を使って考える**  
 この情報は種々な情報なのか？  
 他の考えはないか？  
 どうしてこの結果になったのか？  
 両方に共通していることが書かれているから、この情報は間違いないだろう。意見が違っても構わないけど、筆者はどちらを考えたのか？  
 さらに調べてみることで、原因がはっきりしてきた。このことは、前に読んだあのことと似ている。  
 情報を「自分事」として捉える  
 難しいテーマのときも、自分の身近な場面から、テーマと類似することを見つけてみる。(例：3月11日～13日の地震、学校の防災訓練)  
 複数の視点からテーマをみてみる。(例：地球温暖化～グラフ参照、説書目録)  
 他人の考えを聞いてみる

「別の情報も見てみよう！」  
 「そのためには...」

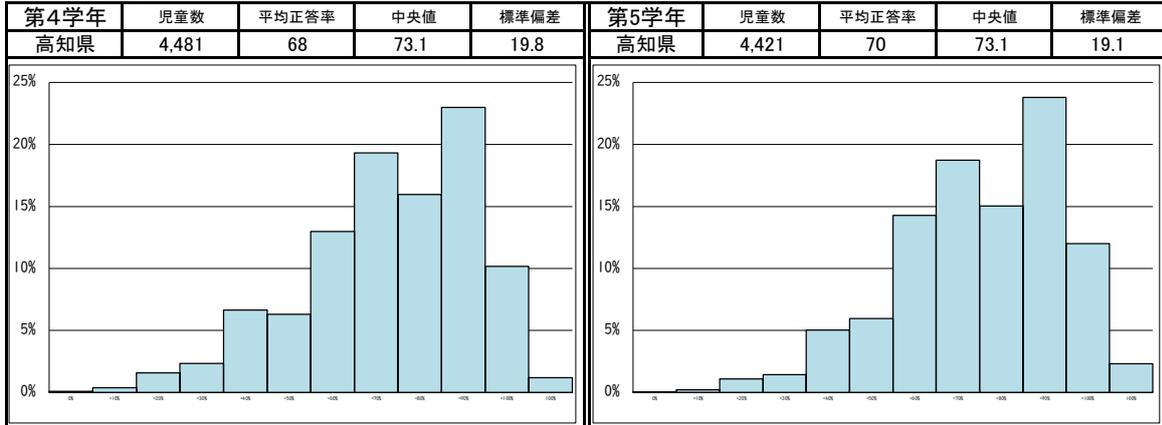
本年度の調査結果を受け、授業改善のポイントを示しています。各教科、成果や課題がみられる点についての概要を示したページと、結果の概要を踏まえた学習例を示したページとで構成しています。

# 小学校 国語

# (1) 小学校国語

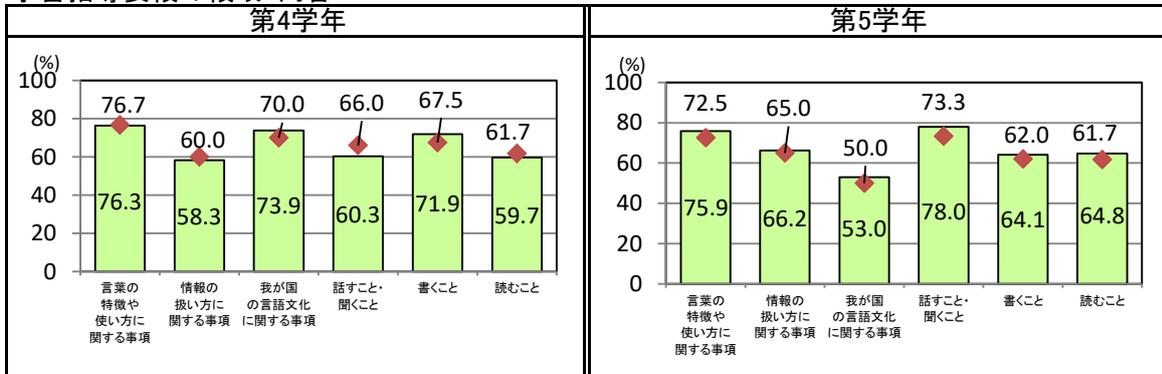
## 【分類・区分別の状況】

### 正答率分布の状況

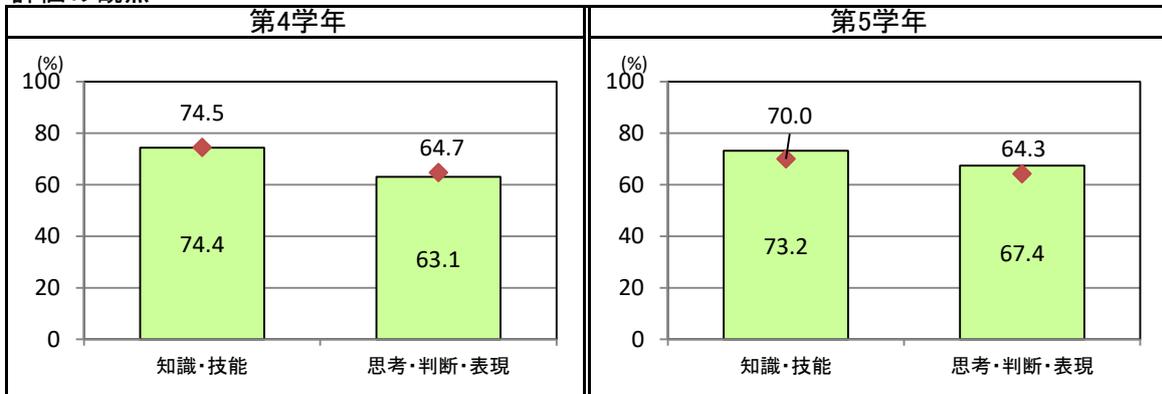


### 学習指導要領の領域・内容

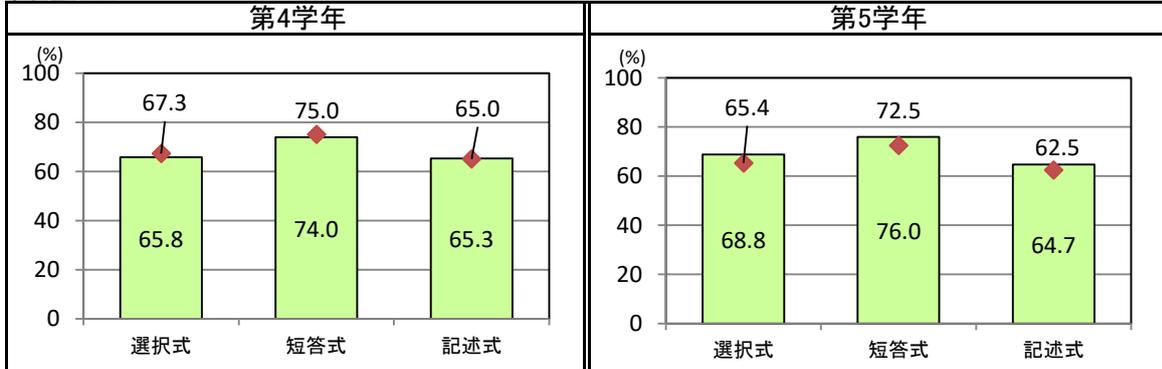
■ 高知県正答率    ◆ 目標値



### 評価の観点



### 問題形式



令和7年度高知県学力定着状況調査  
設問別調査結果[小学校国語4年]

通し 番号	大 問	小 問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関連					評価の観点			問題形式		高知県		目 標 値 (%)	目 標 値 と の 差	
					言 葉 の 特 徴	情 報 の 扱 い 方	言 語 文 化	話 す こ と ・ 聞 く こ と	書 く こ と	読 む こ と	知 ・ 技	思 ・ 判 ・ 表	選 択 式	短 答 式	記 述 式	正 答 率 (%)			無 解 答 率 (%)
1	1	1	①話し合いの内ようを聞き取る	話の中心を明確にするための話し手の工夫を捉えている。				○				○	○			89.7	0.5	85.0	4.7
2	1	2	①話し合いの内ようを聞き取る	目的や進め方を確認し、司会の役割を果たしながら話し合っている。				○				○	○			70.7	0.7	75.0	-4.3
3	1	3	①話し合いの内ようを聞き取る	話し手が伝えたいことの中心を捉えている。				○				○		○		81.5	5.4	80.0	1.5
4	2	1-1	②漢字を読む	第4学年に配当されている漢字を正しく読んでいる。	○							○				91.6	2.8	90.0	1.6
5	2	1-2	②漢字を読む	第4学年に配当されている漢字を正しく読んでいる。	○							○				84.1	4.8	90.0	-5.9
6	2	1-3	②漢字を読む	第4学年に配当されている漢字を正しく読んでいる。	○							○				95.4	1.2	90.0	5.4
7	2	2-1	③漢字を書く	第3学年に配当されている漢字を正しく書いている。	○							○		○		70.8	3.1	65.0	5.8
8	2	2-2	③漢字を書く	第3学年に配当されている漢字を正しく書いている。	○							○		○		49.8	9.8	50.0	-0.2
9	2	2-3	③漢字を書く	第3学年に配当されている漢字を正しく書いている。	○							○		○		60.8	9.1	80.0	-19.2
10	3	1	④言葉の学習	主語と述語との関係について理解している。	○							○		○		76.8	0.6	70.0	6.8
11	3	2	④言葉の学習	連体修飾語について理解している。	○							○		○		63.8	0.6	65.0	-1.2
12	3	3	④言葉の学習	ことわざの意味を知り、正しく使っている。				○				○		○		73.9	0.8	70.0	3.9
13	3	4	④言葉の学習	漢字辞典の使い方を理解している。		○						○		○		58.3	1.0	60.0	-1.7
14	3	5	④言葉の学習	行動を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。	○							○		○		93.7	1.1	90.0	3.7
15	4	1	⑤物語の内ようを読み取る	登場人物の気持ちについて、叙述を基に捉えている。								○		○		73.3	0.4	75.0	-1.7
16	4	2	⑤物語の内ようを読み取る	登場人物の気持ちについて、叙述を基に捉えている。								○		○		73.3	0.4	80.0	-6.7
17	4	3	⑤物語の内ようを読み取る	文章を読んで感じたことや考えたことを共有している。								○		○		29.1	0.8	40.0	-10.9
18	5	1	⑥説明文の内ようを読み取る	叙述を基に文章の内容を捉えている。								○		○		65.5	0.5	65.0	0.5
19	5	2	⑥説明文の内ようを読み取る	叙述を基に段落相互の関係を捉えている。								○		○		51.0	1.2	50.0	1.0
20	5	3	⑥説明文の内ようを読み取る	中心となる語や文を見付けて要約している。								○		○		65.9	6.3	60.0	5.9
21	6	1	⑦活動をふり返って話し合う	話し手が伝えたいことの中心を捉えている。				○				○		○		36.6	2.6	50.0	-13.4
22	6	2	⑦活動をふり返って話し合う	相手に伝わるように、理由や事例を挙げながら話している。				○				○		○		22.8	11.9	40.0	-17.2
23	7	1	⑧文章を書く	相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にしている。				○				○		○		65.4	10.8	65.0	0.4
24	7	2	⑧文章を書く	書く内容の中心を明確にして、文章の構成を考えている。				○				○		○		59.2	10.8	55.0	4.2
25	7	3	⑧文章を書く	自分の考えを明確にして文章を書いている。				○				○		○		85.2	10.8	80.0	5.2
26	7	4	⑧文章を書く	自分の考えとそれを支える理由や事例を明確にして文章を書いている。				○				○		○		77.8	10.8	70.0	7.8

令和7年度高知県学力定着状況調査  
設問別調査結果[小学校国語5年]

通し 番号	大 問	小 問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関連					評価の観点			問題形式		高知県		目 標 値 (%)	目 標 値 との 差	
					言 葉 の 特 徴	情 報 の 扱 い 方	言 語 文 化	話 す こ と ・ 聞 く こ と	書 く こ と	読 む こ と	知 ・ 技	思 ・ 判 ・ 表	選 択 式	短 答 式	記 述 式	正 答 率 (%)			無 解 答 率 (%)
1	1	1	①話し合いの内容を聞き取る	話し手の目的に応じて、話の内容を捉えている。				○				○	○			91.2	0.1	85.0	6.2
2	1	2	①話し合いの内容を聞き取る	計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりするための工夫を捉えている。				○				○	○			75.3	0.1	70.0	5.3
3	1	3	①話し合いの内容を聞き取る	互いの立場を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げている。				○				○		○		67.6	4.0	65.0	2.6
4	2	1-1	②漢字を読む	第5学年に配当されている漢字を正しく読んでいる。	○							○				86.9	3.5	90.0	-3.1
5	2	1-2	②漢字を読む	第5学年に配当されている漢字を正しく読んでいる。	○							○				98.3	0.5	90.0	8.3
6	2	1-3	②漢字を読む	第5学年に配当されている漢字を正しく読んでいる。	○							○				98.0	0.3	85.0	13.0
7	2	2-1	③漢字を書く	第4学年に配当されている漢字を正しく書いている。	○							○				50.3	9.5	60.0	-9.7
8	2	2-2	③漢字を書く	第4学年に配当されている漢字を正しく書いている。	○							○				76.5	7.7	70.0	6.5
9	2	2-3	③漢字を書く	第4学年に配当されている漢字を正しく書いている。	○							○				81.9	6.0	75.0	6.9
10	3	1	④言葉の学習	漢字の由来について理解している。			○					○		○		53.0	0.8	50.0	3.0
11	3	2	④言葉の学習	連用修飾語について理解している。	○							○		○		52.1	0.4	40.0	12.1
12	3	3	④言葉の学習	敬語について理解し、正しく使っている。	○							○		○		75.4	0.3	80.0	-4.6
13	3	4	④言葉の学習	思考に関わる語句の量を増し、語彙を豊かにしている。	○							○		○		89.2	0.5	85.0	4.2
14	3	5	④言葉の学習	文章の中で、文脈に沿った漢字を適切に使っている。	○							○		○		50.4	11.3	50.0	0.4
15	4	1	⑤物語の内容を読み取る	登場人物の心情について、描写を基に捉えている。							○		○	○		59.2	0.3	60.0	-0.8
16	4	2	⑤物語の内容を読み取る	登場人物の心情について、描写を基に捉えている。							○		○	○		78.8	0.5	70.0	8.8
17	4	3	⑤物語の内容を読み取る	文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。							○		○	○		69.3	0.5	60.0	9.3
18	5	1	⑥説明文の内容を読み取る	叙述を基に文章の内容を捉えている。							○		○	○		59.1	0.5	60.0	-0.9
19	5	2	⑥説明文の内容を読み取る	文章全体の構成を捉えている。							○		○	○		56.1	0.8	60.0	-3.9
20	5	3	⑥説明文の内容を読み取る	目的に応じて、文章の情報を整理している。							○		○	○		66.2	7.8	60.0	6.2
21	6	1	⑦学級新聞の記事を書く	情報と情報との関係について理解している。		○						○		○		66.2	1.4	65.0	1.2
22	6	2	⑦学級新聞の記事を書く	目的に応じて、文章を簡単にまとめて書いている。							○		○		○	43.2	9.5	40.0	3.2
23	7	1	⑧文章を書く	目的や意図に応じて、伝えたいことを明確にしている。							○		○		○	67.8	12.2	70.0	-2.2
24	7	2	⑧文章を書く	文章全体の構成や展開を考えている。							○		○		○	65.1	12.2	70.0	-4.9
25	7	3	⑧文章を書く	資料から読み取った事実を書いている。							○		○		○	72.5	12.2	70.0	2.5
26	7	4	⑧文章を書く	事実を基に自分の意見を明確に書いている。							○		○		○	71.9	12.2	60.0	11.9



## これまでの授業改善から見られる成果

学年	問題番号	問題の内容	出題のねらい	高知県正答率(%)
4	5(1)	説明文の内容を読み取る	叙述を基に文章の内容を捉えている。	65.5
	5(2)		叙述を基に段落相互の関係を捉えている。	51.0
	5(3)		中心となる語や文を見付けて要約している。	65.9
5	4(2)	物語の内容を読み取る	登場人物の心情について、描写を基に捉えている。	78.8
	4(3)		文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。	69.3

令和5年度より課題が見られた「読むこと」において、成果が見られた。過去の類似問題と比較すると、4年生では、**段落ごとに書かれている内容を捉えること**に、5年生では、**描写を基に登場人物の相互関係や心情を捉えること**について改善が見られている。これは、文章を読む際、**各段落の中心となる言葉や文、接続する語句や文末表現などの構成に関わる言葉、物事の様子や場面、行動や心情を表す表現等に目しながらかつむ力**の育成を図ってきた成果だと考えられる。

今後も、言語活動を通して言葉に着目し、言葉の働きや語彙、文や文章における使い方など、言葉の特徴や使い方に気をつけながら文や文章を捉えようとする態度を育成し、それらについての知識・技能の定着を図りたい。



## 課題・今後の学習改善に向けて

学年	問題番号	問題の内容	出題のねらい	高知県正答率(%)
4	6(1)	活動を振り返って話し合う	話し手が伝えたいことの内容を捉えている。	36.6
	6(2)		相手に伝わるように、理由や事例を挙げながら話している。	22.8
5	5(2)	説明文の内容を読み取る	文章全体の構成を捉えている。	56.1

## (分析・考察)

4年生では、子ども達が話している内容と資料に書かれている内容とを結び付けて考える問題で、5年生では、文章全体の構成を捉える問題で課題が見られた。

文や段落ごとの内容を正確に捉えることは改善しつつあるが、いずれの学年においても、**複数の情報や段落を関係付けて内容を捉えたり、表現に生かしたりすること**に引き続き弱さが見られる。このことから、文章を読む時には、**筆者の意見や考えと取り上げられている具体的な内容の関係について考えること**、また、話したり書いたりする時には、**自分の意見や考えと、それを支える理由や事例の妥当性や正確性について吟味する学習活動**が十分に行われていないことが考えられる。

## (学習改善のポイント)

引き続き、言葉に着目して情報を正確に把握する力を磨くとともに、複数の情報を用いて自分の考えを広げたり深めたりする力を高めたい。情報を用いるときには、**何について、何のために調べるのかという目的をもち、複数と比較したり関係付けたりしながら、吟味することが大切である。**



### 国語科では

情報があふれる社会の中で、自らの人生を舵取りすることができるようになるために、**情報を正確に理解し、自分の考えや意見をもって、適切に表現できる国語の力**を身に付けることを目指しています。



## 1. 言葉や文を正確に捉えたり、使ったりする

言葉に着目し、その言葉の意味や働き、使い方などを考えながら、情報の内容を正確に捉えたり使ったりしましょう。

その文が、何について述べているのかを捉えるためには、主語と述語に関する言葉に着目することが欠かせないって分かってきたよ。



主語 述語  
指示する語句 接続する語句  
時間や順序にかかわる言葉  
文末の言葉 題名 見出し  
繰り返し出てくる言葉  
など

**検知**



## 2. 全体の構成から情報を把握する

文末表現や接続する言葉、順序に関わる言葉は、前後のつながりを考えるヒントになったよ。



情報  
が  
広  
がる  
の  
は  
・  
一  
方  
で  
、  
こ  
の  
仕  
組  
み  
は  
・  
だ  
か  
ら  
こ  
そ  
、  
そ  
の  
構  
成  
は  
・  
し  
か  
し  
、  
だ  
れ  
も  
が  
・  
こ  
の  
構  
成  
は  
・

判断の鍵になる言葉に線や印を付けたり、表や図にしてみたりして、情報を整理すると分かりやすくなったよ。

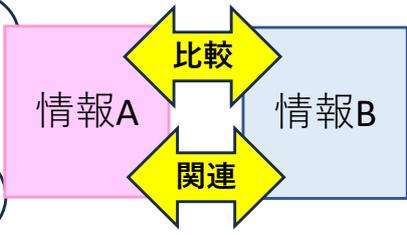


情報を正確に理解するためには、一つずつの情報が、文章全体でどんな役割を持っているのかを把握することが大切です。



## 3. 複数の情報を使って考える

- ・この情報は確かな情報なのかな？
- ・他の考え方はないかな？
- ・どうしてこの結果になったのかな？



両方に共通したことが書かれているから、この情報は間違いなさそう。意見が違うところもあるけど、筆者はどうしてそう考えたのかな。



別の情報も見よう！

さらに調べてみることで、原因がはっきりしてきたよ。このことは、前に読んだあのことと似ているな。



### さらに今後は...

よりよく舵取りしていくために、次々と出てくる新しい情報を、自分事として捉える力を鍛えていきたいです。

情報をただ受け取るだけでなく、受け取った情報に対して自分の考えがもてるようになるといいですね。

そのためには

### 情報を、「自分事」として捉える

- 👉 難しいテーマのときも、自分の身近な場面から、テーマと類似することを見いだす  
(例: ゴミ問題⇒給食の残菜、学校のゴミ箱)
- 👉 複数の視点からテーマをみてる  
(例: 地球温暖化⇒ゲリラ豪雨、猛暑日)
- 👉 他の人の考えを聞いてみる

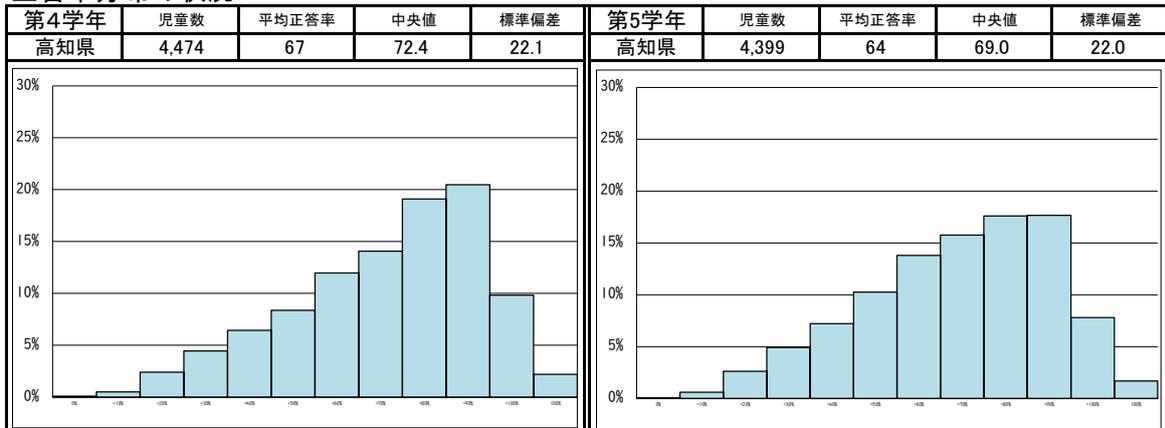


# 小学校 算数

## (2) 小学校算数

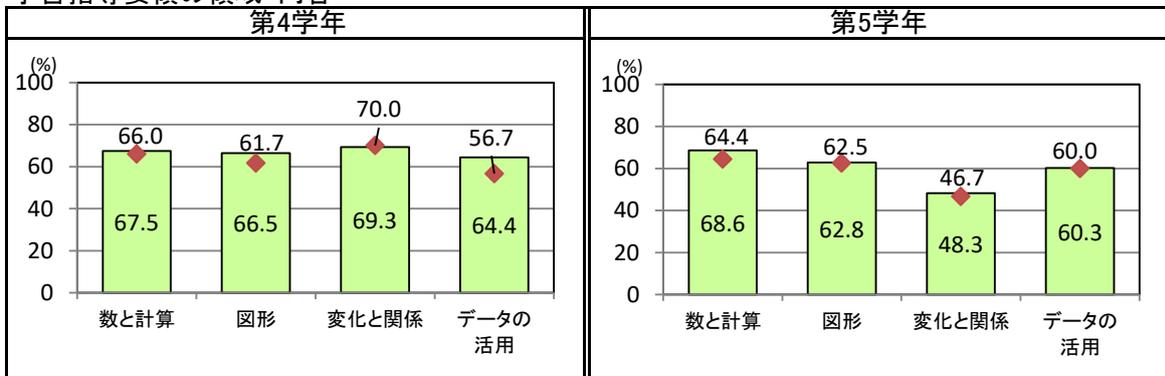
【分類・区別の状況】

### 正答率分布の状況

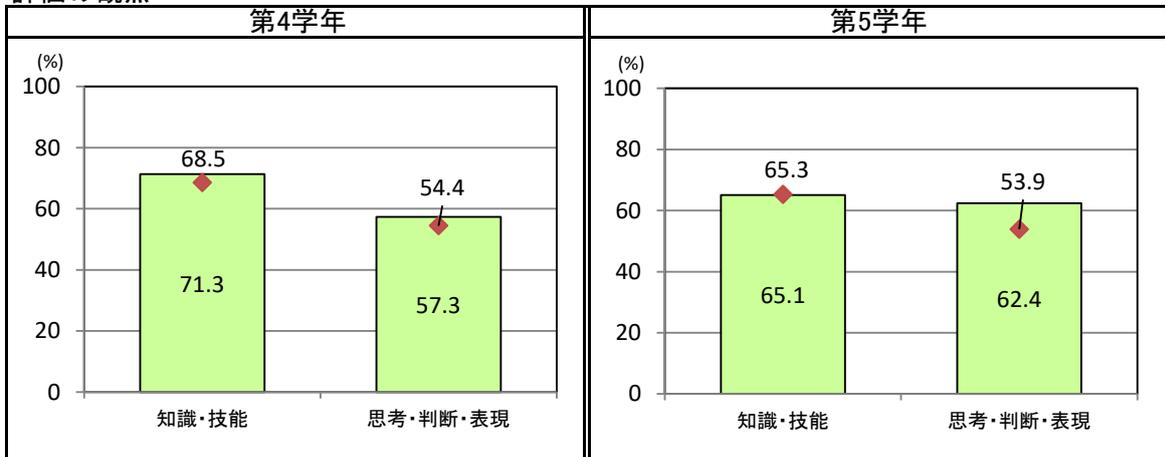


学習指導要領の領域・内容 ■ 高知県正答率

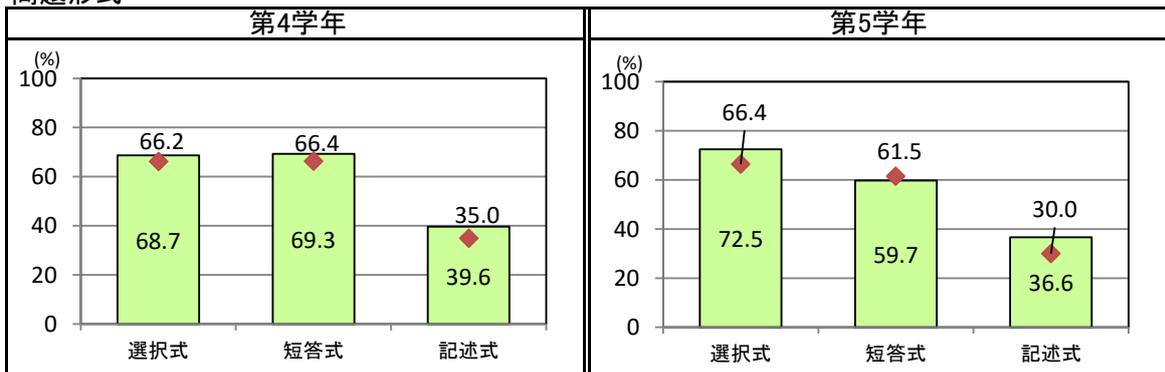
◆ 目標値



### 評価の観点



### 問題形式



令和7年度高知県学力定着状況調査  
設問別調査結果[小学校算数4年]

通し番号	大問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関連				評価の観点		問題形式			高知県		目標値(%)	目標値との差
					数と計算	図形	変化と関係	データの活用	知・技	思・判・表	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)		
1	1	1	①億と兆・がい数の表し方	命数法で書かれた数の記数法での表し方を理解している。	○				○		○			74.4	0.1	70.0	4.4
2	1	2	①億と兆・がい数の表し方	10分の1にした数を求めることができる。	○				○		○			82.8	0.2	80.0	2.8
3	1	3	①億と兆・がい数の表し方	数直線上に示された大きい数の読み取り方を理解している。	○				○		○			86.9	0.2	80.0	6.9
4	2	1	③小数	小数の大小比較ができる。	○				○		○			81.0	0.3	80.0	1.0
5	2	2	③小数	小数で表している重さの単位換算ができる。	○				○			○		35.9	1.8	30.0	5.9
6	3	1	①億と兆・がい数の表し方	上から2けたの概数の表し方を理解している。	○				○			○		67.6	2.8	80.0	-12.4
7	3	2	①億と兆・がい数の表し方	概数に対応する数の範囲を理解している。	○				○		○			66.9	0.8	65.0	1.9
8	4	1	④計算のきまり	計算のきまりを使って、( )のある式の計算ができる。	○				○			○		82.8	1.5	85.0	-2.2
9	4	2	②わり算	3けた÷1けた=2けた(余りあり)の計算ができる。	○				○			○		67.9	5.5	60.0	7.9
10	4	3	②わり算	3けた÷2けた=1けた(余りあり)の計算ができる。	○				○			○		52.1	9.1	50.0	2.1
11	4	4	③小数	小数第一位+小数第二位の計算ができる。	○				○			○		81.5	2.8	75.0	6.5
12	4	5	③小数	小数第二位-小数第二位の計算ができる。	○				○			○		62.1	4.9	65.0	-2.9
13	5		②わり算	文章問題を解くために立式した2けた÷1けた=2けた(余りあり)の式と計算結果から、余りの処理をして正しい答えを求めることができる。	○				○			○		79.7	1.8	80.0	-0.3
14	6		③小数	示された考えをもとに、数の相対的な大きさを使って、小数の加法を整数の加法に直している。	○					○			○	74.3	7.0	65.0	9.3
15	7	1	⑦簡単な場合についての割合	基準量を求める除法の文章問題を表した図を選ぶことができる。	○		○		○			○		77.4	1.2	80.0	-2.6
16	7	2	⑦簡単な場合についての割合	基準量を求める除法の文章問題に合った立式ができる。	○		○		○			○		68.6	4.9	70.0	-1.4
17	8		⑦簡単な場合についての割合	2つの数量の関係を、もとの長さの何倍になったかを考えて比べている。	○		○			○	○			61.8	1.0	60.0	1.8
18	9		④計算のきまり	計算のきまりを理解し、式に合った文章問題を選んでいる。	○					○	○			60.0	1.1	60.0	0.0
19	10		④計算のきまり	分配法則を用いて計算している。	○					○	○			53.3	1.6	55.0	-1.7
20	11	1	⑥角の大きさ	分度器の中に示された角の大きさの読み取り方を理解している。		○			○			○		76.3	1.6	80.0	-3.7
21	11	2	⑥角の大きさ	角の性質がわかり、2直線が交わってできる角の大きさを計算で求めている。		○				○		○		62.7	3.4	60.0	2.7
22	11	3	⑥角の大きさ	示された考え方をもとに、180°より大きい角の大きさを求めている。		○				○	○			63.7	3.0	60.0	3.7
23	12	1	⑤垂直・平行と四角形	平行な直線の性質を理解している。		○			○			○		58.3	2.4	60.0	-1.7
24	12	2	⑤垂直・平行と四角形	四角形の対角線の性質を理解している。		○			○			○		66.1	2.6	50.0	16.1
25	13		⑤垂直・平行と四角形	ひし形の作図ができる。		○			○			○		71.6	5.1	60.0	11.6
26	14	1	⑧折れ線グラフ	折れ線グラフの縦軸が何を表しているかを理解している。					○	○			○	86.7	5.9	70.0	16.7
27	14	2	⑧折れ線グラフ	折れ線グラフを正しく読み取っている。					○		○			60.5	4.9	60.0	0.5
28	14	3	⑧折れ線グラフ	折れ線グラフをもとに、目的にあう月を求めている。					○		○		○	46.1	7.9	40.0	6.1
29	15		②わり算	除法の性質を理解し、工夫した計算のしかたを説明している。	○					○			○	33.0	12.0	30.0	3.0

令和7年度高知県学力定着状況調査  
設問別調査結果[小学校算数5年]

通し 番号	大 問	小 問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関連				評価の観点			問題形式		高知県		目 標 値 (%)	目 標 値 との 差	
					数 と 計 算	図 形	変 化 と 関 係	テ ー タ の 活 用	知 ・ 技	思 ・ 判 ・ 表	選 択 式	短 答 式	記 述 式	正 答 率 (%)	無 解 答 率 (%)			
1	1	1	①整数のなかま分け	偶数について理解している。	○				○		○				86.6	0.1	80.0	6.6
2	1	2	①整数のなかま分け	最大公約数について理解し、それを求めることができる。	○				○		○				79.6	0.5	75.0	4.6
3	1	3	①整数のなかま分け	最小公倍数を適用して問題を解決している。	○					○		○			51.0	3.7	50.0	1.0
4	2	1	③分数と小数	小数を分数の形に直すことができる。	○				○		○				86.7	0.2	80.0	6.7
5	2	2	③分数と小数	整数÷整数の商を分数で表すことができる。	○				○			○			61.5	4.6	70.0	-8.5
6	3	1	②小数のかけ算・わり算	小数第一位×小数第一位(純小数同士の乗法)の計算ができる。	○				○			○			70.1	0.9	75.0	-4.9
7	3	2	②小数のかけ算・わり算	小数第一位×小数第二位の計算ができる。	○				○			○			59.6	2.6	55.0	4.6
8	3	3	②小数のかけ算・わり算	小数第二位÷小数第一位-小数第一位の計算ができる。	○				○			○			74.0	5.5	65.0	9.0
9	3	4	④分数のたし算・ひき算	真分数+真分数=真分数で、分母どうしをかける通分をする計算ができる。	○				○			○			79.5	3.0	75.0	4.5
10	3	5	④分数のたし算・ひき算	帯分数-真分数=真分数で、片方の分母にそろえる通分をする計算(約分あり)ができる。	○				○			○			67.3	5.5	65.0	2.3
11	4		②小数のかけ算・わり算	小数の乗法と除法において、乗数による被乗数と積、除数による被除数と商の大小関係を理解している。	○				○		○				46.1	1.3	50.0	-3.9
12	5		②小数のかけ算・わり算	小数の乗法でも分配法則が成り立つことを理解している。	○				○			○			54.0	5.0	55.0	-1.0
13	6		②小数のかけ算・わり算	図を見て、小数倍の文章問題(何倍かを求める)を解くために除法の立式をしている。	○					○	○				78.4	0.4	70.0	8.4
14	7		②小数のかけ算・わり算	小数第一位×小数第一位の乗法の式に合った文章問題を選んで いる。	○					○	○				76.2	0.4	65.0	11.2
15	8	1	②小数のかけ算・わり算	小数の除法(小数÷純小数)の文章問題を図に表している。	○					○	○				67.1	0.6	50.0	17.1
16	8	2	②小数のかけ算・わり算	図を使って、小数の除法の文章問題に合った式を選んで いる。	○					○	○				59.1	0.8	50.0	9.1
17	9	1	⑦体積	立方体の体積を求める式を理解している。		○			○			○			55.3	5.5	75.0	-19.7
18	9	2	⑦体積	直方体を組み合わせた形の体積の求め方の図にあった式を選んで いる。		○				○	○				76.6	1.0	70.0	6.6
19	10		⑥図形の角	四角形の4つの角の和を理解し、3つの角の大きさから残りの角 の大きさを求めることができる。		○			○			○			60.2	4.0	55.0	5.2
20	11		⑤合同	既習の四角形について、対角線で分割した三角形を合同の観点 でとらえ直している。		○				○	○				80.4	0.9	70.0	10.4
21	12		⑤合同	3辺の長さを使って、合同な三角形を作図することができる。		○			○			○			83.4	3.2	80.0	3.4
22	13		⑧単位量あたりの大きさ、比例	比例の関係を理解し、一方の値に対応する他方の値を求めること ができる。			○		○			○			86.1	1.4	80.0	6.1
23	14	1	⑨平均	値に0があり、答えが小数になる分母量の平均を求めること ができる。				○	○		○				81.1	1.8	70.0	11.1
24	14	2	⑨平均	平均から全体の量を推測することができる。				○	○		○				39.4	2.4	50.0	-10.6
25	15	1	⑧単位量あたりの大きさ、比例	2つの町の1km <sup>2</sup> あたりの人数(人口密度)をそれぞれ求めて、ど ちらの町の方がこんでいるのかを説明している。			○			○			○		48.8	12.8	30.0	18.8
26	15	2	⑧単位量あたりの大きさ、比例	人口密度と面積から、ある町の人口を求めることができる。			○		○			○			9.8	22.1	30.0	-20.2
27	16	1	⑥図形の角	三角形の3つの角の大きさの和を理解し、二等辺三角形の性質か ら角の大きさを求めることができる。		○			○			○			51.0	11.9	50.0	1.0
28	16	2	⑤合同	合同な三角形の、対応する角について理解している。		○			○			○			71.6	8.4	70.0	1.6
29	16	3	⑥図形の角	しきつめ模様から六角形を見出し、その六角形の角の大きさの和 の求め方を説明している。		○				○			○		24.3	24.1	30.0	-5.7



## これまでの授業改善から見られる成果

学年	問題番号	問題の内容	出題のねらい	高知県正答率(%)
4	6	小数	示された考えをもとに、数の相対的な大きさを使って、小数の加法を整数の加法に直している。	74.3
5	15(1)	単位量あたりの大き、比例	2つの町の1km <sup>2</sup> あたりの人数(人口密度)をそれぞれ求めて、どちらの町の方がこんでいるのかを説明している。	48.8

4年生では、小数の加法について説明する問題で目標値を上回った。

5年生では、人口密度を求めて、どちらの町がこんでいるのかを説明する問題で、過去の類似問題と比較すると改善が見られ、目標値も上回った。

このことから、授業において答えを求めるだけでなく、どのように考えて解決したのかという思考過程が大切にされ、式や言葉を使って説明する活動の充実が図られていることがうかがえる。今後も一層の充実を図りたい。



## 課題・今後の学習改善に向けて

学年	問題番号	問題の内容	出題のねらい	高知県正答率(%)
4	3(1)	億と兆・がい数の表し方	上から2けたの概数の表し方を理解している。	67.6
5	14(2)	平均	平均から全体の量を推測することができる。	39.4

(分析・考察)

4年生の大問3(1)は、人数を四捨五入して上から2けたの概数にすることが求められたが、正答率は目標値に届かなかった。例えば、人数のおよその合計を知りたいとき、概数を使って表せば、複雑な計算をしなくても合計が分かる良さを実感したり、「どの位までの概数にすればよいのか。」「切り上げるのか、切り捨てるのか、四捨五入するのか。」ということ、子ども自らが目的に応じて判断したりする経験が十分ではないことが考えられる。

5年生の大問14(2)は、平均の考えを生かして、全体の量を推測することが求められているが、「平均を用いる」ということは問題に明示されていない。そのため、平均の考えを用いればよいことを子どもが見いだして、解決する必要があった。また、以下の2段階で思考し、全体の量を表す数値を選択する必要があった。

① ミニトマト4個の重さを合計した後、4等分することで、ミニトマト1個の平均の重さを求める。

② ①で求めた1個の平均をもとに20個分の重さを求める。

解答状況を見ると、ミニトマト4個の重さの合計にとどまった割合が14.9%、ミニトマト1個の平均の重さととどまった割合が37.3%であった。20個分の重さにたどり着いた割合は39.4%である。このことから、平均の意味を正しく理解し、目的に応じて活用する力は十分に身に付いていないことがうかがえる。

(学習改善のポイント)

基礎的・基本的な内容の習得を図るとともに、子どもが様々な場面で「理解していること」「できること」を活用し、問題解決する場面を設定することが重要である。授業においては、教師が「どうしてそのように考えたのか」、根拠を問い返したり、子どもの素朴な疑問を大切に、他の子どもに説明させたりすることなどを通して、内容の意味理解を深め、他の学習場面や生活の場面でも算数を生かして問題解決できる力を育成することが大切である。



算数科では

日常生活や算数の問題を解決することを通して、**筋道立て考えたり、考えたことを説明したりする力を身に付けるとともに、算数を生活や学習に進んで生かそうとする態度の育成**を目指しています。

全部しぼると、どれくらいのみかんジュースができるかな。

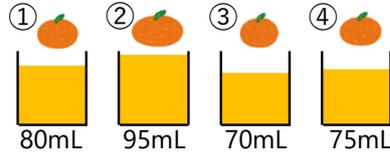


全部しぼらなくても、分かる方法はないのかな。

どのみかんも同じような大きさだから、1個のみかんからはだいたい同じくらいしぼれるんじゃないかな。試しに何個かしぼって見たらどうかな。



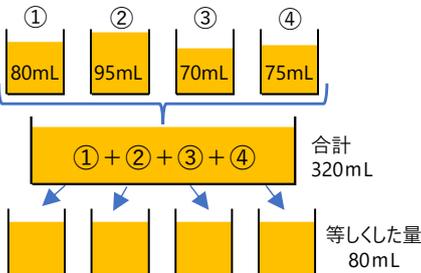
4個取り出してしぼってみると・・・



みかん1個からしぼることができる量はばらばらだよ。1個からどれくらいしぼることができるか分からないかな。



みかん1個からしぼることができるジュースの量は、何mLと考えられますか。



1個からしぼることができる量が、等しくなるように計算で考えることはできないかな。



まずは、①～④の合計を求めて、次に4等分すれば、計算で等しくできるんじゃないかな。  
 $(80+95+70+75) \div 4 = 80$   
 みかん1個分は80mLだと考えられるね。  
 図を使って説明すると分かりやすい！

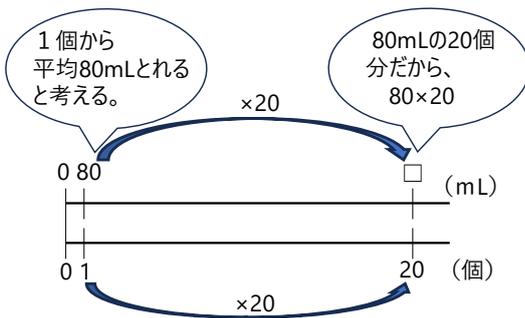


子どもが図を使って説明し、実感的に「平均」の意味を理解することが大切です。



いくつかの数量を、等しくしたときの大きさを**平均**といいます。

図を使って説明すると、計算していることの意味が分かりますね。



みかん1個の平均は80mLだから、その20個分で、 $80 \times 20$ で求められるんじゃないかな。



箱の中のみかんの大きさはそれぞれちがうのに、 $80 \times 20$ で計算していいのかな？



この箱に入っているどのみかんからも、平均で80mLとれると考えたから、80mLの20個分。だから $80 \times 20$ で求められるよ。



なるほど！平均で考えると、全部をしぼらなくても20個分のジュースの量が予想できるね。平均って便利！



でも、本当はいろいろな大きさのみかんがあるから、20個しぼると、ぴったり1600mLにはならないかもね。約1600mLと表すといいね。



「平均」を求めて終わるのではなく、「平均」を使って問題解決をすることで、「平均」の意味理解を深めたり、「平均」の良さを感じられるようにすることが大切です。

身の回りで「平均」の考えを使うと、解決できそうなことを探してみよう！

例えば・・・自分の10歩で歩ける長さの平均を知っていれば、メジャーがない場所でも歩いてみるだけで、だいたいの長さが分かる。

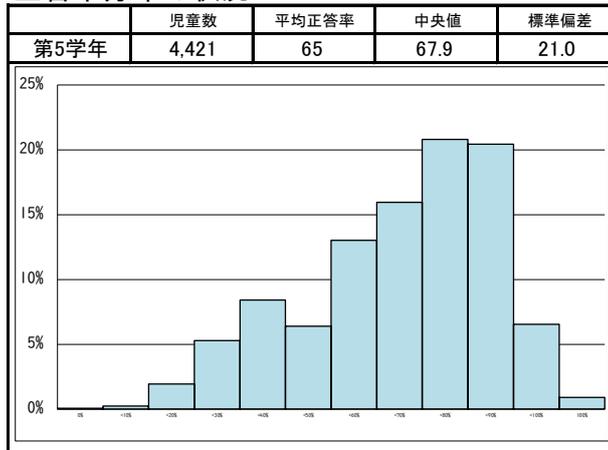
他にも算数の学習を生かして解決できそうなことはないかな

# 小学校 理科

### (3) 小学校理科

【分類・区分別の状況】

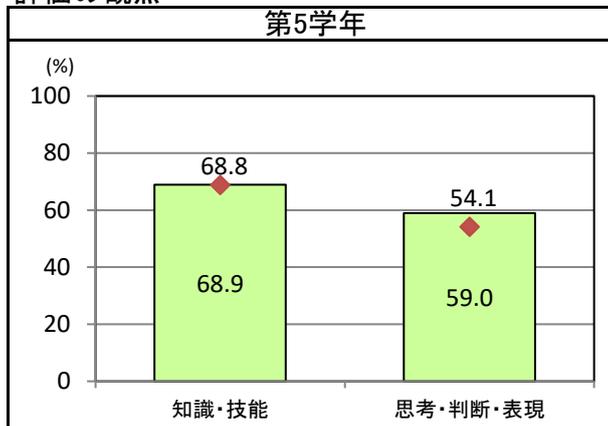
#### 正答率分布の状況



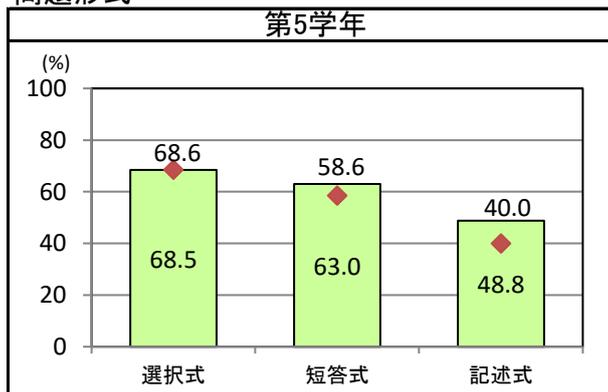
学習指導要領の領域・内容 ■ 高知県正答率 ◆ 目標値



#### 評価の観点



#### 問題形式



令和7年度高知県学力定着状況調査  
設問別調査結果[小学校理科5年]

通し 番号	大 問	小 問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関連			評価の観点			問題形式			高知県		目 標 値 (%)	目 標 値 との 差
					生命	地球	知・技	思・判・表	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)				
1	1	1	①天気の変化	天気を決め方について理解している。		○	○		○				52.1	0.3	50.0	2.1	
2	1	2	①天気の変化	気象情報の収集について理解している。		○	○			○			49.6	3.9	60.0	-10.4	
3	1	3	①天気の変化	天気の言い伝えに天気の変化のまきを適用し、気象のようすを説明できる。		○		○		○			68.7	2.1	50.0	18.7	
4	2	1	①天気の変化	台風の進路予想を示す図について理解している。		○	○		○				45.8	0.3	40.0	5.8	
5	2	2	①天気の変化	台風の動きや、台風が近づいたときの天気の変化について理解している。		○	○		○				77.7	0.2	80.0	-2.3	
6	3	1	②植物の発芽と成長	発芽について理解している。	○		○			○			84.1	3.7	85.0	-0.9	
7	3	2	②植物の発芽と成長	発芽に日光が必要かどうかを調べるための対照実験と、予想が正しかった場合に得られる実験の結果を構想できる。	○			○	○				53.6	0.4	55.0	-1.4	
8	3	3	②植物の発芽と成長	土を耕すと変わること、発芽に必要な条件と関連付け、変わる条件について分析できる。	○			○	○				50.8	0.4	50.0	0.8	
9	4	1	②植物の発芽と成長	植物の成長に肥料が必要かどうかを調べるための実験の条件について推測できる。	○			○	○				57.0	0.3	55.0	2.0	
10	4	2	②植物の発芽と成長	植物がよく成長する条件について推測できる。	○			○	○				80.6	0.3	80.0	0.6	
11	4	3	②植物の発芽と成長	日光や肥料と植物の成長との関係について理解している。	○		○		○				82.0	0.5	80.0	2.0	
12	5	1	③魚のたんじょう	メダカの飼いや方について理解している。	○		○		○				84.7	0.2	85.0	-0.3	
13	5	2	③魚のたんじょう	メダカの産卵のようすについて理解している。	○		○			○			88.2	0.7	85.0	3.2	
14	5	3	③魚のたんじょう	子メダカからのようすの変化から、孵化したばかりの子メダカの育ち方を分析できる。	○			○			○		67.6	5.0	60.0	7.6	
15	6	1	④植物の花のつくりと実	アサガオの花とヘチマの花の共通するつくりを理解している。	○		○			○			63.4	1.6	55.0	8.4	
16	6	2	④植物の花のつくりと実	ヘチマの花のようすからめばなであることを指摘できる。	○		○		○				77.0	1.1	75.0	2.0	
17	6	3	④植物の花のつくりと実	受粉について理解している。	○			○		○			42.0	4.7	30.0	12.0	
18	7	1	⑤流れる水のはたらき	たい積、運搬、しん食について理解している。		○	○		○				70.4	0.7	70.0	0.4	
19	7	2	⑤流れる水のはたらき	資料から、水の流れる速さと川のようすの関係について分析できる。		○		○	○				73.4	1.0	75.0	-1.6	
20	8		⑤流れる水のはたらき	防災のための遊水地の役目について説明できる。		○		○			○		47.0	10.8	30.0	17.0	
21	9	1	⑤流れる水のはたらき	川の上流や下流の石の特徴について理解している。		○	○		○				71.0	1.2	75.0	-4.0	
22	9	2	⑤流れる水のはたらき	地形と川のようすについて理解している。		○	○		○				80.2	1.4	80.0	0.2	
23	10	1	⑥けんび鏡の使い方	最初に観察するときの顕微鏡の倍率について理解している。	○		○			○			44.7	3.1	45.0	-0.3	
24	10	2	⑥けんび鏡の使い方	顕微鏡の操作方法を身に付けている。	○		○		○				67.1	2.2	70.0	-2.9	
25	10	3	⑥けんび鏡の使い方	顕微鏡の見え方と操作方法について理解している。	○		○		○				56.7	2.6	60.0	-3.3	
26	11	1	④植物の花のつくりと実	ヘチマの実のつき方を調べる実験で、袋をかぶせる理由について理解している。	○		○		○				76.5	2.6	75.0	1.5	
27	11	2	④植物の花のつくりと実	ヘチマの実のつき方を調べる実験の結果を予想できる。	○			○	○				76.0	2.9	80.0	-4.0	
28	11	3	④植物の花のつくりと実	アサガオの花とヘチマの花のつくりの相違点を分析し、適切な実験方法を構想できる。	○			○			○		31.7	5.3	30.0	1.7	



## これまでの授業改善から見られる成果

学年	問題番号	問題の内容	出題のねらい	高知県正答率(%)
5	3(2)	植物の発芽と成長	発芽に日光が必要かどうかを調べるための対照実験と、予想が正しかった場合に得られる実験の結果を構想できる。	53.6
5	4(1)	植物の発芽と成長	植物の成長に肥料が必要かどうかを調べるための実験の条件について推測できる。	57.0

令和6年度の課題であった発芽や成長の条件に関する類似問題において、昨年度比で一定の伸びが見られ、令和7年度は改善傾向にあると考えられる。

R6 高知県学力定着状況調査  
類似問題

- ・1 (3) 高知県正答率 27.9%
- ・1 (5) 高知県正答率 44.9%

その要因として、具体的に次の2点が挙げられる。

- \* 発芽や成長の条件を特定する際、「**変える条件**」と「**変えない条件**」を区別して計画することや、**調べたい条件だけを変えて比較する実験の考え方が定着しつつある。**
- \* 単に実験を行うだけでなく、「どのような結果が得られれば自分の予想が正しいといえるか」といった**見通しを実験前に立てられる児童が増えている。**

これらのことから、**実験計画を立てる際には、「変える条件」だけでなく「変えない条件」にも目を向けさせ、実験が成り立つよう整理する学習活動**がなされていることがうかがえる。



## 課題・今後の学習改善に向けて

学年	問題番号	問題の内容	出題のねらい	高知県正答率(%)
5	11(3)	植物の花のつくりと実	アサガオの花とヘチマの花のつくりの相違点を分析し、適切な実験方法を構想できる。	31.7

(分析・考察)

アサガオの受粉と結実の関係を調べる実験において、ヘチマの実験方法を基にしながら、実験方法を改善することに課題が見られた。

これは、ヘチマの実験で行った「めばなのつぼみに袋をかぶせる」といった実験の手順を形式的に当てはめてしまい、「なぜ袋をかぶせる必要があるのか」という目的意識が不十分だったと考えられる。「何を確かめたいのか」を明確にした上で、ヘチマの花とアサガオの花のつくりの違いに合わせて、その方法で本当に確かめられるかを判断する力が十分でないと考えられる。

(学習改善のポイント)

問題の解決に向けては、実験の手順を知識として身に付けるだけでなく、「何を確かめたいのか」という**目的意識をもち、実験計画を吟味していくことが大切である。**自然への疑問を「**自分自身の問い**」として捉えることで、条件をそろえることが「正しく答えを出すための納得のいく準備」へと変わる。また、ヘチマとの違いをふまえ、「この方法で本当にアサガオでもうまくいかな？」と、自分たちで手順の確かさを問い直し、より良い方法を見付けようとする姿勢を育てていく必要がある。



理科では

自然の変化の『違い』や『共通点』を見付けることから、根拠のある予想ができることを大切にしています。疑問が『自分自身の知りたいこと』になることで、『どうすれば確かめられるか』という方法を、自分の力で考えられるようになります。

問題解決をする過程



校庭の花だんで育ったインゲンマメ

みんなが育てているインゲンマメはどうなっているでしょうか。見に行ってみましょう。

うわあ。大きく育っているね。たくさんの実もついているよ。水も忘れずにあげてたから、よかったね。

天気もよかったし、暖かかったからインゲンマメも元気に育ってるね。うれしいな。

あれ？ 同じインゲンマメなのに、こちらは細くて黄色いよ。

ほんとだ。さっきの校庭の花だんのインゲンマメと比べると、実も全然ついてないよ。どうしてだろう？

どちらにも忘れずに水をあげてたのに。

Point  
『あれ？』と感じる目の前の変化を比較して、違う点や同じ点に目を向ける



裏庭で育ったインゲンマメ

校庭の花だんのインゲンマメと裏庭のインゲンマメを比べてみる事ができていますね。

どちらも大きく育てるには、どうしたらいいのかなあ？

水のあげ方や温度も同じなのに、どうして成長の仕方が違ったのでしょうか？

あっ！ 育てている場所の違いだ。日なたと日かげだ！あれ？ でも、発芽するには日光は必要なかったよね。

そうだね。でも、大きく育つためには、日光が必要なのかもしれないね。

Point  
疑問で終わらず、予想を基に『何を明らかにしたいか』を明確にする

うん。それから野菜を育てるとき肥料をあげるよね。大きく育つためには、肥料も必要かもしれないね。

何が 필요한のか調べてみないと分からないですね。確かめたいことは何ですか？

問題：植物が大きく成長するには何が必要だろうか？

Point  
どうすれば確かめられるのかを考え、「変える条件」と「変えない条件」を整理する

まずは、日光が原因なのかを調べたいな！  
そのためには、日光の条件だけを変えて調べなといけなね。

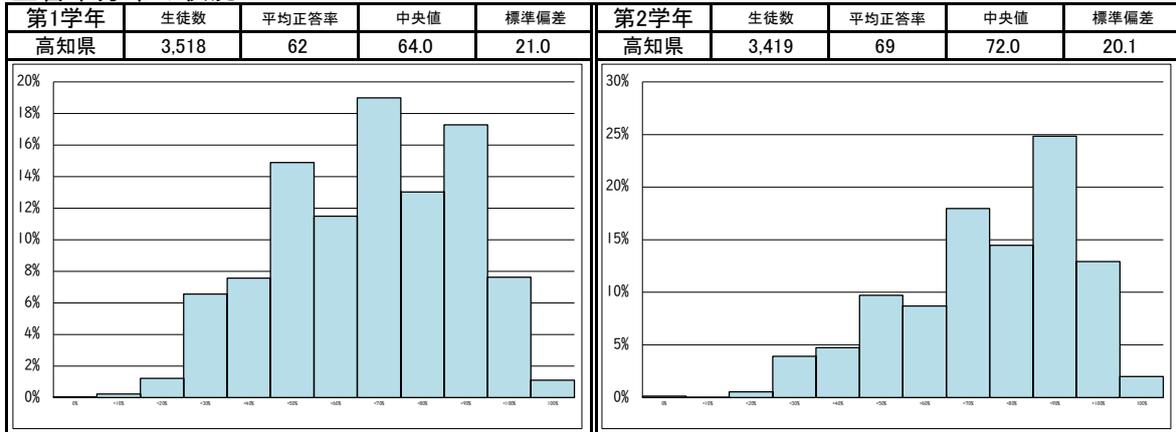
そうだね。他のものも変えるとどれが原因が分からなくなるね。！

# 中学校 国語

## (4) 中学校国語

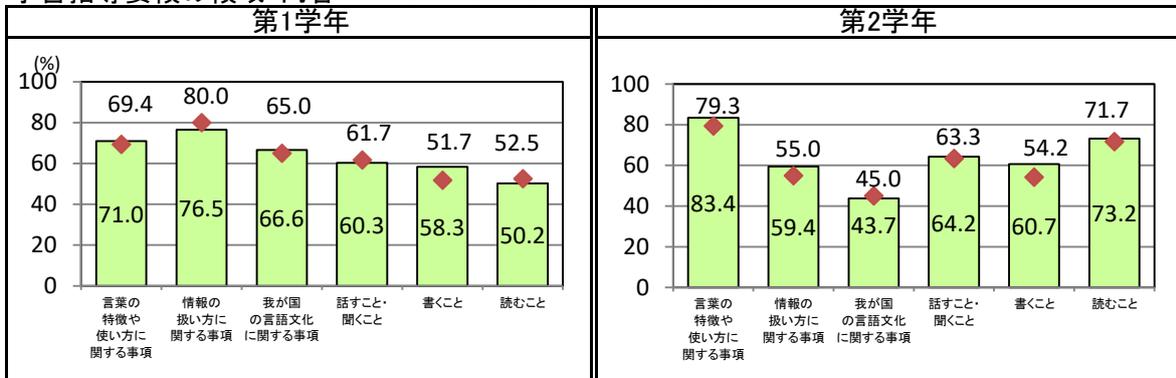
### 【分類・区別の状況】

#### 正答率分布の状況

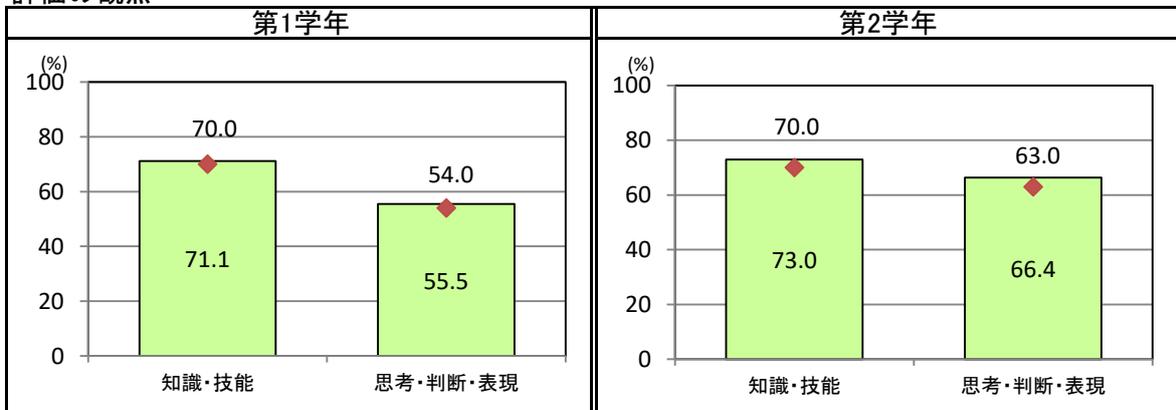


#### 学習指導要領の領域・内容

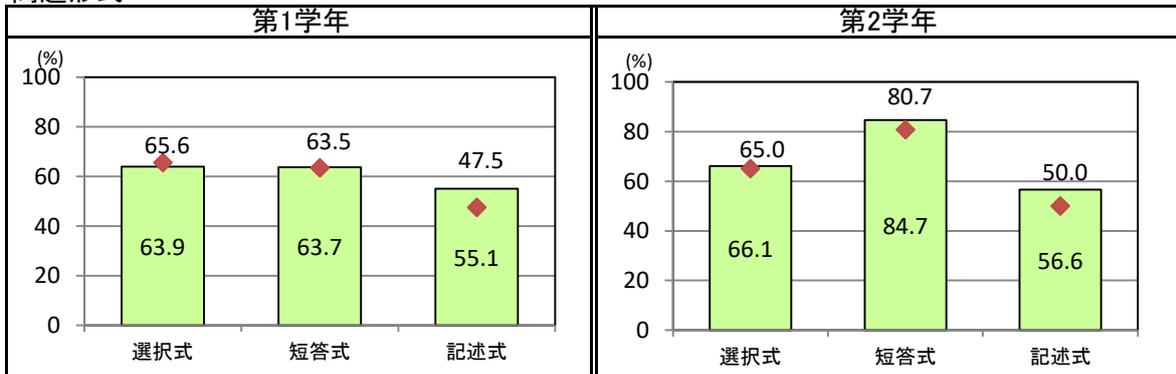
■高知県正答率    ◆目標値



#### 評価の観点



#### 問題形式



令和7年度高知県学力定着状況調査  
設問別調査結果[中学校国語1年]

通し 番号	大 問	小 問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関連						評価の観点			問題形式		高知県		目 標 値 (%)	目 標 値 との 差
					言 語 の 特 徴	情 報 の 扱 い 方	言 語 文 化	話 す こ と ・ 聞 く こ と	書 く こ と	読 む こ と	知 ・ 技	思 ・ 判 ・ 表	選 択 式	短 答 式	記 述 式	正 答 率 (%)	無 解 答 率 (%)		
1	1	(1)	①話し合いの内容を聞き取る	必要に応じて記録しながら話の内容を捉えている。				○				○				30.3	3.8	30.0	0.3
2	1	(2)	①話し合いの内容を聞き取る	必要に応じて記録しながら話の内容を捉えている。				○				○	○			81.0	0.5	85.0	-4.0
3	1	(3)	①話し合いの内容を聞き取る	自分の考えや根拠が明確になるように、話の構成を考えている。				○				○	○			69.6	0.6	70.0	-0.4
4	2	(1) ①	②漢字を読む	第1学年までに学習した漢字を正しく読んでいる。	○							○				82.2	2.8	85.0	-2.8
5	2	(1) ②	②漢字を読む	第1学年までに学習した漢字を正しく読んでいる。	○							○				99.5	0.1	90.0	9.5
6	2	(1) ③	②漢字を読む	第1学年までに学習した漢字を正しく読んでいる。	○							○				99.4	0.2	90.0	9.4
7	2	(2) ①	③漢字を書く	小学校で学習した漢字を正しく書いている。	○							○				38.1	14.8	40.0	-1.9
8	2	(2) ②	③漢字を書く	小学校で学習した漢字を正しく書いている。	○							○				40.5	31.6	50.0	-9.5
9	2	(2) ③	③漢字を書く	小学校で学習した漢字を正しく書いている。	○							○				83.2	6.7	75.0	8.2
10	3	(1)	④文法・語句に関する事項	単語について理解している。	○							○				64.0	0.2	60.0	4.0
11	3	(2)	④文法・語句に関する事項	漢字の部首について理解している。	○							○				60.9	0.5	65.0	-4.1
12	3	(3)	④文法・語句に関する事項	歴史的仮名遣いについて理解している。				○				○				66.6	2.0	65.0	1.6
13	4	(1)	⑤説明的な文章の内容を読み取る	文章の内容について叙述を基に捉えている。							○		○			50.9	0.4	50.0	0.9
14	4	(2)	⑤説明的な文章の内容を読み取る	目的に応じて必要な情報に着目して、内容を解釈している。							○		○			27.1	9.7	30.0	-2.9
15	4	(3)	⑤説明的な文章の内容を読み取る	文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。							○		○			53.5	1.7	55.0	-1.5
16	5	(1)	⑥文学的な文章の内容を読み取る	登場人物の心情について、描写を基に捉えている。							○		○			56.2	0.7	60.0	-3.8
17	5	(2)	⑥文学的な文章の内容を読み取る	登場人物の心情について、描写を基に捉えている。							○		○			51.5	2.6	55.0	-3.5
18	5	(3)	⑥文学的な文章の内容を読み取る	表現の効果について、根拠を明確にして考えている。							○		○			62.1	1.3	65.0	-2.9
19	6	(1)	⑦調べたことをもとにレポートを書く	情報の整理の仕方について理解を深め、それを使っている。		○						○				76.5	1.2	80.0	-3.5
20	6	(2)	⑦調べたことをもとにレポートを書く	読み手の立場に立って、文章を整えている。							○		○			49.3	2.9	55.0	-5.7
21	6	(3)	⑦調べたことをもとにレポートを書く	読み手からの助言を踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。							○		○			56.9	16.4	55.0	1.9
22	7		⑧文章を書く	目的や意図に応じて、伝えたいことを明確にしている。							○		○			67.7	17.4	55.0	12.7
23	7		⑧文章を書く	書く内容の中心が明確になるように、文章の構成や展開を考えている。							○		○			63.9	17.4	50.0	13.9
24	7		⑧文章を書く	自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。							○		○			48.3	17.4	45.0	3.3
25	7		⑧文章を書く	自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。							○		○			63.4	17.4	50.0	13.4

令和7年度高知県学力定着状況調査  
設問別調査結果[中学校国語2年]

通し 番号	大 問	小 問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関連						評価の観点			問題形式		高知県		目 標 値 (%)	目 標 値 との 差
					言 語 の 特 徴	情 報 の 扱 い 方	言 語 文 化	話 す こ と ・ 聞 く こ と	書 く こ と	読 む こ と	知 ・ 技	思 ・ 判 ・ 表	選 択 式	短 答 式	記 述 式	正 答 率 (%)	無 解 答 率 (%)		
1	1	(1)	①発表の内容を聞き取る	論理の展開に注意して、話し手の考えを聞いている。				○				○	○			75.0	0.1	75.0	0.0
2	1	(2)	①発表の内容を聞き取る	自分の考えが明確になるように、話の構成を工夫している。				○				○	○			81.7	0.2	80.0	1.7
3	1	(3)	①発表の内容を聞き取る	自分の考えが明確になるように、話の構成を工夫している。				○				○		○		35.7	14.1	35.0	0.7
4	2	(1) ①	②漢字を読む	第2学年までに学習した漢字を正しく読んでいる。	○							○		○		98.2	0.4	90.0	8.2
5	2	(1) ②	②漢字を読む	第2学年までに学習した漢字を正しく読んでいる。	○							○		○		99.3	0.2	90.0	9.3
6	2	(1) ③	②漢字を読む	第2学年までに学習した漢字を正しく読んでいる。	○							○		○		92.9	0.2	85.0	7.9
7	2	(2) ①	③漢字を書く	小学校で学習した漢字を正しく書いている。	○							○		○		69.2	8.9	70.0	-0.8
8	2	(2) ②	③漢字を書く	小学校で学習した漢字を正しく書いている。	○							○		○		86.5	4.9	85.0	1.5
9	2	(2) ③	③漢字を書く	小学校で学習した漢字を正しく書いている。	○							○		○		77.9	10.5	80.0	-2.1
10	3	(1)	④文法・語句に関する事項	現代語訳を手掛かりに古典を読んでいる。			○					○		○		51.5	0.1	55.0	-3.5
11	3	(2)	④文法・語句に関する事項	行書の特徴について理解している。			○					○		○		35.9	0.3	35.0	0.9
12	3	(3)	④文法・語句に関する事項	文の成分について理解している。	○							○		○		59.5	0.3	55.0	4.5
13	4	(1)	⑤説明的な文章の内容を読み取る	文章全体と部分との関係に注意しながら内容を捉えている。							○		○	○		71.8	0.2	75.0	-3.2
14	4	(2)	⑤説明的な文章の内容を読み取る	文章の構成や論理の展開について考えている。							○		○	○		68.1	0.4	65.0	3.1
15	4	(3)	⑤説明的な文章の内容を読み取る	目的に応じて複数の情報を整理しながら内容を解釈している。							○		○	○		68.6	5.2	65.0	3.6
16	5	(1)	⑥文学的な文章の内容を読み取る	登場人物の言動の意味について考えて、内容を解釈している。							○		○	○		80.8	0.3	80.0	0.8
17	5	(2)	⑥文学的な文章の内容を読み取る	文章の表現の効果について考えている。							○		○	○		71.7	0.3	70.0	1.7
18	5	(3)	⑥文学的な文章の内容を読み取る	文章を読んで考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを深めている。							○		○	○		78.0	0.4	75.0	3.0
19	6	(1)	⑦調べたことをもとにレポートを書く	情報と情報との関係について理解している。	○								○	○		59.4	1.0	55.0	4.4
20	6	(2)	⑦調べたことをもとにレポートを書く	読み手の立場に立って、文章を整えている。							○		○	○		60.4	0.9	60.0	0.4
21	6	(3)	⑦調べたことをもとにレポートを書く	読み手からの助言を踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。							○		○	○		40.9	19.0	40.0	0.9
22	7		⑧文章を書く	目的や意図に応じて、伝えたいことを明確にしている。							○		○	○		67.0	17.3	60.0	7.0
23	7		⑧文章を書く	文章の構成や展開を工夫している。							○		○	○		67.0	17.3	55.0	12.0
24	7		⑧文章を書く	自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。							○		○	○		65.1	17.3	55.0	10.1
25	7		⑧文章を書く	自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。							○		○	○		63.7	17.3	55.0	8.7



## これまでの授業改善から見られる成果

学年	問題番号	問題の内容	出題のねらい	高知県正答率(%)
2	4(2)	説明的な文章の内容を読み取る	文章の構成や論理の展開について考えている。	68.1
	4(3)		目的に応じて複数の情報を整理しながら内容を解釈している。	68.6

R6	高知県学力定着状況調査類似問題（第一学年）	・3	（3）	高知県正答率	41.4%
R7	全国学力・学習状況調査類似問題	・3	四	高知県正答率	15.8%

2年生で、説明的な文章の内容を読み取ることに、**文章の構成や論理の展開について考えることや複数の情報を整理して内容を解釈すること**について、過去の類似問題と比較すると改善が見られた。これは、**構成や論理の展開について自分なりの考えをもったり、目的に応じて文章の情報を整理したりすることができるような学習活動**を行ってきた成果だと考えられる。

文章を精査・解釈するためには、【知識及び技能】と関連付けたり複数の文章を比較して読んだりするなど、目的に沿って意味付けたり考えたりすることが、引き続き重要である。



## 課題・今後の学習改善に向けて

学年	問題番号	問題の内容	出題のねらい	高知県正答率(%)
1	6(2)	調べたことをもとにレポートを書く	読み手の立場に立って、文章を整えている。	49.3
	6(3)		読み手からの助言を踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。	56.9
2	6(3)	調べたことをもとにレポートを書く	読み手からの助言を踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。	40.9

（分析・考察）

いずれの学年においても、**複数の情報を整理し、読み手の立場に立って推敲したり共有したりして書くこと**に課題が見られた。指定された文字数に沿ったり指定された言葉を用いたりして書くことはできているが、目的に沿って**必要な情報を取捨選択して書くことや、改善点を書き手自身が見いだすこと**においては十分でない。

（学習改善のポイント）

複数の情報を、「意見」「根拠」「具体」「抽象」など、**情報と情報との関係を表す言葉を用いて図式化して整理し、目的に合わせて適切な情報が十分に書き表されているかどうか推敲すること**が必要である。



国語科では

自分のもつ情報を整理して、その関係を分かりやすく明確にすることが話や文章で適切に表現することにつながるため、情報の扱い方に関する「知識及び技能」の資質・能力を育成することに取り組んでいます。

★情報の扱い方に関する「知識及び技能」の資質・能力とは

1. 情報と情報との関係を表す言葉を理解し関係性について考える力

意見

自分の判断や考えを示すもの。

根拠

考えや言動のよりどころ。

支えるものか

具体

物事などを明確な形や内容で示したもの。  
(例) おにぎり、パン、果物

抽象

いくつかの事物等に共通する要素を抜き出して示したもの。  
(例) 食べ物

明確になっているか

共通しているか

【若手社員向け研修レポートの下書き】

件名：「ビジネスコミュニケーション研修」  
受講報告  
提出日：〇月〇日  
氏名：営業部 佐々木花子

1. 研修概要  
研修名：若手社員向けコミュニケーション研修  
日時：令和8年〇月〇日 13:00～15:00…

2. 研修の内容（要約）  
印象を良くする聞き方・あいづちの打ち方

3. 学んだこと・感想  
今回の研修で最も重要だと感じたのは、話し方ではなく「聴く力（傾聴）」でした。傾聴することがビジネスコミュニケーションでは最も重要であると気付きました。…

4. 今後の業務への活用  
業務検討時、…

2. 複数の情報を図式化するなどして整理する力

意見

ビジネスコミュニケーションでは「聴く力（傾聴）」が最も重要である。

根拠と意見が  
つながる  
考え

（本から）人は「自分のことを理解してもらえた」と感じて初めて、相手の言葉に耳を傾ける心理状態になると分かった。

（調査から）相手が「聞く耳」を持っていないければコミュニケーションは成立しないと分かった。

根拠

有名な本には「～」という記述がある。  
／有名な企業の調査で80%以上が～。

【修正後の研修レポート】

意見

3. 学んだこと・感想  
今回の研修で最も重要だと感じたのは、話し方ではなく「聴く力（傾聴）」でした。以下のデータや理論に基づき、その重要性を再認識しました。

根拠

…という本には「…」という記述がありました。このことから、人は、自分のことを理解してもらえたと感じて初めて…と考えることができました。

根拠と意見が  
つながる  
考え

…プロジェクト調査では、80%以上の…と結論付けられています。相手が「聞く耳」を持っていないければ…ということに気付かされました。

意見 や 根拠 などの情報と情報との関係を表す言葉を用いて確かめる。



研修で「学んだこと・感想」を書いてみただけ、本当に感想だけだね…。研修の中で、本とか有名企業の調査とかいろいろ情報もらったけど、そのことも書いた方がいいよね。

感想だけ書いても、なぜそう思ったのか分からないから、自分の考えが伝わりにくいよね。研修でもらった情報を書いたら考えのよりどころになるんじゃない。



考えのよりどころになるもの、それって根拠だね。自分の考えのよりどころになる情報ってどれになるんだっけ。



推敲

本からはこの部分、企業の調査からはこの部分を書いたら考えに結び付くかな。本の記述の引用もしたし、数値もきちんと書いたから説得力あるよね。



待って待って。データに基づく根拠にはなっているけど、その根拠から、「聴く力が最も重要だ」ってどうして言えるの？その根拠から導き出される考えがあるからじゃない。



本からは人は「自分の…」ことが分かった。調査からは相手が…ということが分かった。だから「聴く力が重要だ」っていえるんだね。複雑な情報を整理したから、根拠と意見が適切につながったレポートが書けた。

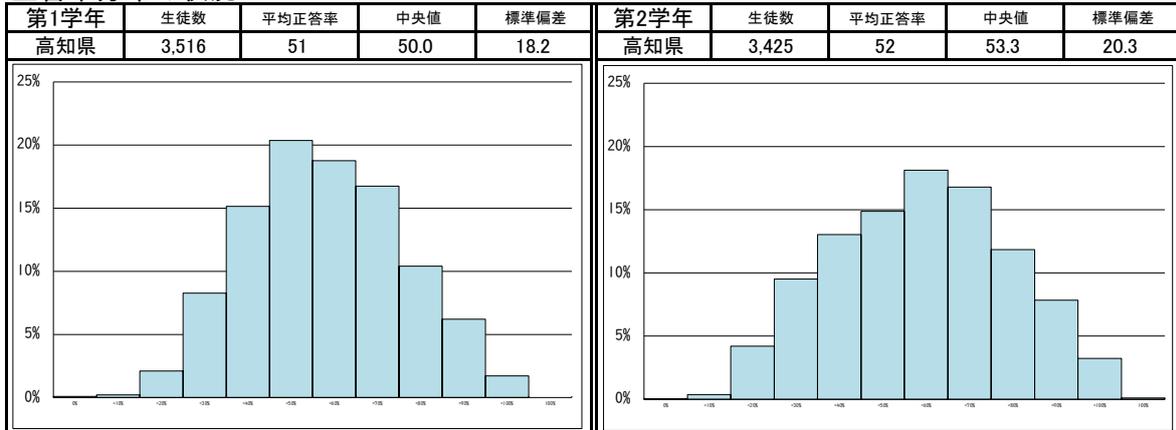


# 中学校 社会

## (5) 中学校社会

### 【分類・区別の状況】

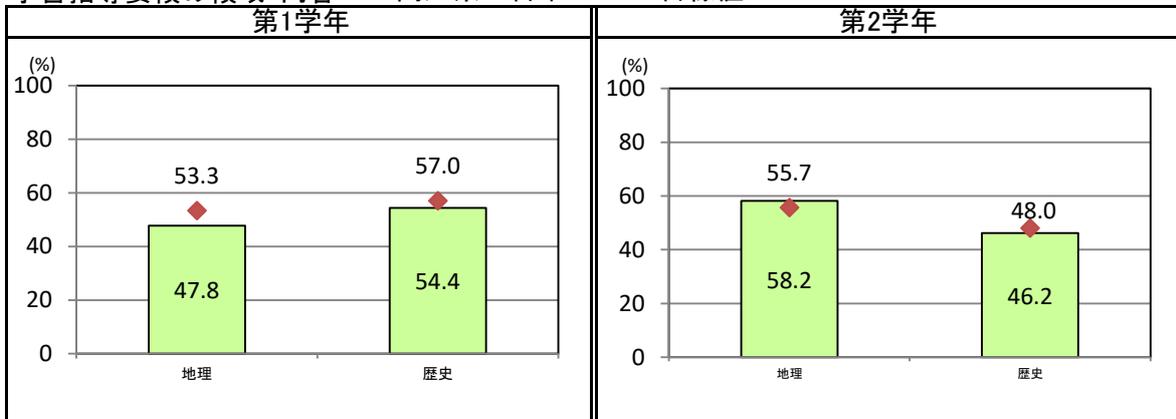
#### 正答率分布の状況



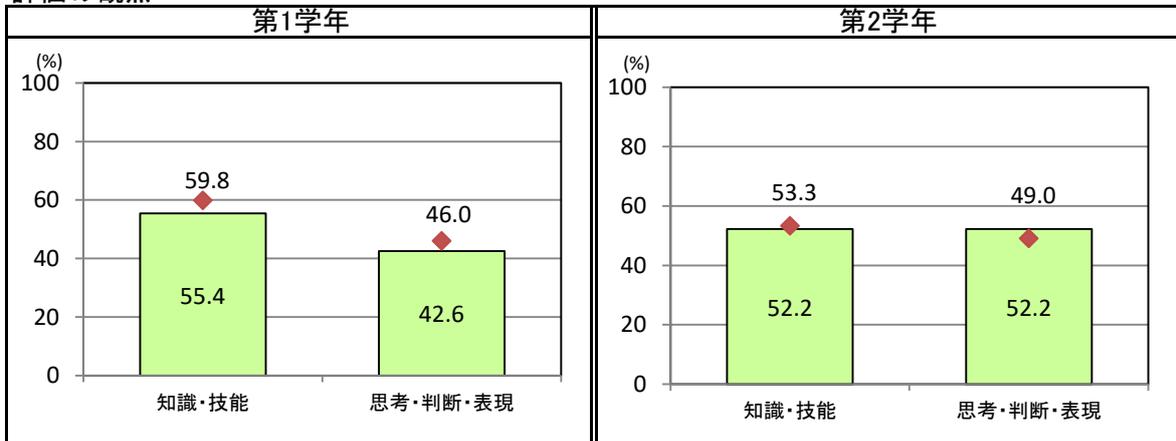
#### 学習指導要領の領域・内容

■高知県正答率

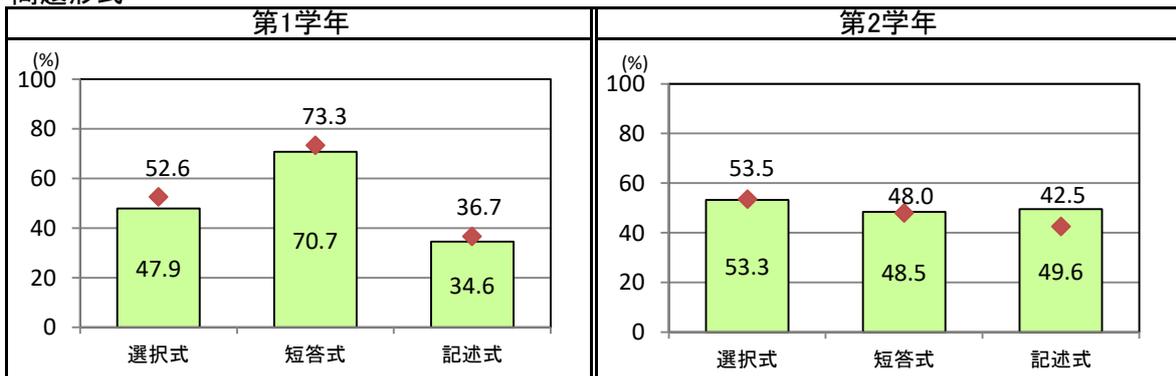
◆目標値



#### 評価の観点



#### 問題形式



令和7年度高知県学力定着状況調査  
設問別調査結果[中学校社会1年]

通し番号	大問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関連				評価の観点			問題形式		高知県		目標値(%)	目標値との差
					地理	歴史	知・技	思・判・表	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)				
1	1	(1)	①世界の姿	大陸の分布について理解している。	○		○			○			80.5	1.0	80.0	0.5	
2	1	(2)	①世界の姿	海洋の分布についての理解をもとに、資料を読み取っている。	○		○		○				58.9	0.3	60.0	-1.1	
3	1	(3)	①世界の姿	赤道についての理解をもとに判断している。	○			○	○				53.9	0.2	60.0	-6.1	
4	1	(4)	①世界の姿	さまざまな世界地図の特徴について理解している。	○		○		○				54.2	0.3	55.0	-0.8	
5	2	(1)	②日本の姿	日本の端について理解している。	○		○		○				23.1	0.3	35.0	-11.9	
6	2	(2)	②日本の姿	北方領土について理解している。	○		○		○				62.5	0.3	70.0	-7.5	
7	2	(3)	②日本の姿	日本の排他的経済水域について理解している。	○		○		○				19.1	0.4	30.0	-10.9	
8	3	(1)	③世界各地の人々の生活と環境	世界のさまざまな気候についての理解をもとに判断している。	○			○	○				44.3	0.4	45.0	-0.7	
9	3	(2)	③世界各地の人々の生活と環境	寒い地域の住居の特色について、資料をもとに考察し、表現している。	○			○			○		53.4	10.0	50.0	3.4	
10	3	(3)	③世界各地の人々の生活と環境	標高が高い地域に住む人々の暮らしについて理解している。	○		○		○				45.6	0.5	55.0	-9.4	
11	3	(4)	③世界各地の人々の生活と環境	世界の主な宗教の分布について理解している。	○		○			○			57.9	1.7	60.0	-2.1	
12	4	(1)	④世界の諸地域	中国の人口政策について、資料を読み取っている。	○		○		○				72.7	0.5	80.0	-7.3	
13	4	(2)	④世界の諸地域	インドの農業の特色について、複数の資料を読み取っている。	○		○		○				26.7	0.5	40.0	-13.3	
14	4	(3)	④世界の諸地域	アジア州の産業についての理解をもとに判断している。	○			○	○				39.8	0.8	50.0	-10.2	
15	5	(1)	⑤古墳時代まで	旧石器時代の暮らしについて理解している。			○	○			○		78.0	3.4	75.0	3.0	
16	5	(2)	⑤古墳時代まで	世界の古代文明(エジプト文明)について理解している。			○	○		○			57.1	0.5	60.0	-2.9	
17	5	(3)	⑤古墳時代まで	縄文時代の暮らしについて理解している。			○	○			○		62.2	6.1	70.0	-7.8	
18	5	(4)	⑤古墳時代まで	年代の表し方について理解している。			○	○		○			56.8	0.5	50.0	6.8	
19	5	(4)	⑤古墳時代まで	弥生土器について理解している。			○	○		○			73.9	0.9	75.0	-1.1	
20	5	(4)	⑤古墳時代まで	邪馬台国について理解している。			○	○			○		76.7	7.2	80.0	-3.3	
21	5	(5)	⑤古墳時代まで	大和政権の勢力の広がりについて、資料をもとに判断している。			○		○	○			62.2	0.6	60.0	2.2	
22	6	(1)	⑥飛鳥時代～平安時代	聖徳太子の政治について理解している。			○	○		○			44.8	0.6	50.0	-5.2	
23	6	(2)	⑥飛鳥時代～平安時代	天皇や貴族による政治について、資料をもとに系図を読み取っている。			○	○		○			44.0	0.8	45.0	-1.0	
24	6	(3)	⑥飛鳥時代～平安時代	奈良時代の人々の負担についての理解をもとに資料を読み取り、判断している。			○		○	○			39.1	1.0	45.0	-5.9	
25	6	(4)	⑥飛鳥時代～平安時代	聖武天皇の政治について理解している。			○	○		○			43.3	1.5	50.0	-6.7	
26	6	(5)	⑥飛鳥時代～平安時代	仮名文字の成立について理解している。			○	○			○		69.0	5.9	75.0	-6.0	
27	6	(6)	⑥飛鳥時代～平安時代	藤原氏による摂関政治について、資料をもとに考察している。			○		○	○			37.8	1.0	45.0	-7.2	
28	7	(1)	④世界の諸地域	東南アジアの経済発展について、複数の資料をもとに考察し、表現している。	○			○			○		24.8	19.6	30.0	-5.2	
29	7	(2)	⑥飛鳥時代～平安時代	遣唐使の派遣について、複数の資料をもとに判断している。			○		○	○			45.4	1.8	45.0	0.4	
30	7	(3)	⑥飛鳥時代～平安時代	国際的な要素をもった文化について、資料をもとに考察し、表現している。			○		○		○		25.5	16.4	30.0	-4.5	

令和7年度高知県学力定着状況調査  
設問別調査結果[中学校社会2年]

通し 番号	大 問	小 問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関連				評価の観点			問題形式		高知県		目 標 値 (%)	目 標 値 との 差
					地 理	歴 史	知 ・ 技	思 ・ 判 ・ 表	選 択 式	短 答 式	記 述 式	正 答 率 (%)	無 解 答 率 (%)				
1	1	(1)	①日本の地域的特色と地域区分	日本の地形の特色について理解している。	○		○		○				45.9	0.1	45.0	0.9	
2	1	(2)	①日本の地域的特色と地域区分	日本の周囲を流れる海流について理解している。	○		○		○				56.3	0.1	60.0	-3.7	
3	1	(3)	①日本の地域的特色と地域区分	日本の人口の特色について、資料を読み取っている。	○		○		○				62.2	0.2	60.0	2.2	
4	1	(4)	①日本の地域的特色と地域区分	日本の人口の特色についての理解をもとに、人口ピラミッドを読み取っている。	○		○		○				60.1	0.2	60.0	0.1	
5	1	(5)	①日本の地域的特色と地域区分	日本の資源・エネルギーについて理解している。	○		○			○			66.7	5.7	55.0	11.7	
6	1	(6)	①日本の地域的特色と地域区分	日本の交通網の特色についての資料を読み取り、表現している。	○			○			○		62.8	10.1	55.0	7.8	
7	2	(1)	②日本の諸地域	九州地方や中国・四国地方の地形について理解している。	○		○		○				80.5	0.1	70.0	10.5	
8	2	(2)	②日本の諸地域	中国・四国地方の気候の特色についての理解をもとに判断している。	○			○	○				73.9	0.1	65.0	8.9	
9	2	(3)	②日本の諸地域	九州地方の地形の特色について理解している。	○		○			○			59.0	9.5	65.0	-6.0	
10	2	(4)	②日本の諸地域	大阪大都市圏の人口移動の特徴について、資料をもとに判断している。	○			○	○				62.9	0.2	65.0	-2.1	
11	2	(5)	②日本の諸地域	九州地方の環境保全の取り組みについて理解している。	○		○		○				68.5	0.1	70.0	-1.5	
12	2	(6)	②日本の諸地域	瀬戸内工業地域や阪神工業地帯の特色についての理解をもとに判断している。	○			○	○				32.8	0.2	35.0	-2.2	
13	2	(7)	②日本の諸地域	各地方の産業の特色についての理解をもとに判断している。	○			○	○				44.6	0.5	40.0	4.6	
14	3	(1)	③ヨーロッパ人との出会いと全国統一	ヨーロッパとイスラム世界との交流について理解している。		○	○		○				55.0	0.1	60.0	-5.0	
15	3	(2)	③ヨーロッパ人との出会いと全国統一	宗教改革について理解している。		○	○			○			33.2	21.5	35.0	-1.8	
16	3	(3)	③ヨーロッパ人との出会いと全国統一	新航路の開拓について理解している。		○	○		○				52.0	0.4	50.0	2.0	
17	3	(4)	③ヨーロッパ人との出会いと全国統一	ヨーロッパ人來航の影響について理解している。		○	○		○				36.4	0.4	35.0	1.4	
18	3	(5)	③ヨーロッパ人との出会いと全国統一	織田信長の統一事業について理解している。		○	○		○				49.1	0.7	55.0	-5.9	
19	3	(6)	③ヨーロッパ人との出会いと全国統一	豊臣秀吉による統一事業についての理解をもとに考察している。		○		○		○			40.9	17.2	40.0	0.9	
20	3	(7)	③ヨーロッパ人との出会いと全国統一	桃山文化について理解している。		○	○		○				31.9	0.5	40.0	-8.1	
21	4	(1) ①	④江戸時代	江戸幕府による大名統制についての資料を読み取っている。		○	○		○				73.5	0.8	75.0	-1.5	
22	4	(1) ②	④江戸時代	江戸時代の対外関係について理解している。		○	○		○				40.4	0.9	40.0	0.4	
23	4	(2)	④江戸時代	参勤交代についての理解をもとに、資料に着目して判断している。		○		○	○				70.1	1.0	70.0	0.1	
24	4	(3)	④江戸時代	元禄文化について理解している。		○	○		○				42.3	1.5	45.0	-2.7	
25	4	(4)	④江戸時代	蘭学について理解している。		○	○			○			42.6	15.6	45.0	-2.4	
26	4	(5)	④江戸時代	幕府の政治改革について理解している。		○	○		○				38.9	1.1	50.0	-11.1	
27	4	(6)	④江戸時代	江戸幕府による人々の支配について理解している。		○	○		○				50.3	1.2	50.0	0.3	
28	5	(1)	①日本の地域的特色と地域区分	日本の気候の特色について、複数の資料に着目し、考察している。	○			○	○				53.5	1.4	50.0	3.5	
29	5	(2)	①日本の地域的特色と地域区分	日本の交通網の特色について、複数の資料に着目し、考察している。	○			○	○				43.7	2.0	40.0	3.7	
30	5	(3)	④江戸時代	江戸時代の政治の変化について、資料をもとに考察し、表現している。		○		○			○		36.4	23.2	30.0	6.4	



## これまでの授業改善から見られる成果

学年	問題番号	問題の内容	出題のねらい	高知県正答率(%)
1	1(1)	世界の姿	大陸の分布について理解している。	80.5
2	1(6)	日本の地域的特色と地域区分	日本の交通網の特色についての資料を読み取り、表現している。	62.8

大陸や地形、土器の名称、人物名などの基本的な知識に関する正答率が高く、どちらの学年においても、**基礎的知識の定着が図られている**ことがうかがえる。また、2年生では、**資料から読み取った事実を表現することについて**、目標値を7ポイント以上上回る結果となり、**基本的な力が定着してきている**ことがうかがえる。これは、日々の授業において**課題追究の学習場面を設定し、表やグラフ等の資料から読み取ったことをもとに表現する学習活動を積み重ねてきたことが要因**であると考えられる。



## 課題・今後の学習改善に向けて

学年	問題番号	問題の内容	出題のねらい	高知県正答率(%)
1	4(2)	世界の諸地域	インドの農業の特色について、複数の資料を読み取っている。	26.7
2	4(5)	江戸時代	幕府の政治改革について理解している。	38.9

## (分析・考察)

1年生の大問4(2)は、インドを中心とする南アジアの年間降水量と農業地域を表した2つの地図資料を読み取り、会話文の空欄に当てはまる語句の組み合わせとして正しいものを選択する問題であった。正答率が低かった要因として、**地図資料から情報を読み取る基本的な技能や、複数の資料の情報を関連付ける技能が定着していない**ことが考えられる。

2年生の大問4(5)は、寛政の改革とききんの時期や百姓一揆等の発生件数を表した資料を参考にして、寛政の改革の内容について正しく説明したものを選択する問題であった。資料からは、天明のききんの後に寛政の改革が行われたことが読み取れるため、ききんの後どのような政策が必要かということ考察することで、正答を導き出せる問題である。このことから、**資料を関連付けながら読み取った事実をもとに、多面的・多角的に考察する力に課題がある**と考えられる。

## (学習改善のポイント)

社会科において、根拠に基づいた意見形成や議論を行うためには、その基盤となる「資料から情報を読み取る技能」の習得が不可欠である。学習内容や教育効果を踏まえて、**各分野や単元で計画的な指導を積み重ねる**ことで、その技能の確実な定着を図りたい。

また、社会科は他者と関わり合い、よりよい社会を築こうとする活動を扱う教科である。そのため、社会的事象を理解したり考察したりする際には、**それに関わる人々や集団等の立場に着目し、「なぜその決断や行動が必要だったのか」という背景を生徒に考えさせることが重要**である。特に**生徒にとって抽象的な制度や法律等は、多様な立場からその意義を捉えさせる工夫**が必要である。こうした視点での学習を繰り返すことで、社会的事象を多面的・多角的に捉えて理解したり、複数の事象を関連付けて考察したりする力の育成が求められる。



### 社会科では

資料から読み取った情報や学習する中で出てきた出来事等を、**いろいろな立場の人々や集団等の視点で捉え**、物事の関係や背景、影響等についての理解を深めることで、社会を読み解く力を身に付けることを目指しています。

### 複数の情報を関連付けて読み取る

北アメリカの降水量の凡例を見ると**南東部は1000～2000mm**だね。



降水量は**西経100度の東西ではっきりと違う**から、農業地域も**東西で違いが大きい**ね。

**ニューヨークや五大湖周辺**で行われている農業は**酪農**だね。

農業地域を見ると**南東部には綿花が分布**しているね。



その**近くでは牛の飼料となる穀物の栽培**も行われているし**大都市にも近い**から、**牛乳の生産に適している**ことが分かるね。



### 情報を読み取る手がかり

- ・「タイトルや凡例から何が分かるかな。」
- ・「どのように分布しているかな。」
- ・「どのように変化しているかな。」
- ・「比べてみて分かることは何かかな。」
- ・「学習したことは使えないかな。」
- ・「読み取った内容は妥当かな。」

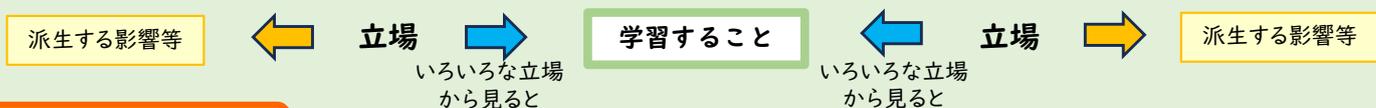
### いろいろな立場とは

※以下に示したものは一例です。

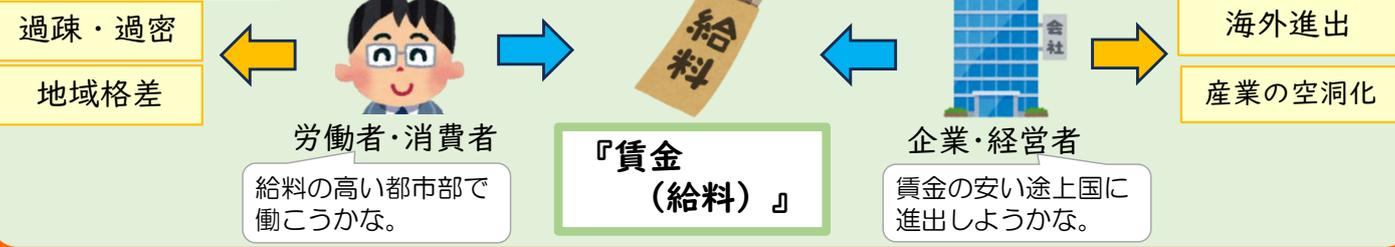
- ・国（日本、外国、政府、国民）
- ・経済（途上国、先進国、企業、消費者、労働者）
- ・立地（都市圏、地方、沿岸、山地、離島）
- ・統治者（朝廷、幕府、藩、武士、政府）
- ・民衆（農民、商人、被差別身分、庶民）
- ・年齢（子ども、労働力世代・高齢者）

### 『社会科で学習すること』をいろいろな立場で見ると

☆立場が変わると、そこから派生する影響や関連することも変わってきます。



### 地理・公民的分野



### 歴史的分野



### 多面的・多角的に考察したことを話し合う

江戸時代初期、幕府は、**各藩**が結束して反乱を起こさないように、**大名統制**を厳しくしていたよね。



参勤交代をすると、**各藩**が反乱を起こせなくなるのはなぜ。

大人数で旅をするから、**江戸から遠い藩ほどお金**がかかるね。

**外様大名**は負担が大きいね。でもその分、**宿場町**はもうかるね。



### 多面的・多角的に考える手がかり

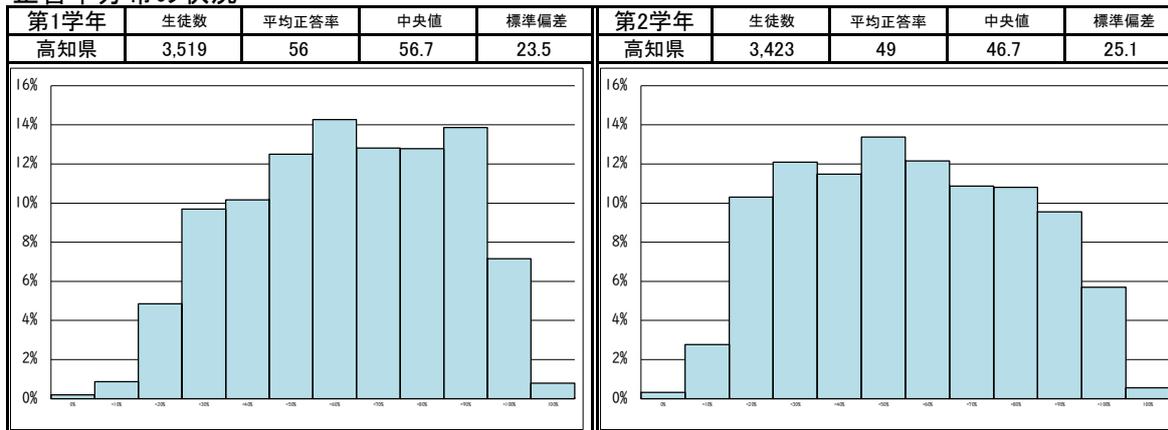
- ・「どのような人が関わっているだろう」
- ・「どのように思っただろう」
- ・「この後どう行動するだろう」
- ・「どのような影響がでるだろう」
- ・「他の立場とはどのような関係だろう」

# 中学校 数学

## (6) 中学校数学

【分類・区分別の状況】

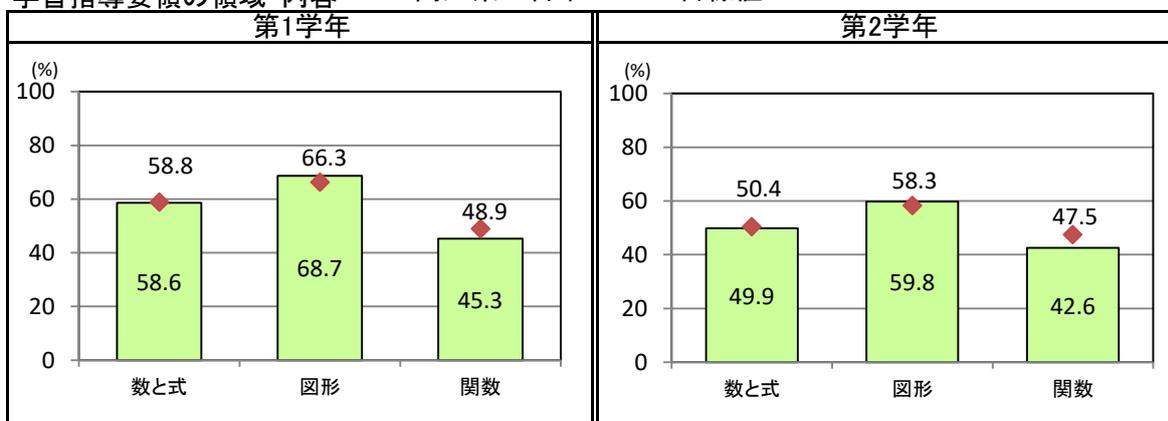
### 正答率分布の状況



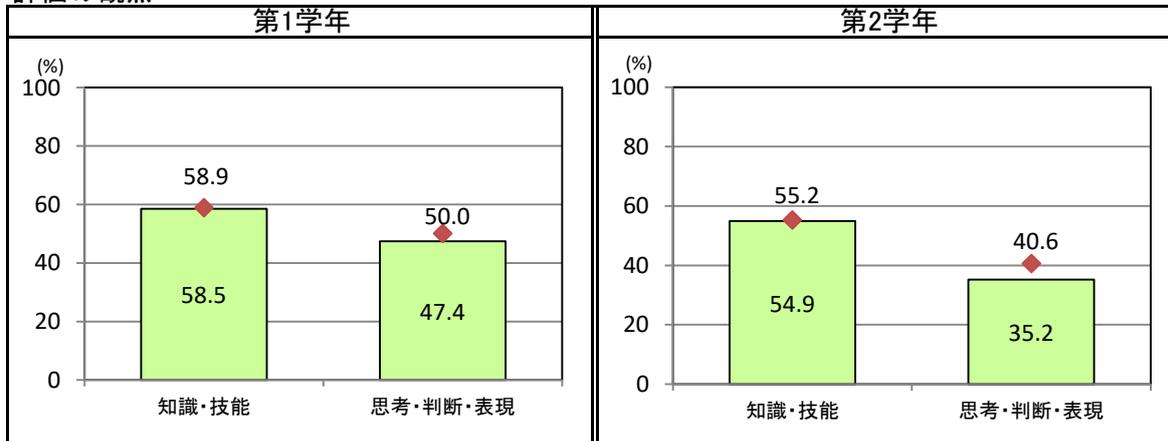
### 学習指導要領の領域・内容

■高知県正答率

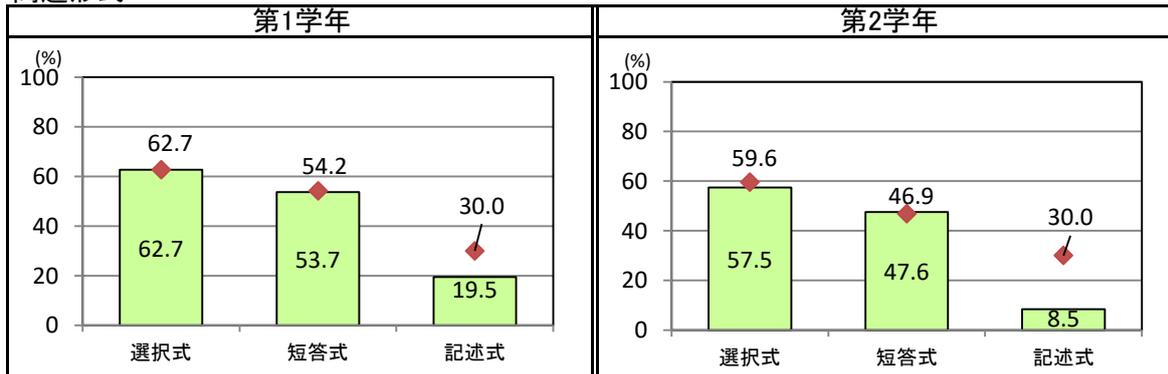
◆目標値



### 評価の観点



### 問題形式



令和7年度高知県学力定着状況調査  
設問別調査結果[中学校数学1年]

通し 番号	大問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関連			評価の観点			問題形式			高知県		目標値 (%)	目標値との 差
					数と式	図形	関数	知・技	思・判・表	選択式	短答式	記述式	正答率 (%)	無解答率 (%)			
1	1	(1)	①正の数・負の数	負の数の大小関係について理解している。	○			○		○				51.4	0.1	50.0	1.4
2	1	(2)	①正の数・負の数	絶対値について理解している。	○			○		○				89.0	0.1	85.0	4.0
3	2		①正の数・負の数	基準をもとに、正負の数を使って利用者数の差を求める式を選ぶことができる。	○				○	○				46.5	0.3	50.0	-3.5
4	3		①正の数・負の数	素因数分解について理解している。	○			○			○			66.8	6.1	55.0	11.8
5	4	(1)	①正の数・負の数	正負の数の減法ができる。	○			○			○			72.3	2.3	70.0	2.3
6	4	(2)	①正の数・負の数	正負の数の除法ができる。	○			○			○			86.9	2.7	80.0	6.9
7	4	(3)	①正の数・負の数	累乗を含む正負の数の乗法ができる。	○			○			○			65.1	3.0	65.0	0.1
8	4	(4)	②文字式	1次式の加法ができる。	○			○			○			45.8	6.6	50.0	-4.2
9	5	(1)	②文字式	文字式の表し方を理解している。	○			○		○				46.6	0.3	50.0	-3.4
10	5	(2)	②文字式	数量の関係を不等式で表すことができる。	○			○		○				63.6	0.3	65.0	-1.4
11	6		③1次方程式	1次方程式の等式の性質について理解している。	○			○		○				68.7	0.5	75.0	-6.3
12	7	(1)	③1次方程式	簡単な1次方程式を解くことができる。	○			○			○			64.4	6.7	70.0	-5.6
13	7	(2)	③1次方程式	分数を含む1次方程式を解くことができる。	○			○			○			34.1	13.6	35.0	-0.9
14	8		③1次方程式	比例式を解くことができる。	○			○			○			33.8	11.7	35.0	-1.2
15	9		③1次方程式	具体的な事象における数量の関係をとりえ、その関係を比例式で表すことができる。	○				○	○				59.4	0.4	65.0	-5.6
16	10		④比例・反比例	座標平面上の点の座標について理解している。			○	○		○				79.5	0.4	75.0	4.5
17	11	(1)	④比例・反比例	反比例の表から、yをxの式で表すことができる。			○	○		○				67.0	0.5	60.0	7.0
18	11	(2)	④比例・反比例	比例の関係にある1組のxとyの値から、yをxの式で表すことができる。			○	○		○				34.4	0.4	40.0	-5.6
19	11	(3)	④比例・反比例	反比例の関係にある1組のxとyの値から、別のxの値に対応したyの値を求めることができる。			○	○		○				47.6	1.1	50.0	-2.4
20	11	(4)	④比例・反比例	比例の式から、そのグラフをかくことができる。			○	○			○			44.0	7.1	50.0	-6.0
21	12		④比例・反比例	具体的な事象とグラフを関連付けて読み取り、進む速さが2番目に速い子どもを表したグラフを選ぶことができる。			○		○	○				75.9	0.6	65.0	10.9
22	13		④比例・反比例	具体的な事象の数量関係が反比例であることをもとに、歯車の回転数を求めることができる。			○		○		○			33.2	3.5	40.0	-6.8
23	14	(1)	⑤平面図形	垂直な2直線の関係を表す記号について理解している。		○		○		○				74.5	0.7	75.0	-0.5
24	14	(2)	⑤平面図形	平行移動だけで重ね合わせることができる三角形を選ぶことができる。		○		○		○				72.9	1.0	75.0	-2.1
25	14	(3)	⑤平面図形	三角形を回転移動させた角度について理解している。		○		○		○				63.6	1.2	60.0	3.6
26	15		⑤平面図形	三角形を対称移動させたときの図形をかくことができる。		○		○			○			63.8	5.6	55.0	8.8
27	16	(1)	②文字式	与えられた情報から必要な情報を適切に読み取り、処理することができる。	○				○		○			77.9	4.8	70.0	7.9
28	16	(2)	③1次方程式	事柄を適切に判断し、その事柄が成り立たない理由を数学的な表現を用いて説明することができる。	○				○			○		23.4	6.6	30.0	-6.6
29	17	(1)	④比例・反比例	事象における数量の関係が比例であることを判断し、それをもとに数量の関係を考察することができる。			○	○			○			10.6	12.4	30.0	-19.4
30	17	(2)	④比例・反比例	事象を数学的に解釈し、1枚の重さの違いによる合計の枚数の差を求める方法を数学的に説明することができる。			○		○			○		15.6	31.6	30.0	-14.4

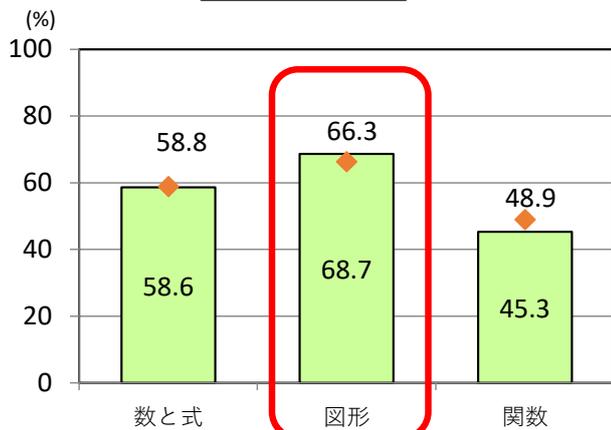
令和7年度高知県学力定着状況調査  
設問別調査結果[中学校数学2年]

通し 番号	大 問	小 問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関連			評価の観点			問題形式			高知県		目 標 値 (%)	目 標 値 との 差
					数 と 式	図 形	関 数	知 ・ 技	思 ・ 判 ・ 表	選 択 式	短 答 式	記 述 式	正 答 率 (%)	無 解 答 率 (%)			
1	1	(1)	①式の計算	2つの文字を含む式について、式を簡単にしてから数を代入して式の値を求めることができる。	○			○		○				74.7	0.1	70.0	4.7
2	1	(2)	①式の計算	等式を変形して、式のある文字について解くことができる。	○			○		○				58.4	0.4	60.0	-1.6
3	2	(1)	①式の計算	多項式の同類項をまとめる計算ができる。	○			○			○			69.9	3.2	65.0	4.9
4	2	(2)	①式の計算	単項式の乗法と除法ができる。	○			○			○			55.2	7.5	55.0	0.2
5	2	(3)	①式の計算	分数を含む多項式の計算ができる。	○			○			○			55.7	9.1	45.0	10.7
6	3	(1)	②連立方程式	加減法の原理を理解し、それを使って連立方程式を解くことができる。	○			○			○			66.9	6.6	65.0	1.9
7	3	(2)	②連立方程式	代入法の原理を理解し、それを使って連立方程式を解くことができる。	○			○			○			51.5	15.3	55.0	-3.5
8	3	(3)	②連立方程式	$A=B=C$ の形の方程式を解くことができる。	○			○			○			46.0	15.6	50.0	-4.0
9	4		②連立方程式	与えられた文章問題に対して、適切な連立方程式を立式することができる。	○				○			○		35.6	21.9	30.0	5.6
10	5		②連立方程式	連立方程式を利用して、文章問題を解くことができる。	○				○			○		36.0	20.9	40.0	-4.0
11	6	(1)	③1次関数	1次関数の関係を表す表から、傾きや切片の値の正負を判断し、正しいグラフを選ぶことができる。			○	○			○			67.2	0.4	65.0	2.2
12	6	(2)	③1次関数	示された1次関数の変化の割合から、 $x$ の値に対応する $y$ の値を求めることができる。			○	○				○		20.4	6.0	30.0	-9.6
13	7		③1次関数	1次関数の式から、グラフをかくことができる。			○	○				○		57.4	4.3	60.0	-2.6
14	8	(1)	③1次関数	1次関数の式について、 $x$ の増加量から $y$ の増加量を求めることができる。			○	○				○		56.8	0.6	60.0	-3.2
15	8	(2)	③1次関数	2点の座標から、1次関数の式を求めることができる。			○	○				○		51.3	1.2	55.0	-3.7
16	8	(3)	③1次関数	ある直線に平行であること、1点の座標から1次関数の式を求めることができる。			○	○				○		52.6	1.1	55.0	-2.4
17	9	(1)	③1次関数	$x$ 軸に平行な直線の式を選ぶことができる。			○	○				○		38.4	0.9	45.0	-6.6
18	9	(2)	③1次関数	2つの1次関数のグラフの交点の座標を求めることができる。			○	○				○		34.3	19.6	40.0	-5.7
19	10		③1次関数	水そうに水を入れる時間と水の深さとの関係をグラフに表し、2つの水そうの水の深さが同じになる時間を求めることができる。			○	○	○					51.8	0.9	55.0	-3.2
20	11		③1次関数	ある1次関数のグラフと $x$ 軸、 $y$ 軸との交点からできる三角形について、面積を求めることができる。			○	○	○			○		29.2	23.5	35.0	-5.8
21	12		④図形の性質	図から同位角や錯角について正しく説明しているものを選ぶことができる。		○		○			○			63.9	1.3	65.0	-1.1
22	13	(1)	④図形の性質	平行線と同位角、錯角の関係や三角形の内角、外角の性質について理解し、角の大きさを求めることができる。		○		○				○		64.2	5.7	55.0	9.2
23	13	(2)	④図形の性質	多角形の外角の和について理解し、角の大きさを求めることができる。		○		○				○		56.1	6.8	45.0	11.1
24	14		⑤証明	証明の必要性和意味を理解し、正しい説明を選ぶことができる。		○		○	○					62.8	1.3	65.0	-2.2
25	15	(1)	⑤証明	仮定の指す内容について理解している。		○		○		○				47.5	1.9	50.0	-2.5
26	15	(2)	⑤証明	三角形の合同条件について理解している。		○		○		○				64.6	2.2	70.0	-5.4
27	16	(1)	①式の計算	与えられた問題を理解し、「3けたの数から、各位の数の和をひいた差」を求めることができる。	○				○			○		38.9	22.2	40.0	-1.1
28	16	(2)	①式の計算	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる。	○				○			○		10.3	41.5	30.0	-19.7
29	17	(1)	③1次関数	かかる費用の求め方を理解し、必要な長さのリボンを購入するときの費用を求めることができる。			○	○				○		45.1	23.1	40.0	5.1
30	17	(2)	③1次関数	「手芸用品店Aがもっとも安くなる」ときの「ある長さ」を、グラフから読み取る方法について説明することができる。			○	○				○		6.8	47.2	30.0	-23.2

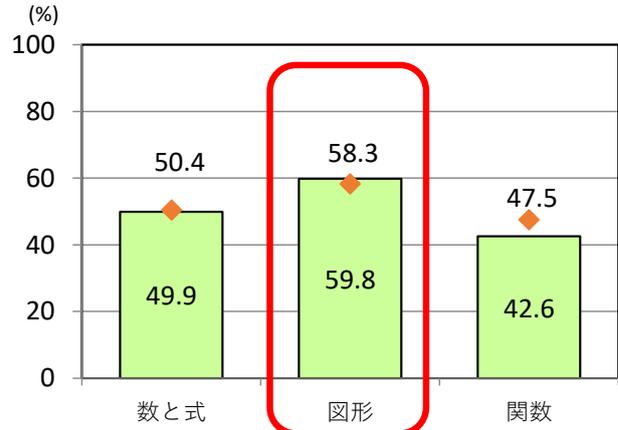


これまでの授業改善から見られる成果

第1学年



第2学年



昨年度、学力調査で課題であった図形領域について、1年生、2年生ともに目標値を上回る結果となった。これは、図形領域における課題改善に向けて、**多角形の外角の意味を理解したり、平行線と同位角、錯角の関係や三角形の内角や外角の性質について理解したりできるように学習活動を展開してきた成果**だと考えられる。また、図形領域の定着に向けて、生徒一人一人が理解できているか、**学習状況を把握しながら見取り、学び直しやフィードバックを行ったことも要因**と考えられる。



課題・今後の学習改善に向けて

いずれの学年も、「関数」の問題解決の方法を説明することに課題が見られる。

学年	問題形式	問題番号	問題の内容	出題のねらい	高知県正答率 (%)	無解答率 (%)
1	短答	17(1)	比例・反比例	事象における数量の関係が比例であることを判断し、それをもとに数量の関係を考察することができる。	10.6	12.4
1	記述	17(2)		事象を数学的に解釈し、1枚の重さの違いによる合計の枚数の差を求める方法を数学的に説明することができる。	15.6	31.6
2	記述	17(2)	1次関数	「手芸用品店Aがもっとも安くなる」ときの「ある長さ」を、グラフから読み取る方法について説明することができる。	6.8	47.2

(分析・考察)

1年生大問17(2)、2年生大問17(2)のいずれも、**問題解決の方法を説明する記述式問題**に課題が見られた。1年生は、大問17(1)、比例の関係をもとに数量の関係を考察する問題にも課題が見られる。このことから、**伴って変わる数量を比例とみなして、問題解決することや、解決したことを振り返ってその方法を説明する活動が不十分**であると考えられる。

また、記述については無解答も多いことから、両問題ともに、グラフの特徴（変化の様子や交点など）を捉えることができず、それを根拠として説明することができなかったと考えられる。

(学習改善のポイント)

関数の考えを使って、問題解決するために、表、式、グラフなどを用いて、それらをどのように用いたかについて数学的に説明する活動を充実することが大切である。**問題解決後にどんな方法で解決したのか振り返り、記述する活動**を取り入れたい。その際、生徒が**自分の記述と他者の正しい記述とを比べて、数学的な表現になるよう見直す**などして、より洗練された表現に高めていく必要がある。



**数学科では**

答えを求めるだけではなく、**問題解決したことを振り返って、その方法を説明する活動**を大切にしています。

関数の知識・技能を活用し、グラフや式を用いて数学的に説明することは、未知の予測やよりよい判断を導きだすことにもつながります！



スマホの契約プランを見直そう

どちらが自分に合っているかな？

プランAは基本料金が1000円で、データ使用量が1GBごとに500円かかる。プランBは、月5000円で使い放題。自分に合ったプランはどちらかな？

グラフは数量の関係を  
見える化する便利なツール

**1. グラフを用いて考える**



データ使用量が少ない場合はプランAがいいけど、僕はたくさん使いそうだからプランBの方がよさそうだな。



プランAの方がプランBより費用が高くなるのは、どれくらいデータを使ったときかな？



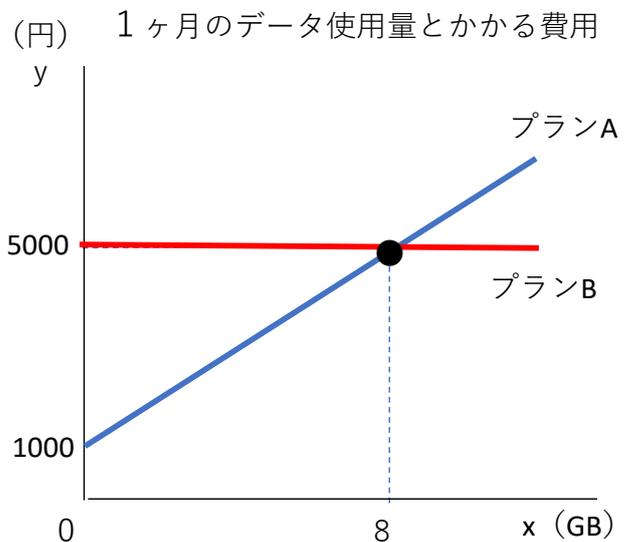
グラフからは、8GBより多く使うとプランAの方が高くなることが分かるよ。



8GBよりデータ使用量が少ない人はプランA、多い人はプランBを選ぶといいね。



8GBってどうやって、求めたの？



**2. 求めた方法を説明する**



プランAの方がプランBより費用が高くなる時の、データ使用量を8GBと求めた方法を説明してみましょう。

【最初の表現】



グラフの交点を見たら分かる



2つのグラフの交点がかかる費用が同じことを表しているよ。xとyのどちらを見ればいいのか？



ここまでの表現を基に自分の表現を見直してみましょう。



x座標を見ればよい



x座標はデータ使用量を表しているからx座標に着目するのは分かるけど、グラフのどの部分を見ればいいのか？

【見直した後の表現】

プランAとプランBの関係をグラフに表し、その交点のx座標を読み取り、データ使用量を求める



求める方法を説明するには、どのグラフを用いたのか、またx座標やy座標といった数学术語を使って表現すると、どこを見ているのかが伝わります。自分の表現に付け加えておきましょう。

日常の問題を解決する関数のよさ

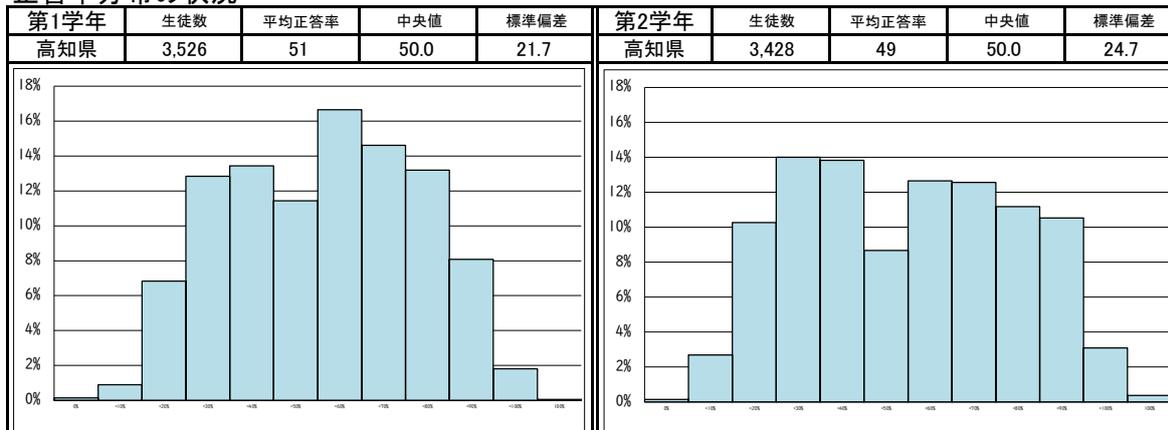
日常の問題を関数として捉え、グラフに表し、解決方法を振り返ることは、グラフの便利さや活用することのよさを実感させることにもつながります。

# 中学校 理科

## (7) 中学校理科

### 【分類・区別の状況】

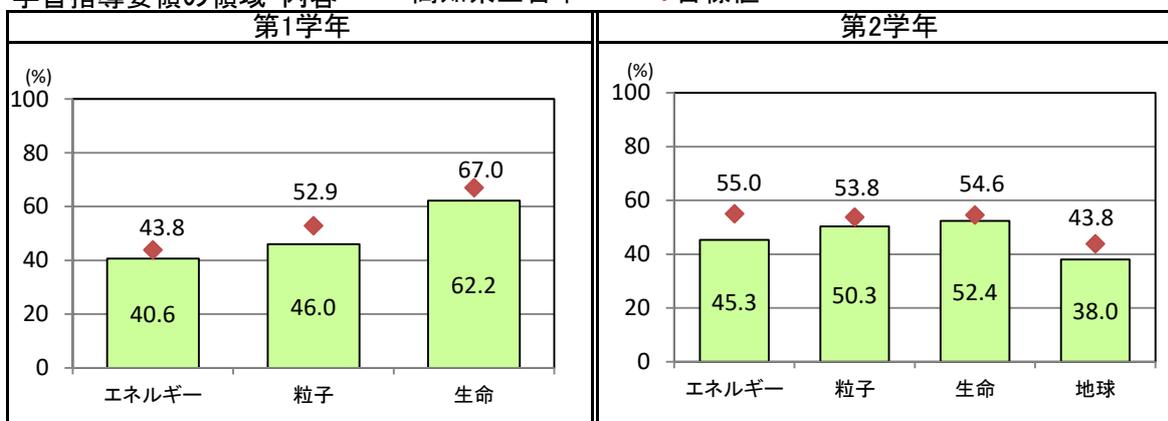
#### 正答率分布の状況



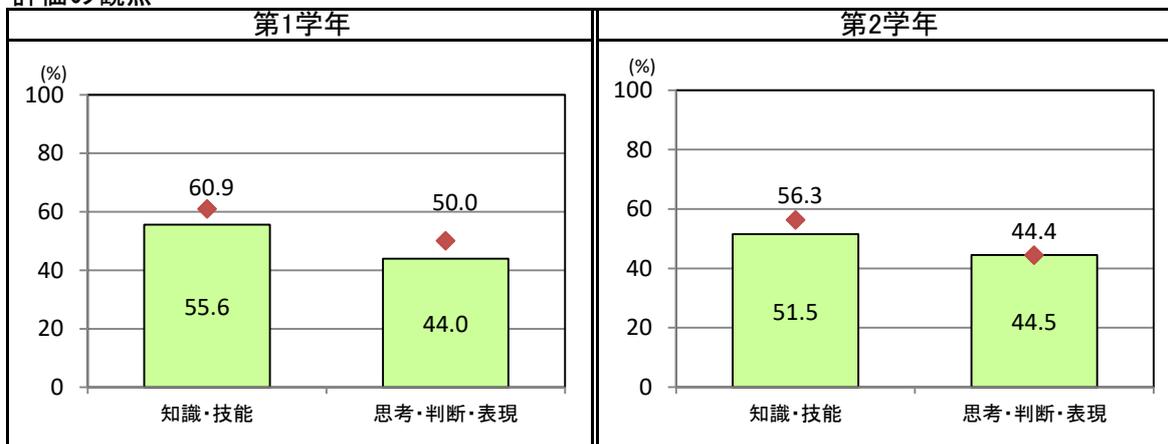
#### 学習指導要領の領域・内容

■高知県正答率

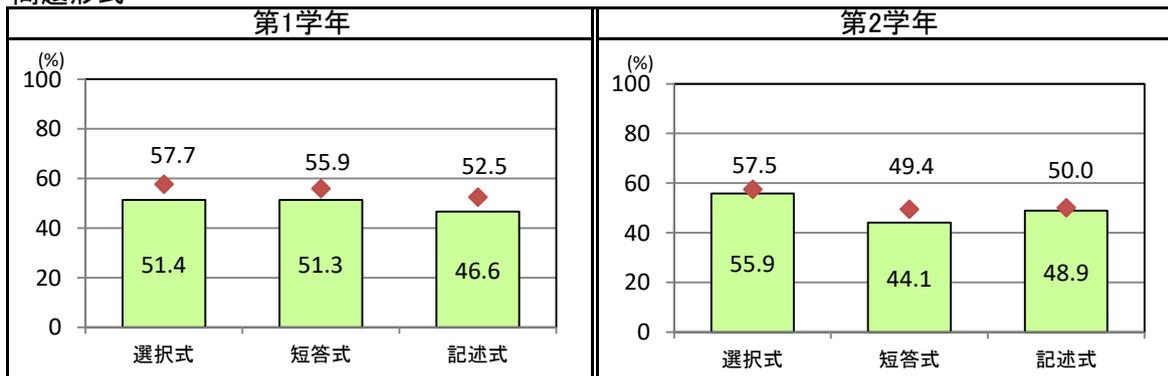
◆目標値



#### 評価の観点



#### 問題形式



令和7年度高知県学力定着状況調査  
設問別調査結果[中学校理科1年]

通し 番号	大問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関連			評価の観点			問題形式			高知県		目標値 (%)	目標値との 差
					エネルギー	粒子	生命	知・技	思・判・表	選択式	短答式	記述式	正答率 (%)	無解答率 (%)			
1	1	(1)	①植物の分類	ルーベの使い方を理解している。			○	○		○				55.5	0.1	65.0	-9.5
2	1	(2)	①植物の分類	スケッチの留意点について理解している。			○	○		○				85.0	0.1	85.0	0.0
3	1	(3)	①植物の分類	ゼニゴケの特徴について理解している。			○	○		○				57.3	0.2	65.0	-7.7
4	2	(1)	①植物の分類	雑草について理解している。			○	○			○			62.5	7.1	80.0	-17.5
5	2	(2)	①植物の分類	被子植物の特徴について説明できる。			○		○			○		53.2	13.4	60.0	-6.8
6	2	(3)	①植物の分類	被子植物と裸子植物の違いを理解し、適切な植物を指摘できる。			○		○	○				56.3	0.2	60.0	-3.7
7	3	(1)	②動物の分類	無脊椎動物について理解している。			○	○			○			54.6	3.4	55.0	-0.4
8	3	(2)	②動物の分類	胎生と卵生を行う動物について理解している。			○	○			○			50.3	8.3	55.0	-4.7
9	3	(3)	②動物の分類	両生類の呼吸のしかたの変化について理解している。			○	○			○			85.0	2.7	80.0	5.0
10	3	(4)	②動物の分類	調べた特徴をもとに、ジュゴンの分類を推測できる。			○		○		○			62.5	2.4	65.0	-2.5
11	4	(1)	④気体の性質	上置換法について理解している。		○		○		○				45.6	0.3	60.0	-14.4
12	4	(2)	④気体の性質	アンモニアが集まったことを確認する方法について理解している。		○		○		○				46.5	0.7	50.0	-3.5
13	4	(3)	④気体の性質	アンモニアの性質について説明できる。		○		○			○			40.0	14.9	45.0	-5.0
14	5	(1)	⑤水溶液の性質	ろ過のしくみについて理解している。		○		○		○				65.8	0.5	75.0	-9.2
15	5	(2)	⑤水溶液の性質	再結晶でとり出される結晶の質量の違いを正しく比較できる。		○		○		○				19.9	3.8	30.0	-10.1
16	5	(3)	⑤水溶液の性質	結晶の形から物質を指摘できる。		○		○		○				52.6	0.9	60.0	-7.4
17	5	(4)	⑤水溶液の性質	温度変化と水溶液の濃度の関係性について推測できる。		○		○	○					36.4	1.0	40.0	-3.6
18	6	(1)	⑥物質の状態変化	蒸留について理解している。		○		○			○			48.6	11.5	50.0	-1.4
19	6	(2)	⑥物質の状態変化	実験の結果からわかることを指摘できる。		○		○	○					42.4	1.1	50.0	-7.6
20	6	(3)	⑥物質の状態変化	混合物を加熱したときの温度変化のようすを理解している。		○		○		○				39.9	0.8	45.0	-5.1
21	6	(4)	⑥物質の状態変化	身のまわりの蒸留の利用例について指摘できる。		○		○	○					46.6	1.1	50.0	-3.4
22	7	(1)	⑦光の性質	入射角と反射角、屈折角の関係について理解している。	○			○			○			32.2	3.3	40.0	-7.8
23	7	(2)	⑦光の性質	直方体のガラスに入射した光が、外に出ていくときの光の道筋を作図できる。	○			○			○			30.4	13.2	40.0	-9.6
24	7	(3)	⑦光の性質	全反射について理解している。	○			○			○			64.1	10.2	55.0	9.1
25	7	(4)	⑦光の性質	身のまわりの反射による現象を指摘できる。	○			○	○					35.9	1.2	40.0	-4.1
26	8	(1)	③身のまわりの物質とその性質	メスリンダーの読み方を理解している。		○		○		○				69.9	1.1	75.0	-5.1
27	8	(2)	③身のまわりの物質とその性質	実験の結果のデータから、同体積における質量の違いを考察できる。		○		○		○				54.7	5.6	65.0	-10.3
28	8	(3)	③身のまわりの物質とその性質	エタノールを加えたとき、それぞれの物質の浮き沈みを考察できる。		○		○	○					35.7	1.2	45.0	-9.3

令和7年度高知県学力定着状況調査  
設問別調査結果[中学校理科2年]

通し 番号	大 問	小 問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関連				評価の観点		問題形式			高知県		目 標 値 (%)	目 標 値 との 差
					エ ネ ル ギ ー	粒 子	生 命	地 球	知 ・ 技	思 ・ 判 ・ 表	選 択 式	短 答 式	記 述 式	正 答 率 (%)	無 解 答 率 (%)		
1	1	(1)	①物質の成り立ち	水に電流を流すために、加える物質を理解している。		○			○		○			82.4	0.1	80.0	2.4
2	1	(2)	①物質の成り立ち	水の電気分解で発生する気体の性質を理解している。		○			○			○		34.9	2.1	50.0	-15.1
3	1	(3)	①物質の成り立ち	化学変化のうち、分解について理解している。		○			○		○			70.0	0.4	70.0	0.0
4	2	(1)	②化学変化	酸化銅の還元によってとり出された物質が金属であるかを調べる方法を指摘できる。		○			○		○			44.1	0.1	55.0	-10.9
5	2	(2)	②化学変化	還元について理解している。		○			○			○		48.4	12.2	50.0	-1.6
6	2	(3)	②化学変化	実験結果から、酸素との結びつきやすさの違いを分析できる。		○				○		○		31.7	4.3	30.0	1.7
7	3	(1)	②化学変化	発熱反応について理解している。		○			○			○		52.5	12.4	55.0	-2.5
8	3	(2)	②化学変化	化学変化のうち、発熱反応の例を指摘できる。		○			○			○		26.6	3.4	40.0	-13.4
9	3	(3)	②化学変化	加熱式弁当を、湿度の高い場所で保管してはいけない理由について、分析できる。		○				○	○			41.0	0.3	40.0	1.0
10	4	(1)	③化学変化と物質の質量	質量保存の法則について理解している。		○			○			○		69.4	7.8	70.0	-0.6
11	4	(2)	③化学変化と物質の質量	質量保存の法則が成り立つ理由を指摘できる。		○			○		○			54.0	0.4	55.0	-1.0
12	4	(3)	③化学変化と物質の質量	質量保存の法則が成り立たない原因を説明できる。		○				○		○		48.2	8.9	50.0	-1.8
13	5	(1)	④生物と細胞	多細胞生物について理解している。			○		○			○		82.4	5.0	80.0	2.4
14	5	(2)	④生物と細胞	細胞が集まったつくりの名称を理解している。			○		○			○		67.1	0.2	75.0	-7.9
15	5	(3)	④生物と細胞	細胞呼吸について理解している。			○		○			○		42.3	15.9	50.0	-7.7
16	6	(1)	⑤植物のからだのつくりとはたらき	光合成が起こった部分には、デンプンがつけられることを理解している。			○		○			○		55.8	2.5	60.0	-4.2
17	6	(2)	⑤植物のからだのつくりとはたらき	対照実験の結果を、分析できる。			○			○	○			55.2	0.6	50.0	5.2
18	7	(1)	⑤植物のからだのつくりとはたらき	吸収した水が道管を通ることを理解している。			○		○			○		34.5	3.7	45.0	-10.5
19	7	(2)	⑤植物のからだのつくりとはたらき	茎の断面のようすから単子葉類と双子葉類の分類ができることを推察できる。			○			○	○			47.7	0.6	50.0	-2.3
20	8	(1)	⑥動物のからだのつくりとはたらき	実験のデータから、反応が起こるまでの時間を求めることができる。			○			○		○		41.6	9.4	40.0	1.6
21	8	(2)	⑥動物のからだのつくりとはたらき	感覚器官と中枢神経について理解している。			○		○			○		69.8	0.5	65.0	4.8
22	9	(1)	⑥動物のからだのつくりとはたらき	おにぎりの材料の成分がそれぞれどこで消化されるかを指摘できる。			○		○			○		45.7	0.6	50.0	-4.3
23	9	(2)	⑥動物のからだのつくりとはたらき	消化された養分が、柔毛のどこから吸収されるかを理解している。			○		○			○		37.4	7.3	40.0	-2.6
24	9	(3)	⑥動物のからだのつくりとはたらき	小腸に柔毛がたくさんある理由を説明できる。			○			○		○		49.6	20.1	50.0	-0.4
25	10	(1)	⑦気象の観測	観察の記録から、天気の様子を天気図記号で表すことができる。				○	○			○		35.1	6.5	40.0	-4.9
26	10	(2)	⑦気象の観測	乾湿計で気温と湿度をはかるときの場所の条件を理解している。				○	○			○		51.3	2.0	50.0	1.3
27	11	(1)	⑦気象の観測	スポンジが受ける圧力を求めることができる。				○	○			○		24.6	11.8	35.0	-10.4
28	11	(2)	⑦気象の観測	木片の大きさを変えたときに圧力がどのように変わるかを推察できる。				○		○	○			41.1	1.4	50.0	-8.9
29	12	(1)	⑧電流の性質	電気用図記号を用いて回路を表すことを身に付けている。	○				○			○		53.6	9.5	70.0	-16.4
30	12	(2)	⑧電流の性質	電流計の読み方を身に付けている。	○				○			○		72.6	2.2	75.0	-2.4
31	12	(3)	⑧電流の性質	グラフから、抵抗の大きさを指摘できる。	○				○			○		16.8	18.4	35.0	-18.2
32	12	(4)	⑧電流の性質	回路を組み直したときに流れる電流の大きさを指摘できる。	○					○	○			38.0	2.2	40.0	-2.0



## これまでの授業改善から見られる成果

学年	問題番号	問題の内容	出題のねらい	高知県正答率(%)
1	3(3)	動物の分類	両生類の呼吸のしかたの変化について理解している。	85.0
2	6(2)	植物のからだのつくりとはたらき	対照実験の結果を分析できる	55.2

1年生では、両生類の成長に伴う呼吸法の変化を問う問題において良好な結果が見られた。**身近な生物の観察等を通して特徴を見だし、根拠をもって分類する基礎的な力が定着しつつある。**

このことから、**観察や実験を通じて基本的概念の定着を図る指導が、学習内容の確実な習得につながっている**といえる。

2年生では、光合成が葉緑体で行われる根拠を実験結果から選ぶ問題において、目標値を5.2ポイント上回る成果が見られた。これは、「**結果のどこに着目すべきか**」を考え、**根拠を大切にしながら自分の言葉で考察を表現させる学習活動を大切にしている結果だ**といえる。

このように、**現象と根拠を結びつけて説明する学習活動を全学年で継続し、定着させていくことが、生徒のさらなる思考力向上につながると考える。**



## 課題・今後の学習改善に向けて

学年	問題番号	問題の内容	出題のねらい	高知県正答率(%)
1	5(2)	水溶液の性質	再結晶でとり出される結晶の質量の違いを正しく比較できる。	19.9
2	2(3)	化学変化	実験結果から、酸素との結びつきやすさの違いを分析できる。	31.7

(分析・考察)

1年生では、水溶液の温度を下げたときの溶解度（溶ける限界の量）の変化に着目し、再結晶でとり出される結晶の質量を比較・分析することに弱さが見られた。「実際に溶かした量」と「溶解度」を区別して捉えきれていないことがうかがえる。**考察の場面で、なぜこの結果になったのか、根拠を整理し、自分の言葉で説明することが十分でないことがうかがえる。**

(学習改善のポイント)

再結晶の実験では、**実験の結果と溶解度を表した表やグラフを結びつけて考えることが大切**である。例えば、「結晶が多く出てきた」という結果を「グラフの傾きが大きい物質だから」とグラフの数値に関連付けたり、「温度を下げることで、溶けきれなくなった分が結晶として現れる」という現象を、根拠となる数値を明確にして説明する活動などを取り入れる。

このように、**現象を数値などの根拠に基づいて説明する力**の育成が求められる。

(分析・考察)

2年生では、**実験結果から、目に見えない「原子同士の結びつきの強さ」について根拠をもって導き出すことに弱さ**が見られた。結果を比較し、「マグネシウム、銅、炭素」における酸素との結びつきの強弱を整理して捉えきれていないことがうかがえる。

(学習改善のポイント)

理科の学習では、**目に見える変化を、原子や分子という粒子の視点から捉え直すことが大切**である。

特に実験の前に、モデル図を用いて『もし反応が起きるなら、原子はどう動くか』と仮説を立てることは、探究の目的を明確にする上で大切である。『どの原子同士がより強く結びつくのか』という視点で**変化を予想し、それを実験結果と照らし合わせる過程**を通じて、単に結果を観察するだけでなく、**その裏にある科学的な仕組みやまわりを、モデルを用いて筋道を立てて説明できる力**を育むことが求められる。



理科では

目の前で起こっている現象に対し、「**なぜそうなったのか**」という**確かな根拠を見付ける**ことが大切です。実験前の予想と結果を照らし合わせ、目に見える変化とその裏にある仕組みをモデル図などを使って結びつけることで、納得感を伴った確かな理解へと変わります。

探究の過程

自然事象への働きかけ

課題の設定

予想・仮説の設定

観察・実験の計画

観察・実験

結果の整理

考察  
結論の導出

次の探究の過程

課題：酸化銅（CuO）から金属の銅（Cu）をとり出すことができるだろうか。

CuOからCuをとり出すには、CuとOを引き離せばいいんだよね。

鉄鉱石の精錬と同じ仕組みで考えられないかな。



同じように炭素（C）を混ぜて熱したら、OがCの方へ移ったりしないかな？

【実験結果】目に見える現象を整理する

黒い酸化銅と炭素を混ぜて加熱をしたら、赤茶色に変化したよ。



実験ではまず何が起こったのかを正しく観察し、事実を整理することが大切です。

葉さじでこするとピカピカ光ったから金属だね。赤茶色の物質は、銅だ！

石灰水が白くにごったから、二酸化炭素が出たんだね。

【考察】結果の裏にある根拠を見付ける

みんなが実験前に立てた『予想』と比べてどうだったかな？原子や分子のモデルを使って、実験結果を説明してみよう。



粒子の動きを図（モデル）にして見える化することで、根拠をもって「そうなる理由」を説明できるようになります。

実験前は『本当に炭素だけで酸素を奪えるのかな？』と思っていたけど、モデル図にすると、炭素がうばった酸素と結びついて二酸化炭素になり、あとに銅が残るといった仕組みが分かりました。



酸素は銅より炭素の方がくっつきやすいんだね。だから、酸化銅から酸素を引き離せたんだ。

実験で起きたこととモデル図での粒子の動きがピッタリと一致して、実際に何が起きているのか理解できたよ。

まとめ：酸化銅に炭素を混ぜて加熱をすると、炭素が酸化銅から酸素をうばい、金属の銅をとり出すことができる。



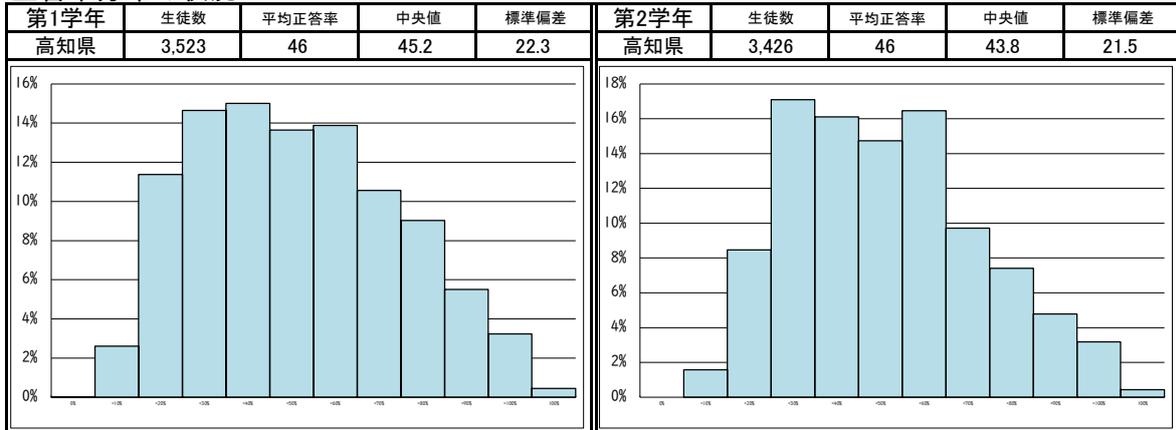
目に見える現象をモデル図による粒子の動きで捉え、『なぜそうなったのか』を根拠をもって説明する力を育みます。

# 中学校 外国語

## (8) 中学校外国語（英語）

【分類・区別の状況】

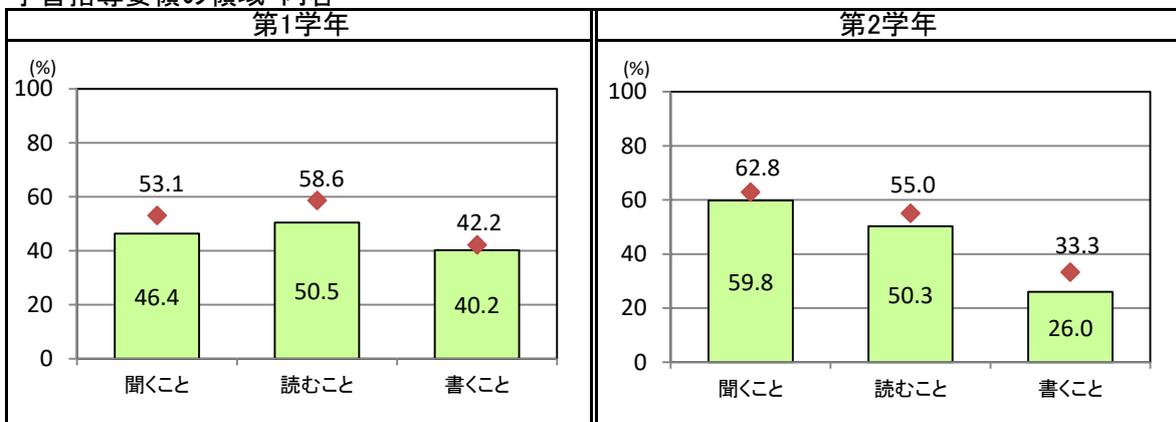
### 正答率分布の状況



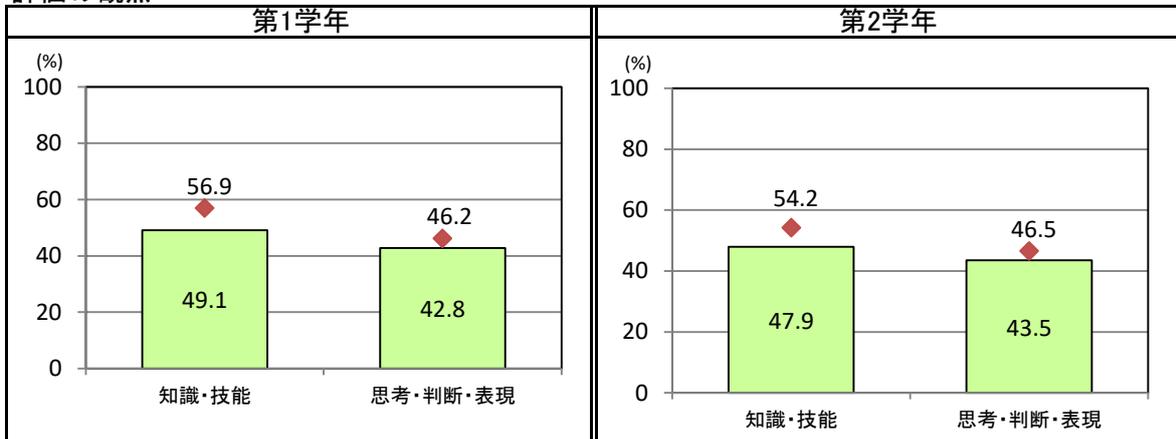
学習指導要領の領域・内容

■高知県正答率

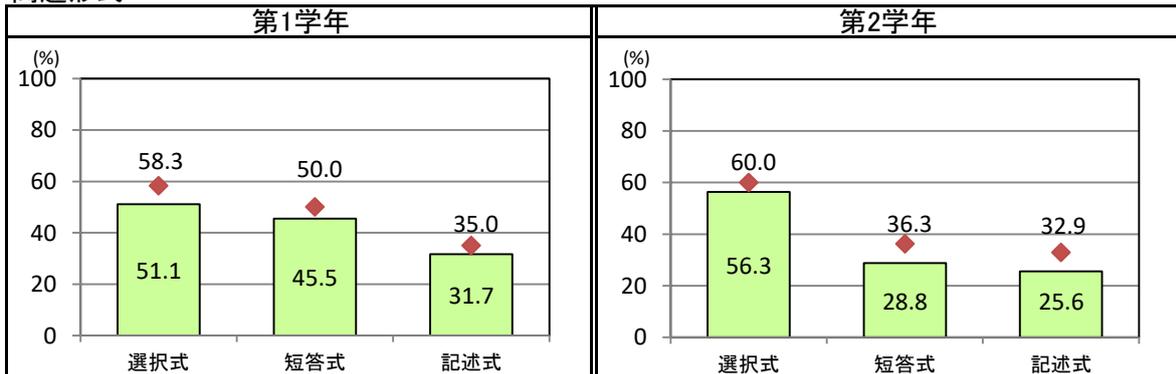
◆目標値



### 評価の観点



### 問題形式



令和7年度高知県学力定着状況調査  
設問別調査結果[中学校外国語(英語)1年]

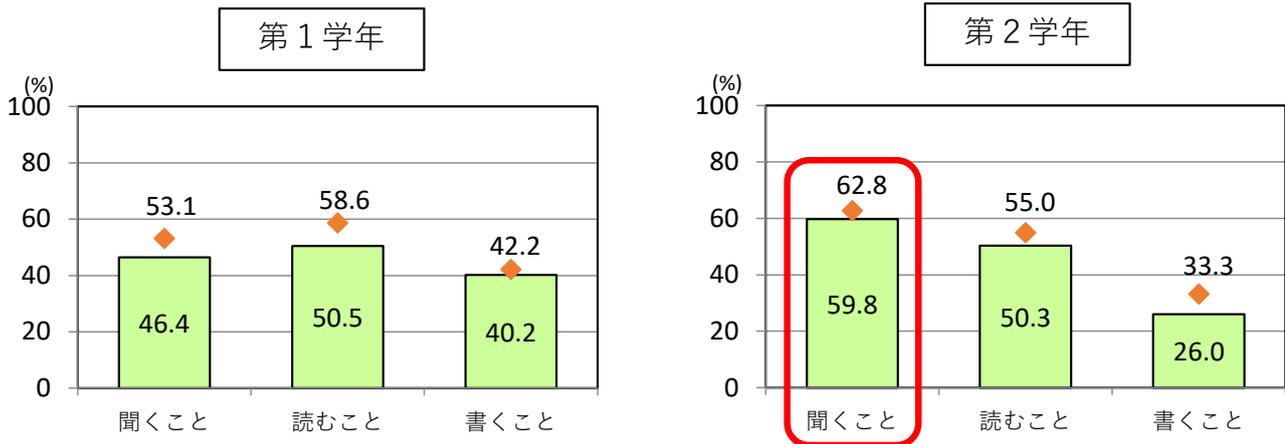
通し 番号	大問	小問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関連			評価の観点			問題形式			高知県		目標値 (%)	目標値との 差
					聞くこと	読むこと	書くこと	知・技	思・判・表	選択式	短答式	記述式	正答率 (%)	無解答率 (%)			
1	1	1	①リスニング(内容理解)	絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(イヌがいる場所)	○			○		○				63.9	0.1	70.0	-6.1
2	1	2	①リスニング(内容理解)	絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(持っているもの)	○			○		○				41.8	0.1	50.0	-8.2
3	1	3	①リスニング(内容理解)	絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(動作と曜日)	○			○		○				60.3	0.1	65.0	-4.7
4	2	1	②リスニング(対話文の応答)	対話を聞き、その内容を理解して、適切に応答している。(一緒に野球をしようと言われて)	○			○		○				38.8	0.1	45.0	-6.2
5	2	2	②リスニング(対話文の応答)	対話を聞き、対話の概要を捉えて、適切に応答している。(そこで何をするかとたずねられて)	○				○	○				56.5	0.2	60.0	-3.5
6	2	3	②リスニング(対話文の応答)	対話を聞き、対話の概要を捉えて、適切に応答している。(平仮名を読むことができるかとたずねられて)	○				○	○				42.5	0.1	45.0	-2.5
7	3		③リスニング(さまざまな英文の聞き取り)	日常的な話題について聞き、必要な情報を把握している。	○				○	○				58.7	0.1	60.0	-1.3
8	4		②リスニング(対話文の応答)	対話から必要な情報を聞き取り、資料をもとに英語で答えている。	○				○		○			9.0	27.8	30.0	-21.0
9	5	1-①	④語形・語法の知識・理解	対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(一般動詞の三人称単数現在形)		○		○		○				9.3	0.2	60.0	-50.7
10	5	1-②	④語形・語法の知識・理解	対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(be動詞の疑問文)		○		○		○				65.9	0.2	70.0	-4.1
11	5	1-③	④語形・語法の知識・理解	対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(疑問詞who)		○		○		○				70.3	0.2	75.0	-4.7
12	5	1-④	④語形・語法の知識・理解	対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(代名詞(目的格))		○		○		○				60.1	0.4	65.0	-4.9
13	5	2-①	⑤語彙の知識・理解	英文を読み、その内容に合う適切な語を選択している。		○		○		○				69.1	0.5	75.0	-5.9
14	5	2-②	⑤語彙の知識・理解	対話文を読み、その内容に合う適切な語を選択している。		○		○		○				42.5	0.5	50.0	-7.5
15	6	1	⑥さまざまな英文の読み取り	英文を読み、必要な情報を把握して適切なチケットを選んでいる。		○			○	○				36.7	0.3	40.0	-3.3
16	6	2	⑥さまざまな英文の読み取り	メールの要点を把握し、相手の意向に適切に応じている。		○			○	○				47.2	0.4	50.0	-2.8
17	6	3-①	⑥さまざまな英文の読み取り	対話を読み、対話の流れと商品一覧から、必要な情報を把握して文脈に対応した内容を判断している。		○			○	○				21.4	0.3	30.0	-8.6
18	6	3-②	⑥さまざまな英文の読み取り	対話を読み、対話の流れと商品一覧から、必要な情報を把握して文脈に対応した内容を判断している。		○			○	○				48.7	0.4	50.0	-1.3
19	7	1	⑦長文の読み取り	スピーチを読み、代名詞itの内容を理解している。		○		○		○				64.6	0.4	70.0	-5.4
20	7	2	⑦長文の読み取り	スピーチを読み、その内容を理解している。		○		○		○				59.6	0.5	65.0	-5.4
21	7	3	⑦長文の読み取り	スピーチを読み、その要点を捉えている。		○			○	○				65.1	1.6	70.0	-4.9
22	7	4	⑦長文の読み取り	スピーチを読み、その概要を捉えて、コメントの文章を完成させている。		○			○		○			47.2	10.6	50.0	-2.8
23	8	1	⑧単語の並べかえによる英作文	文の語順を理解し、正確に書いている。(be動詞の疑問文)			○	○			○			28.8	4.1	30.0	-1.2
24	8	2	⑧単語の並べかえによる英作文	文の語順を理解し、正確に書いている。(whichの疑問文)			○	○			○			52.7	3.9	65.0	-12.3
25	8	3	⑧単語の並べかえによる英作文	文の語順を理解し、正確に書いている。(冠詞+形容詞+名詞)			○	○			○			69.3	4.1	75.0	-5.7
26	8	4	⑧単語の並べかえによる英作文	文の語順を理解し、正確に書いている。(否定の命令文)			○	○			○			29.7	4.3	30.0	-0.3
27	9	1	⑨場面に応じて書く英作文	対話の流れに合った英文を書いている。(whoseを使って所有者をたずねる)			○	○			○			17.0	23.3	30.0	-13.0
28	9	2	⑨場面に応じて書く英作文	対話の流れに合った英文を書いている。(whatを使って好きなスポーツをたずねる)			○	○			○			40.7	18.9	35.0	5.7
29	10		⑩3文以上の英作文	週末にすることについて、相手に伝わるように書いている。			○		○		○			57.6	24.5	50.0	7.6
30	10		⑩3文以上の英作文	週末にすることについて、その理由や説明を、相手に伝わるように書いている。			○		○		○			39.6	24.5	35.0	4.6
31	10		⑩3文以上の英作文	週末にすることについて、まとまりのある文章を、相手に伝わるように書いている。			○		○		○			26.5	24.5	30.0	-3.5

令和7年度高知県学力定着状況調査  
設問別調査結果[中学校外国語(英語)2年]

通し 番号	大 問	小 問	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との関連			評価の観点			問題形式			高知県		目 標 値 (%)	目 標 値 との 差
					聞 く こ と	読 む こ と	書 く こ と	知 ・ 技	思 ・ 判 ・ 表	選 択 式	短 答 式	記 述 式	正 答 率 (%)	無 解 答 率 (%)			
1	1	(1)	①リスニング(内容理解)	絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(時を表す副詞節と過去進行形)	○			○		○				75.1	0.0	75.0	0.1
2	1	(2)	①リスニング(内容理解)	絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(行った場所とその目的)	○			○		○				50.1	0.1	55.0	-4.9
3	1	(3)	①リスニング(内容理解)	絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(be going toの文と曜日)	○			○		○				87.1	0.0	85.0	2.1
4	2	(1)	②リスニング(対話文の応答)	対話を聞き、その内容を理解して、適切に応答している。(これを見てと言われて)	○			○		○				76.4	0.1	80.0	-3.6
5	2	(2)	②リスニング(対話文の応答)	対話を聞き、対話の概要を捉えて、適切に応答している。(祭りに行けなかった理由を聞いて)	○				○	○				58.3	0.1	60.0	-1.7
6	2	(3)	②リスニング(対話文の応答)	対話を聞き、対話の概要を捉えて、適切に応答している。(日曜日はどうかとたずねられて)	○				○	○				34.3	0.1	40.0	-5.7
7	3		③リスニング(さまざまな英文の聞き取り)	日常的な話題についての英文を聞き、要点を捉えている。	○				○	○				58.4	0.1	60.0	-1.6
8	4		③リスニング(さまざまな英文の聞き取り)	日常的な話題についての英文を聞き、必要な情報を把握している。	○				○	○				80.2	0.1	80.0	0.2
9	5		②リスニング(対話文の応答)	英文を聞き、その要点を捉えて、自分の考えを英文で答えている。	○				○		○			18.0	30.4	30.0	-12.0
10	6	(1)	④語形・語法の知識・理解	対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(be動詞の過去形)		○		○		○				69.1	0.1	75.0	-5.9
11	6	(1)	④語形・語法の知識・理解	対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(SVCの文(look))		○		○		○				48.6	0.3	50.0	-1.4
12	6	(1)	④語形・語法の知識・理解	対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(There wereではじまる肯定文)		○		○		○				33.6	0.5	40.0	-6.4
13	6	(1)	④語形・語法の知識・理解	対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(不定詞の副詞的用法)		○		○		○				51.4	0.5	60.0	-8.6
14	6	(2)	⑤語彙の知識・理解	対話文を読み、その内容に合う適切な語を選択している。		○		○		○				65.0	0.5	70.0	-5.0
15	6	(2)	⑤語彙の知識・理解	対話文を読み、その内容に合う適切な語を選択している。		○		○		○				70.9	0.5	80.0	-9.1
16	7	(1)	⑥さまざまな英文の読み取り	英文を読み、概要を捉えて適切なスライドを選んでいる。		○		○		○				38.6	0.6	40.0	-1.4
17	7	(2)	⑥さまざまな英文の読み取り	英文を読み、その内容を理解して、適切な場所を選んでいる。		○		○		○				41.7	0.5	45.0	-3.3
18	7	(3)	⑥さまざまな英文の読み取り	対話を読み、対話の流れと資料から、文脈に応じた語句を判断している。		○			○	○				40.0	1.0	45.0	-5.0
19	7	(3)	⑥さまざまな英文の読み取り	対話を読み、対話の流れと資料から、適切な内容を判断している。		○			○	○				34.7	1.5	35.0	-0.3
20	8	(1)	⑦長文の読み取り	スピーチを読み、代名詞thatが指す内容を理解している。		○		○		○				59.6	0.8	65.0	-5.4
21	8	(2)	⑦長文の読み取り	スピーチを読み、その内容を理解している。		○		○		○				37.8	1.3	45.0	-7.2
22	8	(3)	⑦長文の読み取り	スピーチを読み、その要点を把握している。		○			○	○				70.4	1.7	75.0	-4.6
23	8	(4)	⑦長文の読み取り	スピーチを読み、話し手の質問に対する自分の考えとその理由を書いている。		○			○		○			42.1	21.1	45.0	-2.9
24	9	(1)	⑧単語の並べかえによる英作文	文の語順を理解し、正確に書いている。(現在進行形の疑問文)			○	○			○			30.9	4.5	30.0	0.9
25	9	(2)	⑧単語の並べかえによる英作文	文の語順を理解し、正確に書いている。(疑問詞whichの文)			○	○			○			9.3	4.7	30.0	-20.7
26	9	(3)	⑧単語の並べかえによる英作文	文の語順を理解し、正確に書いている。(SVOO(give)の文)			○	○			○			53.0	5.7	55.0	-2.0
27	9	(4)	⑧単語の並べかえによる英作文	文の語順を理解し、正確に書いている。(不定詞の形容詞的用法)			○	○			○			21.9	5.7	30.0	-8.1
28	10	(1)	⑨場面に応じて書く英作文	対話の流れに合った英文を書いている。(willを用いた疑問文を使って意思をたずねる)				○	○			○		14.8	26.9	30.0	-15.2
29	10	(2)	⑨場面に応じて書く英作文	対話の流れに合った英文を書いている。(whereを使って場所をたずねる)				○	○			○		13.0	28.3	30.0	-17.0
30	11		⑩3文以上の英作文	3年生になつたらしたいことについて、相手に伝わるように書いている。				○	○			○		37.6	35.6	35.0	2.6
31	11		⑩3文以上の英作文	3年生になつたらしたいことについて、その理由や説明を、相手に伝わるように書いている。				○	○			○		32.6	35.6	30.0	2.6
32	11		⑩3文以上の英作文	3年生になつたらしたいことについて、まとまりのある文章を、相手に伝わるように書いている。				○	○			○		20.8	35.6	30.0	-9.2



## これまでの授業改善から見られる成果



2年生の「聞くこと」の領域で成果が見られる。特に大問1は、自然な口調で話される英文を一度の放送で聞き取り、英文の内容に合う絵を選ぶ問題であるが、(3)の正答率は87.1%に達しており、一度で内容を正確に把握する力が育成されていることがうかがえる。これは、小・中学校を通して、ALTとのチームティーチングによる授業など、生きた英語に触れる機会の充実を図ってきたことによる成果だと考えられる。



## 課題・今後の学習改善に向けて

学年	問題番号	問題の内容	出題のねらい	高知県正答率 (%)	目標値との差
1	9(1)	場面に応じて書く英作文	対話の流れに合った英文を書いている。 (whoseを使って所有者をたずねる)	17.0	-13.0
2	10(2)	場面に応じて書く英作文	対話の流れに合った英文を書いている。 (whereを使って場所をたずねる)	13.0	-17.0

## (分析・考察)

いずれの学年においても、対話の流れを正確に捉え、場面に即した疑問文を構成する力に課題がみられる。無解答率を見ると、1年生大問9(1)では23.3%、2年生大問10(2)では28.3%と、非常に高い数値となっていることから、対話文を読んで文脈を捉えることができなかった生徒や、語彙や文法の知識はあっても、実際のコミュニケーションにおいて活用する段階には至っていない生徒が多いと推測される。また、解答していても多くが誤答となっていることから、伝えるべき内容を正しく表現することにも課題がみられる。

疑問文を実際のコミュニケーションにおいて正しく活用できるまでには時間を要するが、これまで意図的・継続的に疑問文を用いて話したり書いたりさせることが十分行われていなかったことが考えられる。また、そのような活動において、単に内容を伝えるだけでなく、表現を自ら振り返り、修正を加えながら正確さを高めていくといった「吟味」のプロセスが不足していたことも考えられる。

## (学習改善のポイント)

生徒が身に付けた知識を場面に応じて使いこなす「活用型」の学習への転換が求められている。今後は、目的や場面、状況等に応じて話したり書いたりする活動の充実を図る必要がある。具体的には、文脈から適切な文の形式や時制を判断する力の育成を目指し、生徒の気づきを促しながら言語活動を展開していく。その際、単に発信して終わりにするのではなく、書いた英文を個人やペアで読み合ったり、話したことを文字化して振り返ったりして、表現の適切さを吟味する活動を重視する必要がある。こうしたプロセスを通して、生徒が自身の誤りに気づき、自律的にエラーを修正する力を養うことが求められる。



**英語科では**

相手により伝わるコミュニケーションを行うためには、自分が表現した英文を振り返り、**場面や状況に応じた内容や正しい表現になっているか吟味することが**大切です。

① コミュニケーションの目的や場面、状況等を理解する

② コミュニケーションの見通しを立てる

**Today's Goal :**

相手のことをもっと知るために、友達の宝物について、具体的な情報を引き出す質問をすることができる。

具体的な情報を引き出すためにはどんな質問を  
するとよいか、前の時間の振り返りに、みんなが  
アイデアを書きつけていました。見てみましょう。

WhatやHowなどの疑問詞を使うと  
具体的なことが引き出せそうだな。

③ コミュニケーションを行う

ペア活動

健 (Ken)

My treasure is this guitar. I like playing it. It's fun.  
I want to be a good guitar player in the future.

由美 (Yumi)

I play it every day.

How often do you play the guitar?

Nice! Where do you buy it

I bought it at the music shop near the Kochi Station.

I see. When do you buy it?

I bought it last summer.

話す活動を行う際には、  
デジタル学習端末に録画  
して記録を残しておく、  
後で発話を振り返ることが  
できます。

全体活動

今から由美さんと健さんのやり取りの録画をモニターに映します。  
今日のゴールである「相手のことをもっと知ること」ができるように  
どんな質問をしているか見てみましょう。

どのくらいギターを弾いている  
か聞くのは、相手をもっと知  
ることができる質問だね。

ギターを買った場所を聞いた  
後、それがいつなのかも  
質問して、深めていたね。

今度は言語面について振り返  
りましょう。2人の会話を黒板  
に書き出したものを見て、気付  
いたことはありませんか。

ギターを買ったのは過去のこ  
となので、didを使って質問しな  
ければいけないかな。

ではこれらのポイントを踏まえて、ペアの相手を変えてやり取りしてみましょう。

**内容面**

◎宝物と  
本人と  
の関係

宝物  
ギター

How ↑ often

Yumi

購入  
・どこで  
・いつ

◎「追い質問」  
深める

**言語面**

Where ~~do~~ you buy it? I bought

did

When ~~do~~ you buy it? I bought

did

過去

④ 学習のまとめと振り返りを行う

話す活動を行った際には、デジタル学習端末を活用するなどして、話した内容を文字化することで、自ら表現を吟味し、より正確な英語へと磨き上げることができます。また、学びの履歴が残ることも大きな利点です。お互いの表現を共有することで、苦手意識のある生徒にとってはヒントになりますね。

	友達のスピーチについてレポート	今日の質問	振り返り
○/○	Yumi's treasure is her guitar. She likes playing it because it is fun. She wants to be a good guitar player in the future.	<ul style="list-style-type: none"> <li>How often do you play the guitar?</li> <li>Where <b>did</b> you buy it?</li> <li>When <b>did</b> you buy it?</li> </ul>	whereやwhenを使って関連する質問をすることで、具体的なことを引き出すことができた。 現在形と過去形に注意したい。 他にWhat song can you play?という質問もしたかった。次回工夫したい。

生徒の振り返りのよい点や改善点についてフィードバックすることで、この後の学習につながります。

## 質問調査結果について

本調査は、児童生徒の学力調査と合わせて学習状況等を多面的・多角的に分析し、改善策を見出すことで、更なる学力向上につなげることを目的として実施しました。

ここでは、全質問の中から高知県の児童生徒の状況や課題がよく表れている項目を抜粋して掲載しています。

### 【児童生徒質問調査の質問項目】

自己有用感に関すること
基本的な生活習慣に関すること
学習習慣に関すること
キャリア教育に関すること



# 1. 自己有用感

※調査の分析については、項目の問われ方が異なる場合、令和5年度高知県学力定着状況調査を用いています。

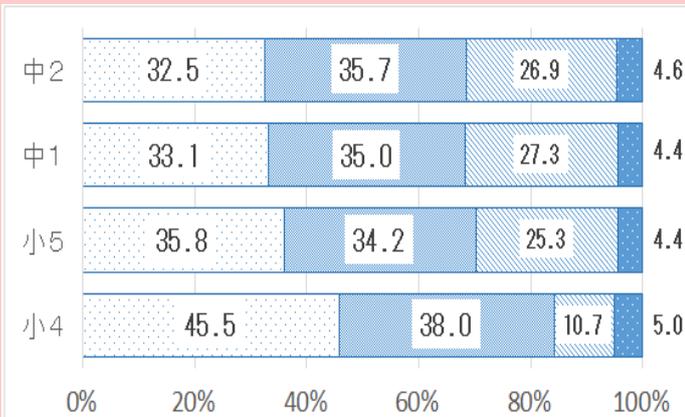
【R7】

小4  
自分のいいところを、いくつか言えますか。  
(話がすき、明るい、元気、思いやりがある、がんばっていることがある、など)

小5 中1・2  
自分には、いいところがあると思いますか。  
(思いやり、明るさ、まとめる力、ひょうきんさ、責任感、努力、など)

(小4)  
 言える  一つは言える  思いつかない  言えない

(小5 中1・2)  
 ある  自分なりにあると思う  分からない  一つもない



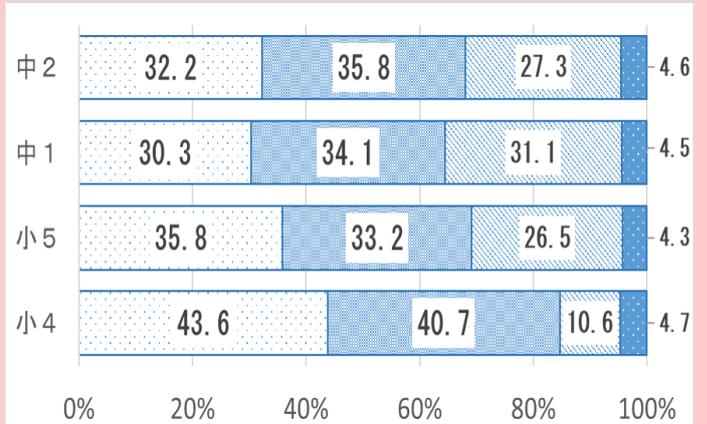
【R5】

小4  
自分のいいところを、いくつか言えますか。  
(話がすき、明るい、元気、思いやりがある、がんばっていることがある、など)

小5 中1・2  
自分には、いいところがあると思いますか。  
(思いやり、明るさ、まとめる力、ひょうきんさ、責任感、努力、など)

(小4)  
 言える  一つは言える  思いつかない  言えない

(小5 中1・2)  
 ある  自分なりにあると思う  分からない  一つもない



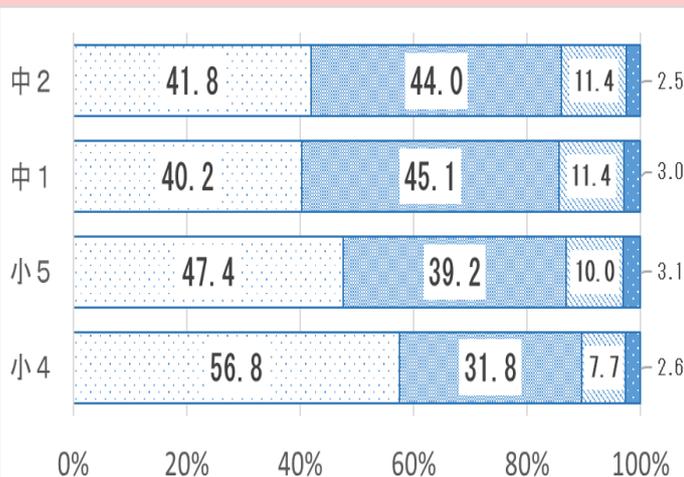
【R7】

小4  
先生からほめられて、うれしかったことがありますか。

小5 中1・2  
自分なりにがんばったことを、先生が認めてくれて、うれしかったことがありますか。

とてもうれしかったことがある  少しうれしかったことがある

ほとんどない  一度もない



【R5】

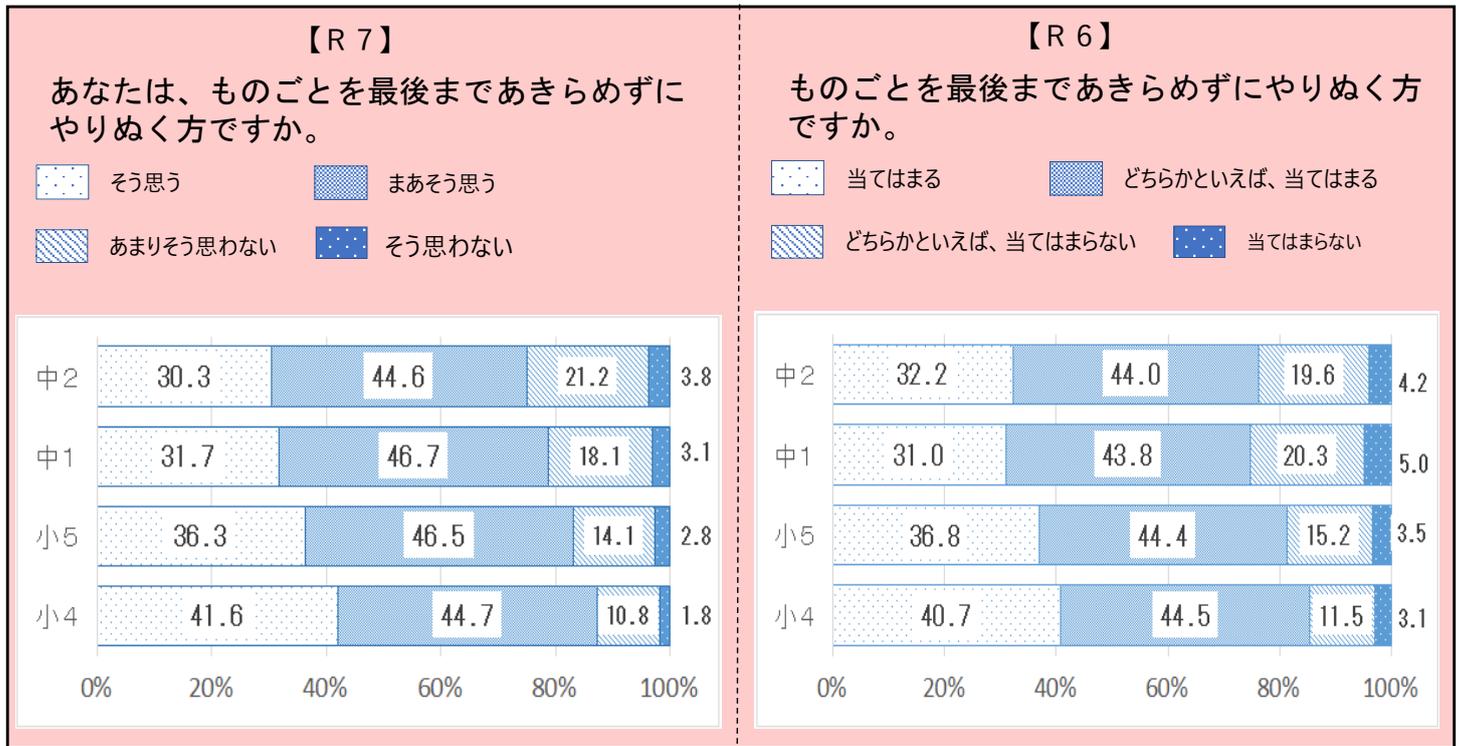
小4  
先生からほめられて、うれしかったことがありますか。

小5 中1・2  
自分なりにがんばったことを、先生が認めてくれて、うれしかったことがありますか。

とてもうれしかったことがある  少しうれしかったことがある

ほとんどない  一度もない





【結果】 ・「自分にはいいところがある」と肯定的回答をした児童生徒の割合は、令和5年度と比較すると大きな変化は見られないが、小学4年生から小学5年生の減少幅が大きい。

・「先生からほめられて、うれしかったことがある」「自分なりにがんばったことを、先生が認めてくれて、うれしかったことがある」と肯定的回答をした児童生徒の割合は、小学生・中学生ともに約85%となっている。

・「ものごとを最後まであきらめずにやりぬく方である」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、令和6年度と比較すると、大きな変化はないものの、増加傾向にある。



## 2. 基本的な生活習慣

※調査の分析については、項目の問われ方が異なる場合、令和5年度高知県学力定着状況調査を用いています。

小4

平日（月～金）は、1日にどれくらいテレビや動画を見たり、インターネットを使ったり、ゲームをしたりしますか。

小5 中1・2

平日（月～金）、1日どれくらいの時間、テレビや動画を見たり、インターネットを使ったり、ゲームをしたりしますか。

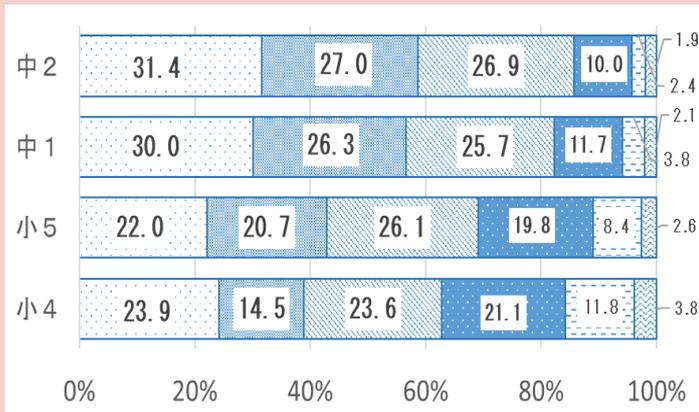
（小4）

3時間より多い 3時間くらい 2時間くらい 1時間くらい 30分くらい まったくしない

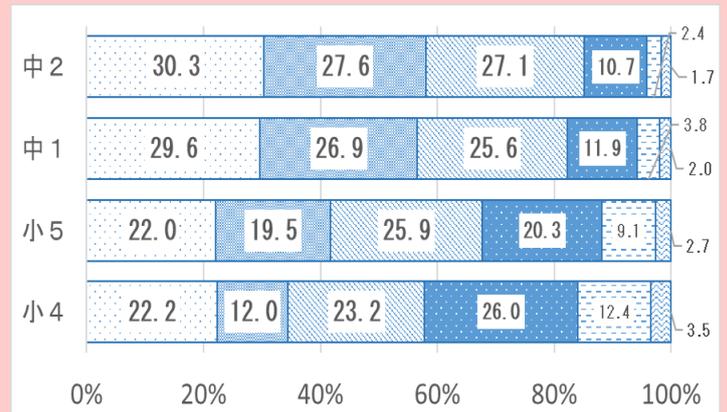
（小5 中1・2）

4時間以上 3時間くらい 2時間くらい 1時間くらい 30分くらい まったくしない

【R7】



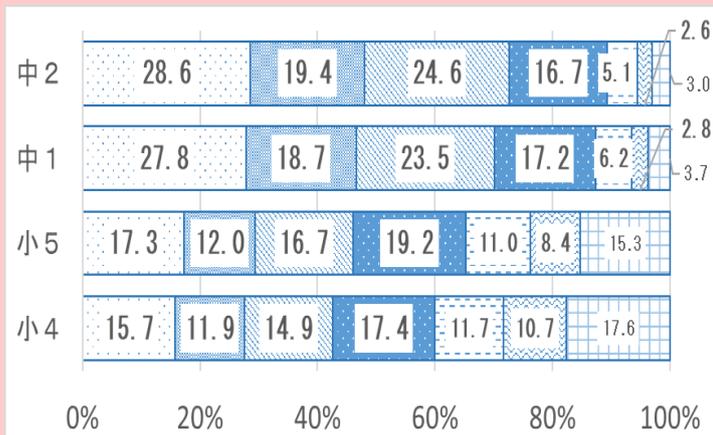
【R5】



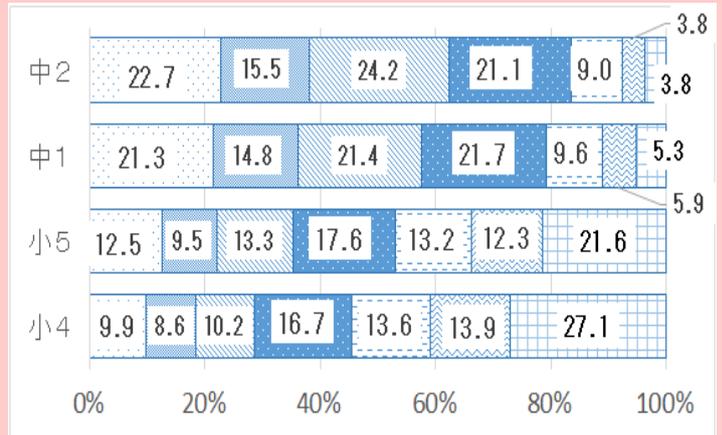
普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか。（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除きます。）

4時間以上 3時間以上、4時間より少ない 2時間以上、3時間より少ない 1時間以上、2時間より少ない  
30分以上、1時間より少ない 30分より少ない 携帯電話やスマートフォンを持っていない

【R7】



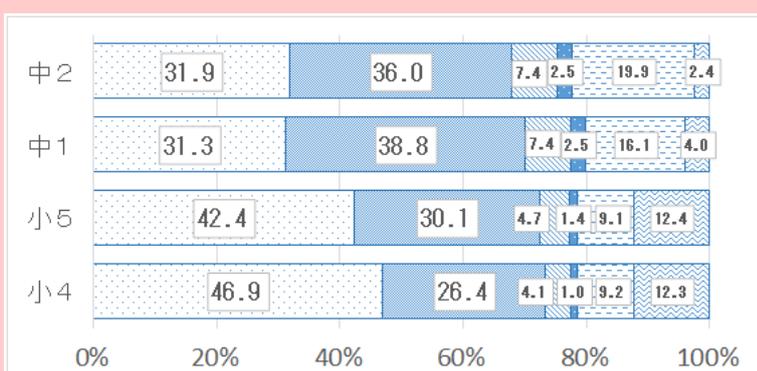
【R6】

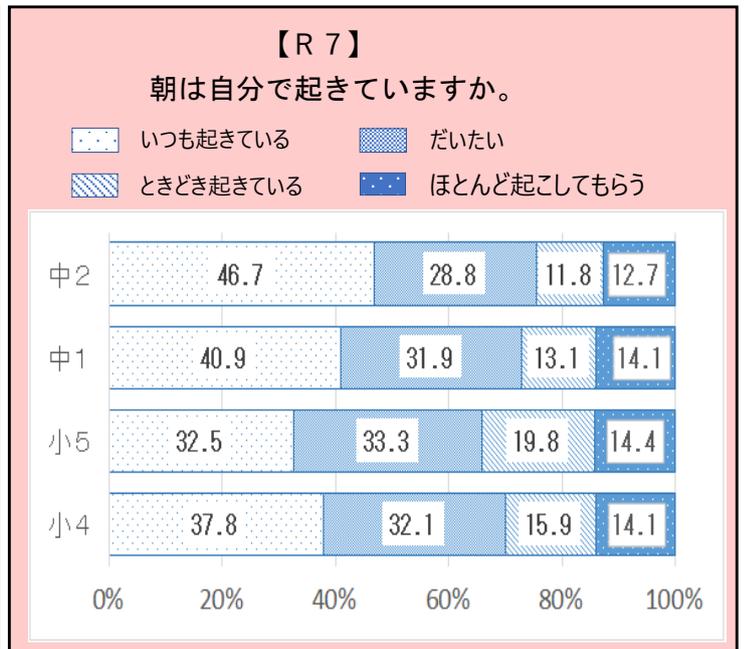
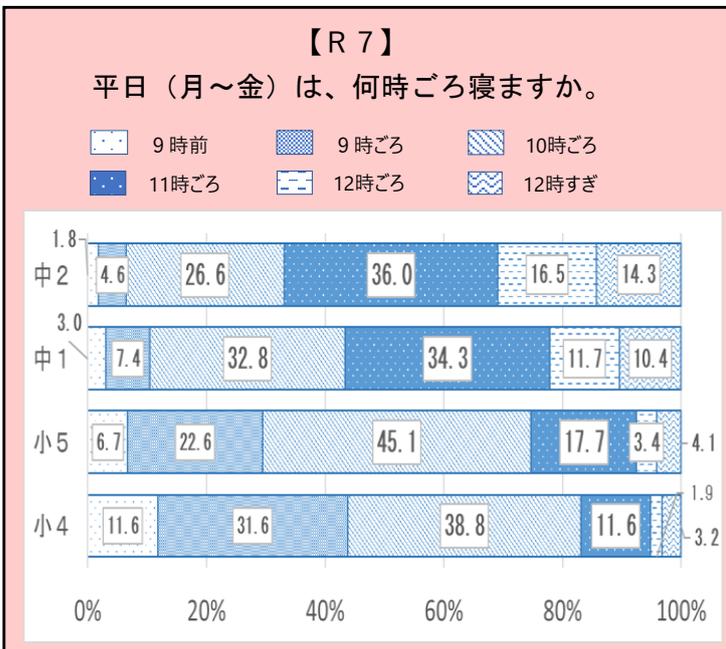
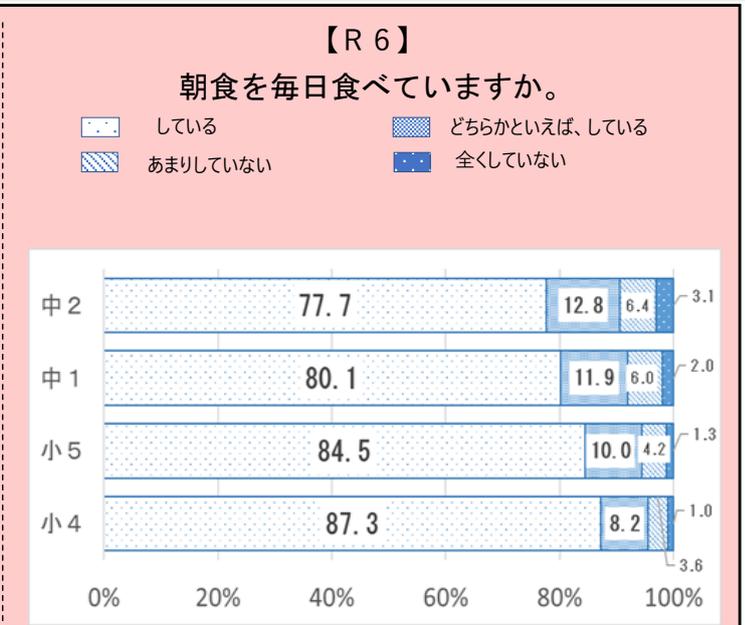
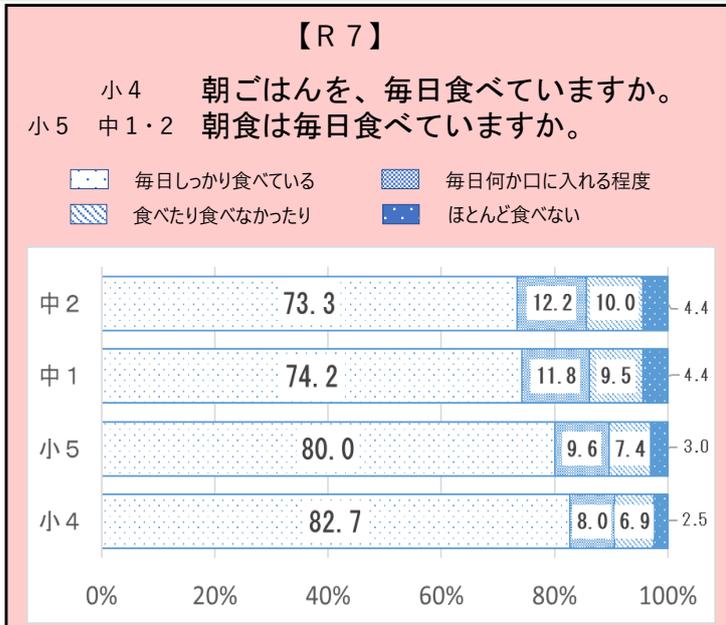


【R7】

携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。

きちんと守っている だいたい守っている  
あまり守っていない 守っていない  
携帯電話・スマートフォンやコンピュータは持っているが、約束はない  
携帯電話・スマートフォンやコンピュータを持っていない





- 【結果】**
- ・平日（月～金）、テレビや動画を見たり、インターネットを使ったり、ゲームをしたりする時間が2時間以上の割合は、小学生は60%以上、中学生は80%以上となっている。
  - ・平日（月～金）、SNSや動画視聴を2時間以上している割合は、小学生は40%以上、中学生は70%以上となっている。令和6年度と比較すると、SNSや動画視聴の時間が2時間以上の割合は、小学生・中学生ともに10～15ポイント程度増加している。
  - ・「携帯電話・スマートフォンやコンピュータを持っており、家の人と約束したことを守っている」と肯定的回答をしている割合は、小学生・中学生ともに約70%程度である。また、「家の人との約束はない」と回答している割合は、小学生は10%程度、中学生は15～20%程度である。
  - ・平日（月～金）の寝る時間帯は、小学生は9時～10時頃、中学生は10時～11時頃が多い。また、学年が上がるにつれて寝る時刻は遅くなっており、中学生の約20～30%は12時ごろまたは12時すぎになっている。
  - ・「朝は自分で起きている」と肯定的回答をしている割合は、小学生は65%以上、中学生は70%以上となっている。



・平日にSNSや動画を視聴する時間の増加が見られ、一日に4時間以上の児童生徒も一定数いる。一方で、携帯電話やスマートフォンを持っている多くの児童生徒が、家の人との約束を守れているため、児童生徒が自分のSNSや動画の視聴時間について見直せるよう家庭と連携して働きかけていく必要がある。



### 3. 学習習慣

※調査の分析については、項目の問われ方が異なる場合、令和5年度高知県学力定着状況調査を用いています。

**小4** **【R7】**  
学校の授業以外に、平日（月～金）は、1日にどれくらい勉強をしますか。（塾などでの勉強時間も含まれます）

**小5 中1・2**  
学校の授業以外に、平日（月～金）1日どれくらいの時間、勉強をしますか。（塾などでの勉強時間も含まれます）

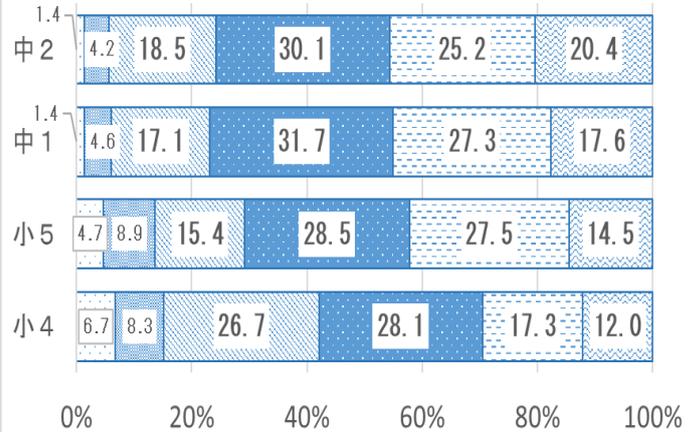
- 小4**
- 2時間より多い
  - 2時間くらい
  - 1時間くらい
  - 30分くらい
  - 15分くらい
  - まったくしない
- 小5 中1・2**
- 4時間以上
  - 3時間くらい
  - 2時間くらい
  - 1時間くらい
  - 30分くらい
  - まったくしない



**小4** **【R5】**  
学校の授業以外に、平日（月～金）は、1日にどれくらい勉強をしますか。（塾などでの勉強時間も含まれます）

**小5 中1・2**  
学校の授業以外に、平日（月～金）1日どれくらいの時間、勉強をしますか。（塾などでの勉強時間も含まれます）

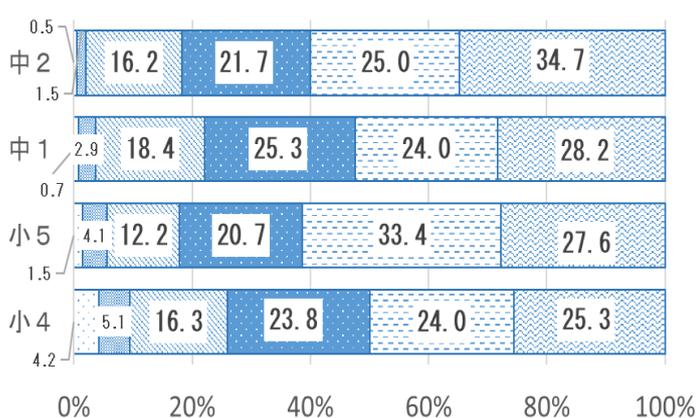
- 小4**
- 2時間より多い
  - 2時間くらい
  - 1時間くらい
  - 30分くらい
  - 15分くらい
  - まったくしない
- 小5 中1・2**
- 4時間以上
  - 3時間くらい
  - 2時間くらい
  - 1時間くらい
  - 30分くらい
  - まったくしない



**小4** **【R7】**  
土日や祝日など、学校が休みの日は、1日にどれくらい勉強をしますか。（塾などでの勉強時間も含まれます）

**小5 中1・2**  
土日や祝日など、学校が休みの日は、1日どれくらいの時間、勉強をしますか。（塾などでの勉強時間も含まれます）

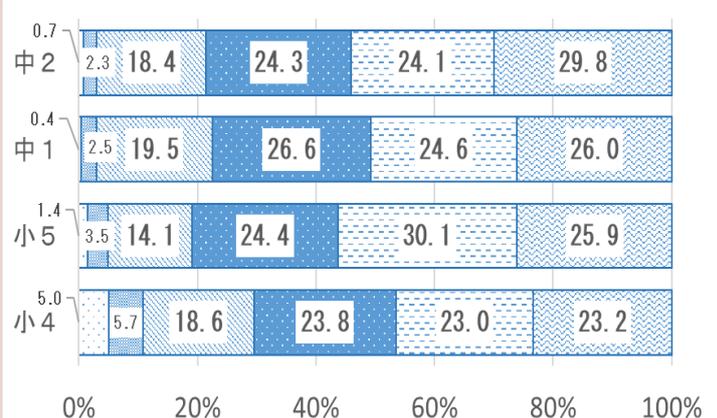
- 小4**
- 2時間より多い
  - 2時間くらい
  - 1時間くらい
  - 30分くらい
  - 15分くらい
  - まったくしない
- 小5 中1・2**
- 6時間以上
  - 4～5時間
  - 2～3時間
  - 1時間くらい
  - 30分くらい
  - まったくしない

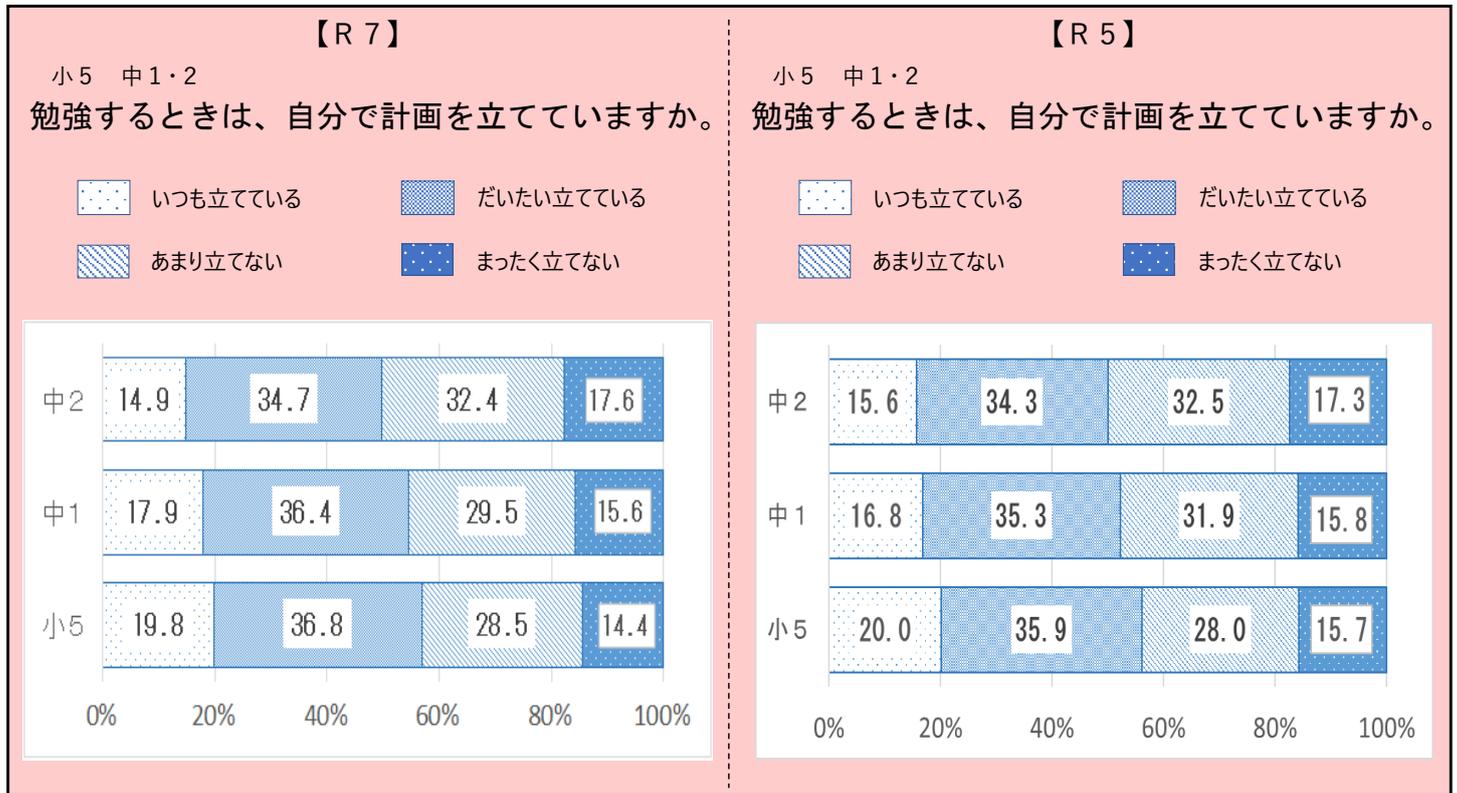


**小4** **【R5】**  
土日や祝日など、学校が休みの日は、1日にどれくらい勉強をしますか。（塾などでの勉強時間も含まれます）

**小5 中1・2**  
土日や祝日など、学校が休みの日は、1日どれくらいの時間、勉強をしますか。（塾などでの勉強時間も含まれます）

- 小4**
- 2時間より多い
  - 2時間くらい
  - 1時間くらい
  - 30分くらい
  - 15分くらい
  - まったくしない
- 小5 中1・2**
- 6時間以上
  - 4～5時間
  - 2～3時間
  - 1時間くらい
  - 30分くらい
  - まったくしない





【結果】 ・平日（月～金）、学校が休みの日ともに、まったく勉強しない児童生徒の割合は、令和5年度と比較すると、増加している。

・「勉強するときは、自分で計画を立てている」と回答した児童生徒の割合は、小学5年生は56.6%、中学生は約50%となっている。令和5年度と比較すると、小学5年生と中学1年生で増加している。



・まったく勉強しない児童生徒の割合が増加していることから、引き続き、家庭学習の習慣がついていない児童生徒への支援と合わせて、主体的に学習に向かえるように働きかけていく必要がある。



## 4. キャリア教育

※調査の分析については、項目の問われ方が異なる場合、令和5年度高知県学力定着状況調査を用いています。

【R7】

小5 中1・2

お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加していますか。

- よく参加する
- ときどき
- ほとんど参加しない
- 一度もない

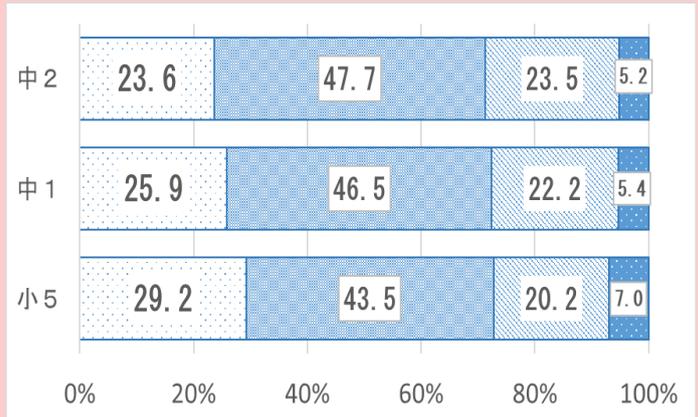


【R5】

小5 中1・2

お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加していますか。

- よく参加する
- ときどき
- ほとんど参加しない
- 一度もない



【R7】

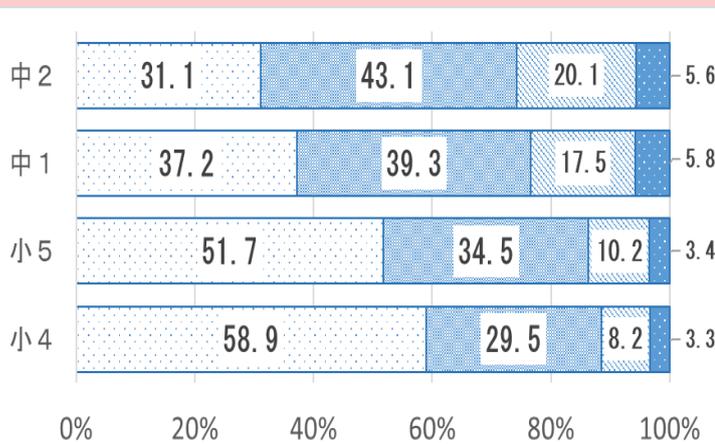
小4

しょうらい、あんな人になりたい、こんなことがしたいという、ゆめやもくひょうがありますか。

小5 中1・2

将来、あんな人になりたい、こんなことがしたい、こんな仕事につきたいという、夢や目標がありますか。

- はっきりとした目標がある
- いちおうある
- 思いつかない
- まったくない



【R5】

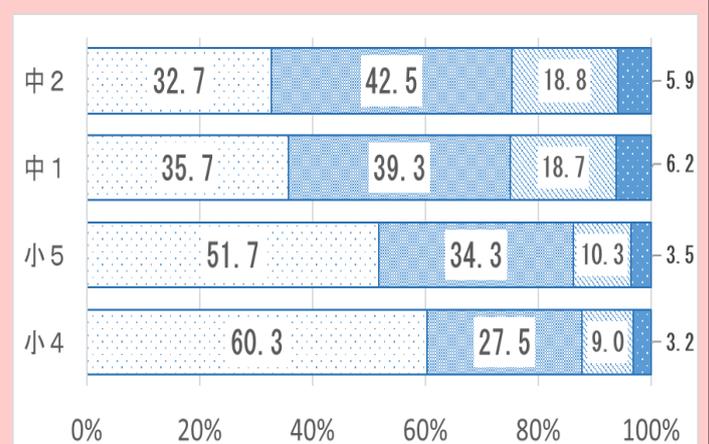
小4

しょうらい、あんな人になりたい、こんなことがしたいという、ゆめやもくひょうがありますか。

小5 中1・2

将来、あんな人になりたい、こんなことがしたい、こんな仕事につきたいという、夢や目標がありますか。

- はっきりとした目標がある
- いちおうある
- 思いつかない
- まったくない



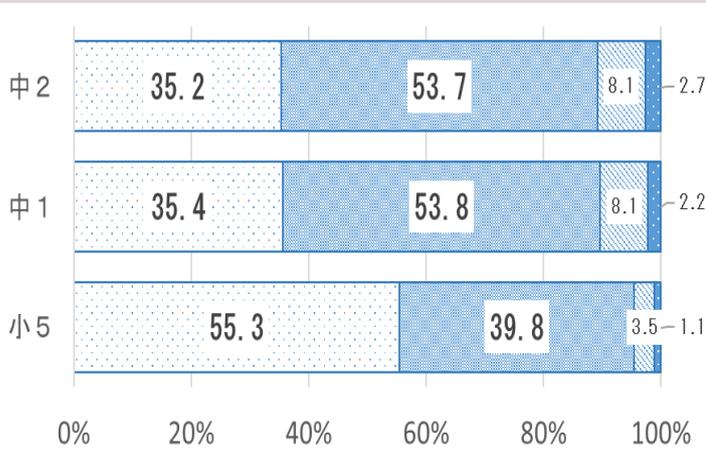


【R7】

小5 中1・2

学校で学んだことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか。

-  必ず役立つ
-  たぶん役立つ
-  役立つと思う
-  役立つしない

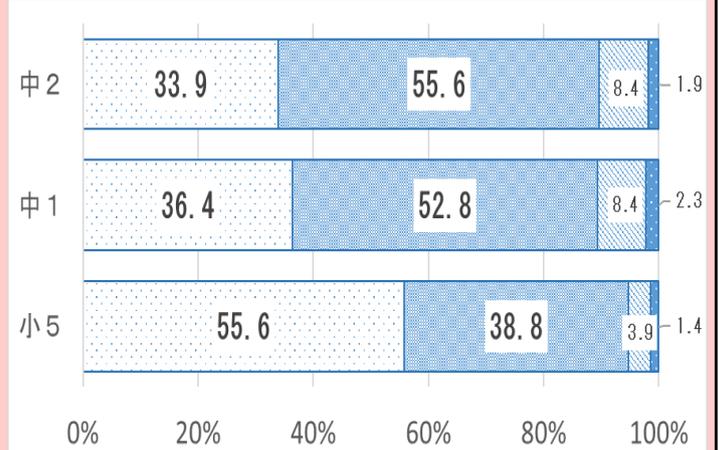


【R5】

小5 中1・2

学校で学んだことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか。

-  必ず役立つ
-  たぶん役立つ
-  役立つと思う
-  役立つしない



【結果】 ・「お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加している」と肯定的回答をした児童生徒の割合は、令和5年度と比較すると、小学5年生は2.3ポイント増加している。

・「将来の夢や目標をもっている」と肯定的回答をした児童生徒の割合は、小学生は85%以上、中学生は約75%となっている。

・「学校で学んだことは、将来、社会に出たときに役立つと思う」と肯定的回答をした児童生徒の割合は、小学生は約95%、中学生は約90%となっている。



- ・引き続き、児童生徒が生まれ育った地域や企業等で実際に活躍する「ヒト・モノ・コト」との出会いや体験活動を通して、自分自身の生き方を考える「地域への理解と愛着を育むキャリア教育」を推進する必要がある。
- ・児童生徒に「社会」と「学校における学び」の接続を意識させ、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育み、キャリア発達を促すキャリア教育の充実を図ることが必要である。